



第五次総合計画アンケート指標の 令和5年度実績値について

令和6年3月
企画政策部企画課

第1 調査の趣旨

1 調査の趣旨

アンケート調査は、第五次総合計画前期・後期基本計画の計画期間中（平成29年度～令和8年度）、毎年度、「市民アンケート」と「幸せ実感モニター」の2つを実施してきました。

市民アンケートは、第五次総合計画前期・後期基本計画の基本施策に設定した93のアンケート指標（市民が思う割合）の実績値について把握するために実施するものです。

幸せ実感モニターは、いわゆる定点観測として、一定期間継続的に同一者による回答により、行政施策の評価や市民意識の推移とその理由等を詳細に把握するために実施するものです。

アンケート調査で把握したアンケート指標の実績値は、施策ごとに設定している「目指す状態」の達成に向けた主な取組の成果を表すものとして、統計指標とともに進捗度合いをはかるもので、第五次総合計画前期・後期基本計画の進捗管理（行政評価の施策評価）に用います。

2 報告書の位置付けと活用

本報告書は、アンケートの調査分析結果を示すことで、アンケート指標の目標達成に向けて、各担当部局が実施する行政評価の施策評価（一次評価）や、次年度以降の主な取組とその予算編成に利活用できるようにしたものです。

また、各部局において、より詳細な分析等ができるよう、報告書及びアンケート集計データ等を以下に掲載しています。

【掲載場所】

Garoon / ファイル管理 / 004:企画政策部 / 1000:企画課 / 共有文書

3 報告書の構成

第1	調査の趣旨	1
第2	市民アンケート調査の概要	2
第3	幸せ実感モニター調査の概要	5
第4	総括	8
第5	集計結果	11
第6	アンケート指標の推移及び実績値等上位順	15
第7	施策別の分析結果 	29

第2 市民アンケート調査の概要

I 調査概要

1 調査期間

令和6年2月9日（金）～2月22日（木）

2 対象者

長野市内在住の18歳以上の男女6,000人

3 標本の抽出

住民基本台帳（令和6年1月1日現在）から無作為抽出

4 調査方法

返信用封筒を同封した調査票郵送方式

5 回収結果

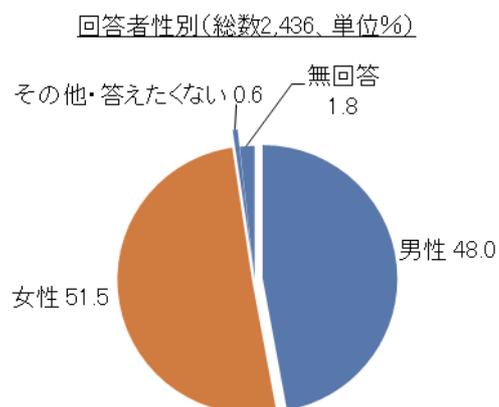
回収標本数 2,436票

回収率 40.6%

II 属性に関する結果概要

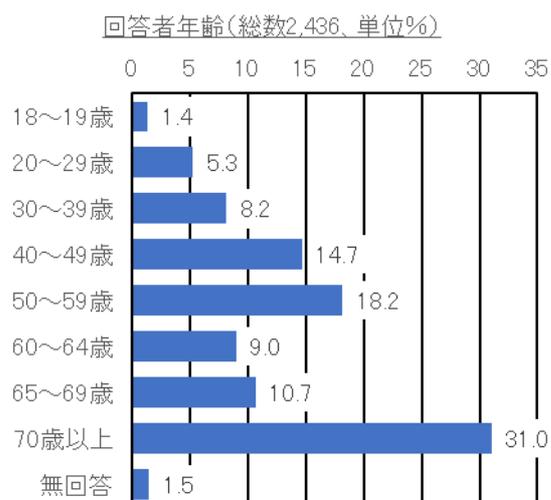
1 性別

選択肢	回答数(人)	割合(%)
男性	1,147	48.0
女性	1,231	51.5
その他・答えたくない	14	0.6
無回答	44	1.8
合計	2,436	100.0



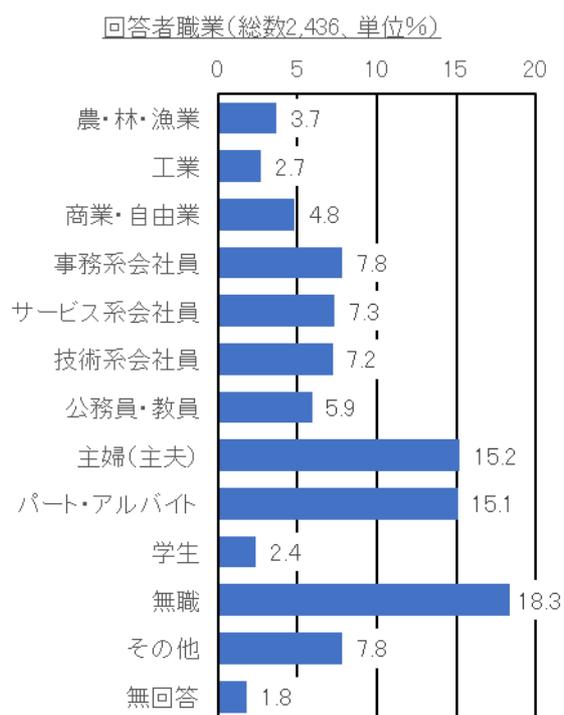
2 年齢構成

選択肢	回答数(人)	割合(%)
18～19歳	33	1.4
20～29歳	130	5.3
30～39歳	200	8.2
40～49歳	357	14.7
50～59歳	444	18.2
60～64歳	220	9.0
65～69歳	260	10.7
70歳以上	756	31.0
無回答	36	1.5
合計	2,436	100.0



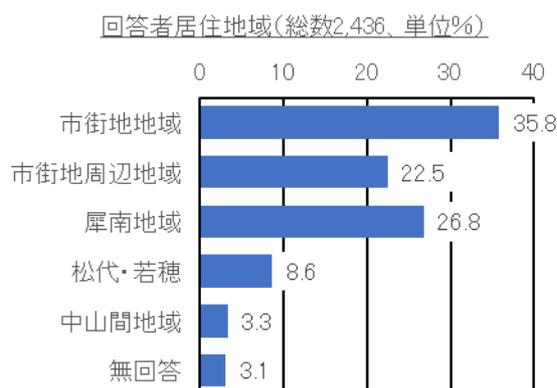
3 職業

選択肢	回答数(人)	割合(%)
農・林・漁業	91	3.7
工業	65	2.7
商業・自由業	117	4.8
事務系会社員	190	7.8
サービス系会社員	179	7.3
技術系会社員	176	7.2
公務員・教員	144	5.9
主婦(主夫)	370	15.2
パート・アルバイト	368	15.1
学生	59	2.4
無職	445	18.3
その他	189	7.8
無回答	43	1.8
合計	2,436	100.0



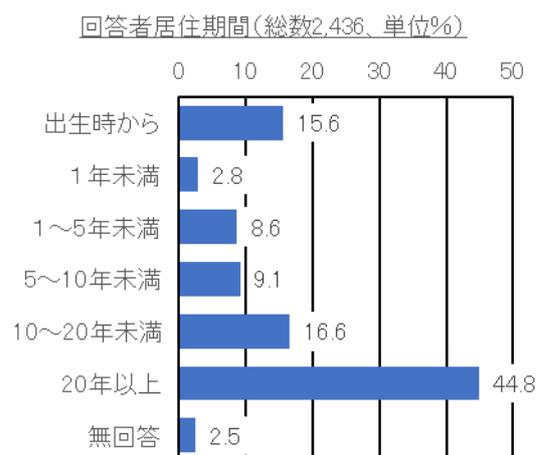
4 お住まい

選択肢	回答数(人)	割合(%)
市街地地域	871	35.8
市街地周辺地域	547	22.5
犀南地域	653	26.8
松代・若穂	210	8.6
中山間地域	80	3.3
無回答	75	3.1
合計	2,436	100.0



5 住んでいる期間

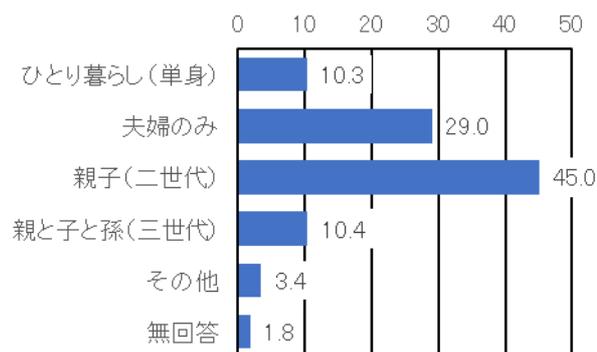
選択肢	回答数(人)	割合(%)
出生時から	379	15.6
1年未満	68	2.8
1～5年未満	209	8.6
5～10年未満	222	9.1
10～20年未満	404	16.6
20年以上	1,092	44.8
無回答	62	2.5
合計	2,436	100.0



6 家族構成

選択肢	回答数(人)	割合(%)
ひとり暮らし(単身)	251	10.3
夫婦のみ	707	29.0
親子(二世帯)	1,096	45.0
親と子と孫(三世帯)	253	10.4
その他	84	3.4
無回答	45	1.8
合計	2,436	100.0

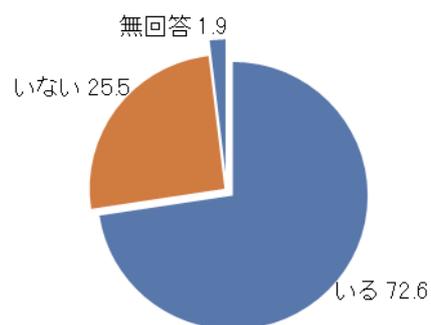
回答者家族構成(総数2,436、単位%)



7 お子さんの有無

選択肢	回答数(人)	割合(%)
いる	1,769	72.6
いない	620	25.5
無回答	47	1.9
合計	2,436	100.0

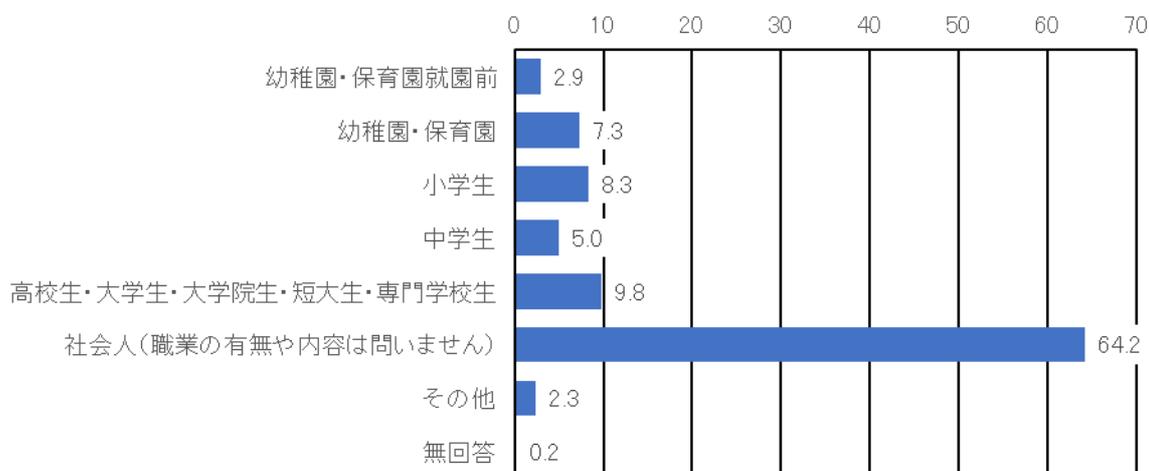
お子さんの有無(総数2,436、単位%)



8 お子さんの状況

選択肢	回答数(人)	割合(%)
幼稚園・保育園就園前	54	2.9
幼稚園・保育園	134	7.3
小学生	152	8.3
中学生	91	5.0
高校生・大学生・大学院性・短大生・専門学校生	179	9.8
社会人(職業の有無や内容は問いません)	1,178	64.2
その他	42	2.3
無回答	4	0.2
合計(%ベース)	1,834	100.0

お子さんの状況(総数1,834、単位%)



第3 幸せ実感モニター調査の概要

1 調査期間

令和6年2月5日(月)～2月26日(月)

2 対象者

長野市内在住又は通勤・通学の15歳(令和4年1月1日現在)以上の男女244人

3 標本の抽出

令和4年募集による応募者

4 調査方法

ながの電子申請への入力方式及び返信用封筒を同封した調査票郵送方式

5 回収結果

回収標本数 173票

回収率 70.9%

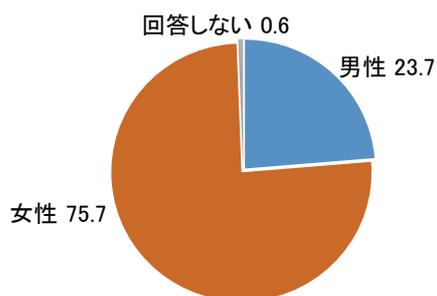
6 属性に関する結果概要

II 属性に関する結果概要

1 性別

選択肢	回答数(人)	割合(%)
男性	41	23.7
女性	131	75.7
回答しない	1	0.6
無回答	0	0
合計	173	100.0

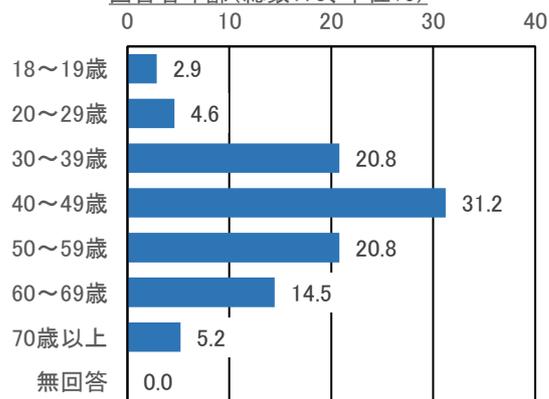
回答者性別(総数173、単位%)



2 年齢構成

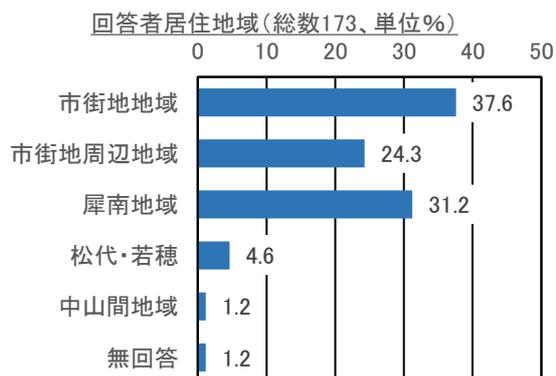
選択肢	回答数(人)	割合(%)
18～19歳	5	2.9
20～29歳	8	4.6
30～39歳	36	20.8
40～49歳	54	31.2
50～59歳	36	20.8
60～69歳	25	14.5
70歳以上	9	5.2
無回答	0	0.0
合計	173	100.0

回答者年齢(総数173、単位%)



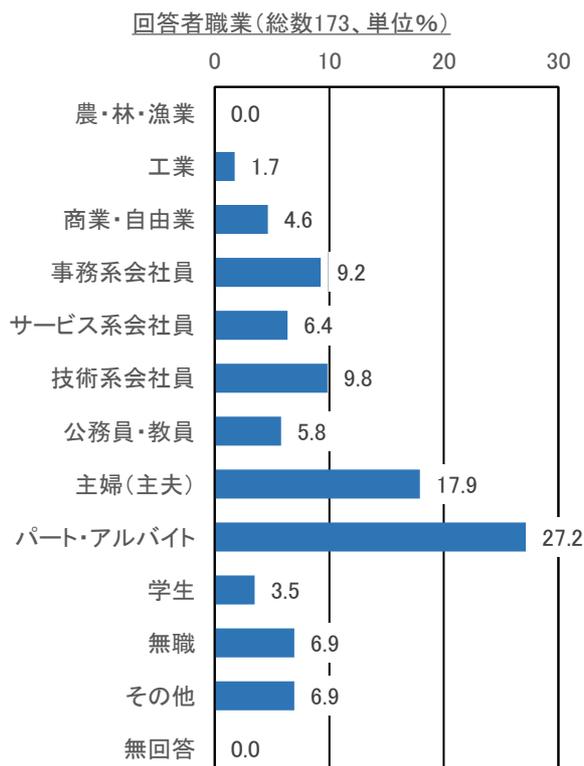
3 お住まい

選択肢	回答数(人)	割合(%)
市街地地域	65	37.6
市街地周辺地域	42	24.3
犀南地域	54	31.2
松代・若穂	8	4.6
中山間地域	2	1.2
無回答	2	1.2
合計	173	100.0



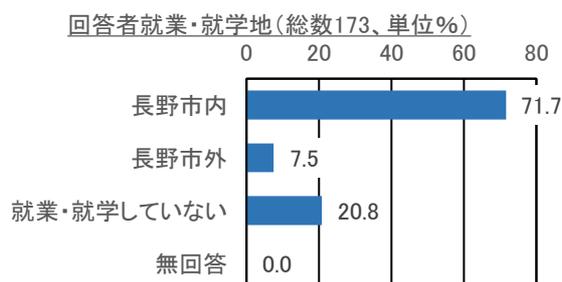
4 職業

選択肢	回答数(人)	割合(%)
農・林・漁業	0	0.0
工業	3	1.7
商業・自由業	8	4.6
事務系会社員	16	9.2
サービス系会社員	11	6.4
技術系会社員	17	9.8
公務員・教員	10	5.8
主婦(主夫)	31	17.9
パート・アルバイト	47	27.2
学生	6	3.5
無職	12	6.9
その他	12	6.9
無回答	0	0.0
合計	173	100.0



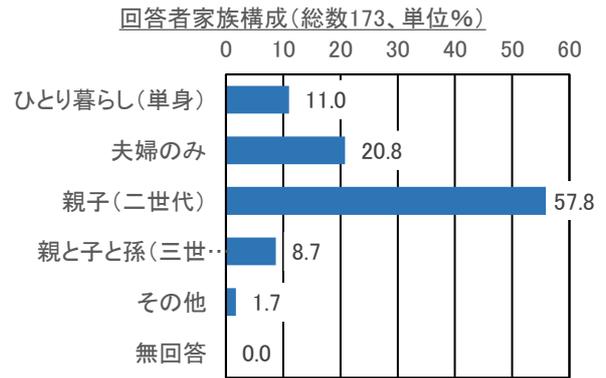
5 就業・就業地

選択肢	回答数(人)	割合(%)
長野市内	124	71.7
長野市外	13	7.5
就業・就学していない	36	20.8
無回答	0	0.0
合計	173	100.0



6 家族構成

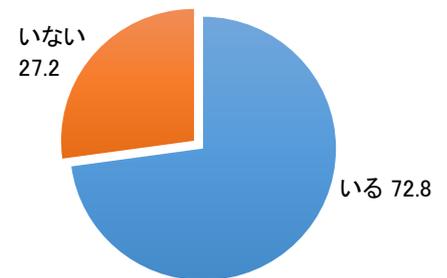
選択肢	回答数(人)	割合(%)
ひとり暮らし(単身)	19	11.0
夫婦のみ	36	20.8
親子(二世帯)	100	57.8
親と子と孫(三世帯)	15	8.7
その他	3	1.7
無回答	0	0.0
合計	173	100.0



7 お子さんの有無

選択肢	回答数(人)	割合(%)
いる	126	72.8
いない	47	27.2
無回答	0	0.0
合計	173	100.0

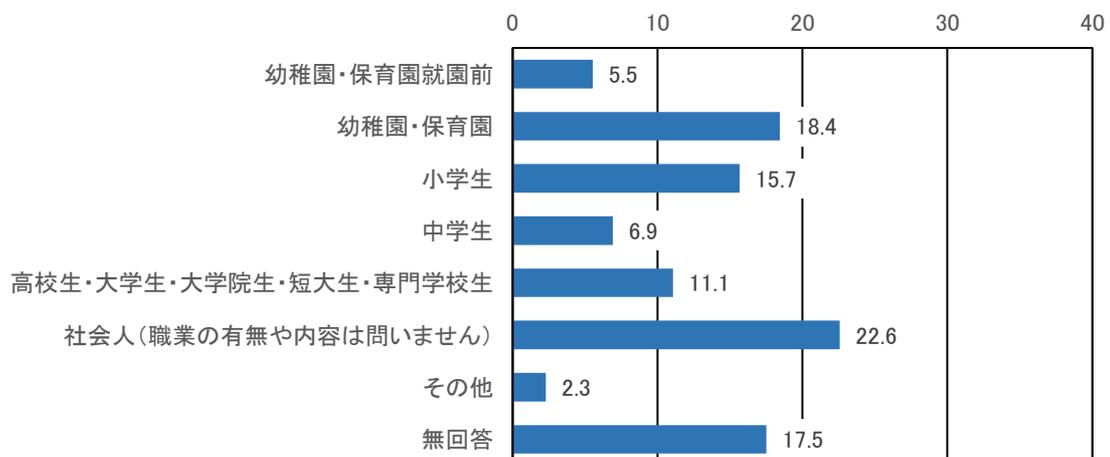
お子さんの有無(総数173、単位%)



8 お子さんの状況

選択肢	回答数(人)	割合(%)
幼稚園・保育園就園前	12	5.5
幼稚園・保育園	40	18.4
小学生	34	15.7
中学生	15	6.9
高校生・大学生・大学院性・短大生・専門学校生	24	11.1
社会人(職業の有無や内容は問いません)	49	22.6
その他	5	2.3
無回答	38	17.5
合計(%ベース)	217	100.0

お子さんの状況(総数173、複数回答、単位%)



第4 総括

本年度は、第五次総合計画後期基本計画の2年度目に当たります。現状値（R3）と後期計画の2年間（R4～R5）の平均値を比較・検証しました。

- 平均値が5ポイント以上上昇した指標は、「環境や体制に関する評価」3指標、「回答者自身の実践状況」の各1指標でした（P25～28参照）。

順位	増減 (a-b)	平均 (R4～R5)	現状値 (R3)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
【環境や体制に関する評価】						
1	9.2	43.6	34.4	↗	6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている
2	6.7	63.1	56.4	↗	4-2-1	交通マナーが良い地域である
3	6.3	42.4	36.1	↗	5-4-2	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている
【回答者自身の実践状況】						
1	6.4	63.6	57.2	⇒	4-2-3	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている

一方で、平均値が5ポイント以上低下した9指標（うち「環境や体制に関する評価」5指標、「回答者自身の実践状況」4指標）は以下のとおりです。

順位	増減 (a-b)	平均 (R4～R5)	現状値 (R3)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
【環境や体制に関する評価】						
54	-16.3	31.7	48.0	↘	3-1-1	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている
53	-10.6	29.4	40.0	↘	6-3-3	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている
52	-10.4	71.2	81.6	↘	4-2-2	犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である
51	-7.9	48.0	55.9	↘	2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である
50	-6.9	27.2	34.1	⇒	7-2-1 7-2-2	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている
49	-5.0	45.4	50.4	↘	7-1-1	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である
【回答者自身の実践状況】						
39	-20.7	66.5	87.2	↘	4-2-2	犯罪被害に遭わないよう対策をしている
38	-16.4	59.6	76.0	↘	3-1-1	災害に対する備え(防災グッズ・バザードマップの確認)や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている
37	-14.6	76.6	91.2	↘	4-2-1	自転車の交通ルールやマナーを意識している
36	-6.7	38.9	45.6	↘	5-3-1	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる

※ 「目標」は、現状値と比較して計画期間の平均値を5ポイント以上の上昇とする場合 
 現状維持(5ポイント未満までの上昇)とする場合  と記載

- 上記指標（平均値が5ポイント以上低下）の「モニターの主な否定的意見」のうち、代表的意見は以下のとおりです。

順位	施策コード	指標名	モニターの主な否定的意見（代表的なもののみ抜粋）
【環境や体制に関する評価】			
54	3-1-1	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている	<ul style="list-style-type: none"> ✓個人の努力に任されている部分が多い(R4・R5) ✓取組をしている実感がわからない(R4・R5) ✓もう少し情報が欲しい(R5) ✓グラウンドや公園にもっと東屋やパラソル、噴水、熱中症アラーム搭載の温度計などを設置していただきたい(R4) ✓個人が防災、環境関連グッズ購入支援があると良い(R4)
53	6-3-3	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている	<ul style="list-style-type: none"> ✓特にそう感じないため(R4・R5) ✓コロナを境にパワーダウンしてる(R4・R5) ✓空き店舗が目立つ(R5) ✓もう少し開店支援施策などを増やしてほしい(R5) ✓市民が少ないので興してもやっていけない(R4) ✓増えたのはコンビニばかり。魅力的なお店はやはり減ってきている。若い人による起業が進められるような経済状態ではないということか(R4)
52	4-2-2	犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である	<ul style="list-style-type: none"> ✓学校の近くで不審者が出たことがあって怖いなど感じたから(R4・R5) ✓詐欺被害は増えていると思うので(R4・R5) ✓時々勧誘電話や訪問販売に悩まされていますし、毎年近隣アパートなどの空き巣被害の噂を聞きます(R4・R5) ✓街灯が少なく光量も足りないため、道路が大変暗い。警察が巡回していると思えない(R5)
51	2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である	<ul style="list-style-type: none"> ✓県内他市町村よりも支援や補助が少ないと感じています(R4・R5) ✓子どもの医療費、給食費は無料が良い(R4・R5) ✓生活インフラが整っていないため子供を育てにくい環境である(R5) ✓一番不安な未就園児時代が誰でも親子で集まれるような機会が少ないし、そういった場所も少ないから(R4・R5) ✓子育てを支える行政サービスの質が低い(R4)
50	7-2-1	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている	<ul style="list-style-type: none"> ✓特にバス路線の減便や土日運休が増えるなど移動に不便さを感じる(R5) ✓市街地は移動しやすいが、他の地域は難しい(R4・R5) ✓運賃が高く、本数も少なく不便(R4・R5) ✓自家用車がないと生活できないと思います(R4・R5)
49	7-2-2	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である	<ul style="list-style-type: none"> ✓駐車場が有料で、安くないため(R4・R5) ✓中心部も閑散としている感じがする(R4・R5) ✓医療、福祉施設は、集まっていない(R4・R5) ✓マンション急増で市民が必要とする施設はむしろ少ない(R5) ✓郊外が栄えはじめ、中心市街地や鉄道駅周辺はシャッター商店街が多く行くことが減りました(R4)

順位	施策コード	指標名	モニターの主な否定的意見（代表的なもののみ抜粋）
【回答者自身の実践状況】			
39	4-2-2	犯罪被害に遭わないよう対策をしている	<ul style="list-style-type: none"> ✓気をつけている程度(R4・R5) ✓具体的にどうしたら良いか(R4・R5) ✓田舎なので犯罪意識が低い気がする(R5) ✓子供に詐欺に気をつけるように言われることはある(R4)
38	3-1-1	災害に対する備え(防災グッズ・ハザードマップの確認)や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている	<ul style="list-style-type: none"> ✓防災グッズなどの備えはできていない(R4・R5) ✓大きな災害の後はどう思うか、何を揃えたらいいのかわからなくなってしまい荷物が重くなってしまいうので、難しい(R5) ✓ハザードマップは確認済だが、まだ防災グッズの準備が十分でない(R4・R5) ✓正常性バイアスで、自分は大丈夫とってしまいます(R4)
37	4-2-1	自転車の交通ルールやマナーを意識している	<ul style="list-style-type: none"> ✓自転車には乗らない(R4・R5) ✓ヘルメットを購入したが子どもの分と合わせると3つになり、かさばりあまり使っていない。駐輪場でぬすまれる可能性もあるし(R5) ✓マナーを意識しているが、無意識のマナーの悪い高齢者が多すぎる(R4・R5)
36	5-3-1	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる	<ul style="list-style-type: none"> ✓忙しくてなかなか機会がない為(R4・R5) ✓興味がない(R4・R5) ✓コロナ前よりも行かなくなりました(R4・R5) ✓行きたいが、子どもは基本入れないから、いけない(R4・R5)

なお、上記指標に共通する課題としては、以下の4点が挙げられます。

①少子高齢化対策・人口減少対策

【環境・体制】 2-1-1、6-3-3

②地域における交流促進、地域コミュニティの再生

【環境・体制】 2-1-1、4-2-2、6-3-3、7-2-2

【回答者自身】 4-2-2

③交通ネットワークの拡充

【環境・体制】 7-2-1、7-2-2

④情報発信

【環境・体制】 3-1-1

【回答者自身】 4-2-2

第5 集計結果

I 環境や体制に関する評価 結果一覧 [割合(%)]

施策コード	指標名	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう 思わない	分からない	無回答
1-1-1	市民の声が市政に反映されている	1.8	15.4	32.8	21.4	26.9	1.6
1-1-2	住民自治協議会、区、自治会、NPO法人などの活動がまちづくりに役立っている	5.1	27.1	28.3	13.1	24.7	1.7
1-2-1	効果的で効率的な行政運営が行われている	2.3	16.2	31.2	16.2	32.1	1.9
1-2-2	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている	2.5	16.4	31.2	18.4	29.5	2.0
	市の職員に好感が持てる	10.6	37.6	19.5	11.1	19.5	1.7
1-2-3	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる	4.8	22.7	27.2	11.9	31.5	1.9
2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である	7.6	37.7	22.6	10.0	20.2	1.9
2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している	8.4	36.7	19.3	5.7	27.8	2.1
2-1-3	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている	3.3	21.1	24.9	8.7	39.8	2.2
2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている	5.4	28.6	28.9	10.5	24.4	2.1
2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている	5.8	33.0	29.8	14.7	15.1	1.6
2-3-1	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている	3.6	18.8	29.6	13.8	32.3	1.9
2-3-2	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている	7.8	33.0	33.5	16.8	7.2	1.6
2-3-3	生活に困った時に相談できる体制が整っている	3.6	21.1	29.8	14.4	29.4	1.6
2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	5.8	34.0	31.0	10.8	16.4	2.0
2-4-2	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている	2.7	14.2	35.1	17.1	29.1	1.8
2-4-3	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	13.3	45.9	20.8	8.2	10.1	1.7
2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	5.0	29.1	28.4	13.5	22.2	1.8
2-5-2	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である	3.9	19.1	31.0	15.4	28.5	2.2
3-1-1	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	3.7	18.9	38.7	22.3	14.4	1.9
3-1-1	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている	4.7	24.3	37.1	17.7	14.4	1.8
3-1-2	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	9.1	35.3	31.0	13.2	9.4	2.0
3-2-1	豊かな自然環境が保たれている	19.0	51.9	16.7	5.2	5.4	1.8
3-2-2	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている	21.6	52.8	16.0	4.3	3.4	1.8
4-1-1	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている	4.1	26.3	30.5	12.6	24.4	2.0
4-1-2	消防や救急体制が十分に整っている	15.7	45.3	17.5	5.3	14.5	1.7
4-2-1	交通マナーが良い地域である	18.2	47.7	20.2	8.9	3.0	1.9
4-2-2	犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である	17.5	54.3	15.7	4.1	6.6	1.8
4-2-3	悪質商法や特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている	5.1	26.9	22.7	7.6	35.3	2.2

I 環境や体制に関する評価 結果一覧 [割合(%)]

施策コード	指標名	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう 思わない	分からない	無回答
5-1-1	知(学力)・徳(豊かな心)・体(体力)を一体的に育成し、子どもがたくましく生きていくための教育が行われている	8.5	30.7	26.4	7.4	23.9	3.0
5-1-2	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている	8.0	32.4	24.8	8.3	24.3	2.3
5-1-3	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている	10.7	38.9	23.5	7.8	17.2	2.0
5-2-1	公民館などで、学びの機会が提供されている	11.3	30.1	27.0	13.3	16.1	2.1
5-2-2	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている	10.1	33.0	27.4	12.2	15.3	2.0
5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている	10.0	31.9	31.5	16.6	8.0	2.0
5-3-2	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている	11.9	39.7	21.5	7.6	17.0	2.2
5-4-1	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	12.5	36.1	29.5	12.4	7.5	2.1
5-4-2	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている	11.2	33.1	26.6	15.8	11.2	2.1
5-5-1	国際交流が盛んに行われている	2.8	14.6	32.8	23.9	23.6	2.3
6-1-1	長野市は、魅力的な観光都市である	23.0	42.4	22.0	8.9	1.8	1.9
6-1-2							
6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている	9.5	34.1	36.3	13.1	4.8	2.1
6-2-1	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる	5.2	23.1	34.0	20.0	15.6	2.1
6-2-2	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である	57.9	32.4	4.6	2.5	1.2	1.3
6-2-3	森林が整備されている地域である	10.3	28.8	27.4	14.3	17.4	1.7
6-3-1	活力のある企業が多い地域である	4.0	24.9	38.9	15.8	14.4	2.0
6-3-2	市内に个性的で魅力的なお店が増えている	7.2	32.9	32.8	17.2	8.1	1.8
6-3-3	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている	4.8	23.0	31.4	16.1	22.8	1.8
6-4-1	仕事を見つけやすい環境が整っている	2.3	15.4	38.6	22.3	19.5	1.8
6-4-2	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている	4.0	28.7	35.0	12.9	17.1	2.3
7-1-1	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である	10.8	32.6	31.4	19.3	4.3	1.6
7-1-2	日常生活に必要なインフラが整備されている	13.0	40.1	26.8	13.1	5.3	1.7
7-1-3	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる	3.9	26.7	38.6	19.8	9.2	1.7
7-1-4	景観やまちなみが美しい地域である	14.2	43.1	28.7	9.2	3.2	1.7
7-2-1	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている	4.6	18.8	34.9	36.0	3.8	2.0
7-2-2							

II 回答者自身の実践状況 結果一覧 [割合(%)]

施策コード	指標名	当てはまる	やや当てはまる	当てはまらない	あまり	当てはまらない	分からない	無回答
1-1-1	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている	2.2	7.0	19.5	64.7	4.8	1.8	
1-1-2	まちづくりに関わるボランティア活動(住民自治協議会や区なども含む)に参加している	7.6	14.3	17.0	56.4	3.3	1.4	
2-1-1	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている	12.5	34.9	23.5	20.0	7.5	1.6	
2-1-2	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている	12.5	34.9	23.5	20.0	7.5	1.6	
2-2-2	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	14.0	41.7	22.5	15.5	4.6	1.6	
2-3-1	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている	15.6	48.3	20.0	9.9	4.4	1.8	
2-3-2	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている	17.3	41.1	24.1	13.1	2.9	1.5	
2-4-1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	24.3	38.4	22.9	11.6	1.4	1.4	
2-4-2	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	23.8	45.0	18.6	9.2	1.9	1.6	
2-4-3	かかりつけ医がいる	51.1	23.5	9.9	13.4	0.8	1.3	
2-5-1	人権問題について理解を深めようとしている	20.1	38.1	21.5	11.0	7.6	1.6	
2-5-2	男女共同参画や女性活躍推進について理解を深めようとしている	18.9	36.9	21.9	11.7	8.8	1.7	
3-1-1	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	14.0	28.8	28.8	24.3	2.7	1.4	
3-1-1	災害に対する備え(防災グッズ・バザードマップの確認)や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている	14.6	44.5	25.2	11.9	2.2	1.6	
3-1-2	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している	36.2	49.9	9.3	2.3	0.7	1.5	
	マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる	35.6	39.9	15.9	6.2	0.9	1.6	
	ごみの分別を徹底している	64.1	29.9	3.4	0.9	0.5	1.2	
3-2-1	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている	16.3	35.8	30.2	11.4	4.8	1.5	
3-2-2	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している	16.0	31.2	26.6	21.2	3.3	1.8	
4-1-1	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している	19.5	33.2	25.7	19.6	0.7	1.3	
4-1-2	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している	9.8	22.2	29.9	35.1	1.4	1.6	
4-2-1	自転車の交通ルールやマナーを意識している	35.8	39.6	11.5	7.5	4.0	1.6	
4-2-2	犯罪被害に遭わないよう対策をしている	22.5	44.6	21.4	6.8	3.2	1.5	
4-2-3	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている	25.4	38.9	19.9	12.9	1.4	1.5	
5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている	17.9	45.2	21.4	11.8	2.5	1.3	

Ⅱ 回答者自身の実践状況 結果一覧 [割合(%)]

施策コード	指標名	当てはまる	やや当てはまる	当てはまらない あまり	当てはまらない	分からない	無回答
5-2-1	公民館などで提供されている学びの場に参加している	5.9	15.8	26.7	47.0	3.1	1.4
5-2-2	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている	2.2	9.9	30.5	48.4	7.4	1.5
5-3-1	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる	12.4	29.3	25.5	29.3	2.1	1.4
5-3-2	地域の伝統的な行事に参加している	8.0	26.4	25.2	36.7	2.1	1.6
5-4-2	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している	5.3	15.4	23.3	52.8	1.8	1.4
5-5-1	国際交流イベントに参加している	0.8	3.3	18.4	73.4	2.4	1.7
5-5-2	外国の文化や習慣を理解しようと努めている	7.8	22.6	25.5	37.7	4.9	1.6
6-1-1	知人や友人などに地域の魅力を伝えている	7.5	23.3	29.5	34.4	3.7	1.6
6-1-2	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている	8.9	27.6	27.7	26.3	7.9	1.6
6-2-1	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる	16.5	23.8	15.7	40.6	1.8	1.6
6-2-2	地元産の農産物を買うように心がけている	37.6	41.2	11.7	7.2	0.8	1.5
6-3-1 6-3-2	地元のお店で買い物をするように心がけている	41.3	38.8	11.5	6.0	0.8	1.6
7-1-4	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている	27.3	43.7	16.0	8.9	2.8	1.4
7-2-1	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している	11.1	9.6	17.9	58.2	1.7	1.4
	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている	17.5	32.2	24.0	19.1	5.5	1.7

第6 アンケート指標の推移

●：環境や体制に関する評価（54項目）



：現状値と比較して計画期間の平均値を5ポイント以上の上昇

○：回答者自身の実践状況（39項目）



：現状維持（5ポイント未満までの上昇）

施策コード／施策名		担当部局				
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)				
		現状値 R3	平均値 R4～R5	R5実績値	平均	目標
1-1-1 市民とともにつくる市政の推進		企画政策部				
●	市民の声が市政に反映されている	18.8	18.4	17.2	18.4	↗
○	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている	10.1	9.2	9.2	9.2	↗
1-1-2 市民によるまちづくり活動への支援		地域・市民生活部				
●	住民自治協議会、区、自治会、NPO法人などの活動がまちづくりに役立っている	37.5	34.1	32.2	34.1	↗
○	まちづくりに関わるボランティア活動（住民自治協議会や区なども含む）に参加している	24.9	22.0	21.9	22.0	↗
1-2-1 効果的で効率的な行財政運営の推進		総務部、財政部				
●	効果的で効率的な行政運営が行われている	20.5	19.9	18.5	19.9	↗
○	（設定なし）	—	—	—	—	
1-2-2 市民の満足が得られる市政の推進		総務部、企画政策部				
●	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている	20.9	20.1	18.9	20.1	↗
●	市の職員に好感が持てる	49.4	46.9	48.2	46.9	↗
○	（設定なし）	—	—	—	—	
1-2-3 地方中核都市としての役割の遂行		企画政策部				
●	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる	30.0	28.9	27.5	28.9	↗
○	（設定なし）	—	—	—	—	
2-1-1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援		こども未来部、保健福祉部				
●	子どもを産み育てやすい地域である	55.9	48.0	45.3	48.0	↗
○	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている	46.4	45.5	47.4	45.5	↗
2-1-2 子どもの成長を育む支援環境の充実		こども未来部、保健福祉部				
●	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している	51.5	47.4	45.1	47.4	↗
○	〔再掲：2-1-1 子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている〕	46.4	45.5	47.4	45.5	↗
2-1-3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援		こども未来部、保健福祉部				
●	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている	26.8	25.5	24.4	25.5	↗
○	（設定なし）	—	—	—	—	

施策コード／施策名		担当部局				
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)				
		現状値	平均値	R5実績値	平均	目標
		R3	R4～R5			
2-2-1 高齢者の社会参加と生きがいの推進		保健福祉部				
●	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている	39.8	35.3	34.0	35.3	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
2-2-2 地域包括ケアシステムの深化・推進		保健福祉部				
●	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている	42.9	40.6	38.8	40.6	↗
○	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	54.7	54.1	55.7	54.1	↗
2-3-1 障害者(児)福祉の充実		保健福祉部				
●	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている	22.8	23.4	22.4	23.4	↗
○	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている	64.5	64.3	63.9	64.3	↗
2-3-2 認め合い、支え合い、活かす合う地域社会の実現		保健福祉部				
●	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている	42.8	41.1	40.8	41.1	↗
○	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている	57.6	59.0	58.4	59.0	↗
2-3-3 生活の安定と自立への支援		保健福祉部				
●	生活に困った時に相談できる体制が整っている	24.7	24.3	24.7	24.3	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
2-4-1 健康の保持・増進の支援		保健福祉部				
●	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	43.7	40.5	39.8	40.5	↗
○	健康づくりに継続的に取り組んでいる	62.9	63.3	62.7	63.3	↗
2-4-2 保健衛生の充実		保健福祉部				
●	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている	18.4	17.5	16.9	17.5	↗
○	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	68.4	69.2	68.8	69.2	↗
2-4-3 地域医療体制の充実		保健福祉部				
●	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	61.3	59.9	59.2	59.9	↗
○	かかりつけ医がいる	73.9	74.1	74.6	74.1	→
2-5-1 人権尊重社会の実現		地域・市民生活部				
●	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	34.7	33.4	34.1	33.4	↗
○	人権問題について理解を深めようとしている	58.3	58.3	58.2	58.3	↗
2-5-2 男女共同参画社会の実現		地域・市民生活部				
●	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である	23.5	23.8	23.0	23.8	↗
○	男女共同参画や女性活躍推進について理解を深めようとしている	51.3	56.1	55.8	56.1	↗

施策コード／施策名		担当部局				
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)				
		現状値	平均値	R5実績値	平均	目標
		R3	R4～R5			
3-1-1 脱炭素社会の構築		環境部				
●	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	22.9	22.6	22.6	22.6	↗
●	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている	48.0	31.7	29.0	31.7	↗
○	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	40.2	42.0	42.8	42.0	↗
○	災害に対する備え(防災グッズ・バザードマップの確認)や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている	76.0	59.6	59.1	59.6	↗
3-1-2 循環型社会の実現		環境部				
●	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	44.1	44.9	44.4	44.9	↗
○	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している	85.2	87.2	86.1	87.2	→
○	マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる	76.0	76.5	75.5	76.5	↗
○	ごみの分別を徹底している	93.7	94.5	94.0	94.1	→
3-2-1 豊かな自然環境の保全		環境部				
●	豊かな自然環境が保たれている	70.4	71.3	70.9	71.3	→
○	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている	51.7	52.3	52.1	52.3	↗
3-2-2 良好で快適な環境の保全と創造		環境部				
●	空気や水がきれい、まちも美しく保たれている	71.8	73.9	74.4	73.9	→
○	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している	47.5	47.0	47.2	47.0	↗
4-1-1 防災・減災対策の推進		総務部				
●	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている	34.2	33.0	30.4	33.0	↗
○	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している	49.6	52.4	52.7	52.4	↗
4-1-2 消防力の充実・強化及び火災予防		消防局				
●	消防や救急体制が十分に整っている	60.4	62.1	61.0	62.1	↗
○	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している	33.3	31.9	32.0	31.9	↗
4-2-1 交通安全対策の推進		地域・市民生活部				
●	交通マナーが良い地域である	56.4	63.1	65.9	63.1	↗
○	自転車の交通ルールやマナーを意識している	91.2	76.6	75.4	76.6	↗
4-2-2 防犯対策の推進		地域・市民生活部				
●	犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である	81.6	71.2	71.8	71.2	↗
○	犯罪被害に遭わないよう対策をしている	87.2	66.5	67.1	66.5	↗
4-2-3 安全な消費生活の確保		地域・市民生活部				
●	悪質商法や特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている	31.3	32.2	32.0	32.2	↗
○	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている	57.2	63.6	64.3	63.6	→

施策コード／施策名		担当部局				
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)				
		現状値	平均値	R5実績値	平均	目標
		R3	R4～R5			
5-1-1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実		教育委員会、こども未来部				
●	知(学力)・徳(豊かな心)・体(体力)を一体的に育成し、子どもがたくましく生きていくための教育が行われている	43.2	40.4	39.2	40.4	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
5-1-2 子どもに応じた支援の充実		教育委員会、こども未来部				
●	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている	42.7	42.1	40.4	42.1	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
5-1-3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力の向上		教育委員会、こども未来部				
●	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている	51.0	50.8	49.6	50.8	↗
○	地域の子どものあいさつや声かけをしている	62.3	62.0	63.1	62.0	↗
5-2-1 生涯学習環境の充実		教育委員会				
●	公民館などで、学びの機会が提供されている	43.6	42.3	41.4	42.3	↗
○	公民館などで提供されている学びの場に参加している	22.0	21.1	21.7	21.1	↗
5-2-2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進		教育委員会				
●	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている	43.8	43.1	43.1	43.1	↗
○	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている	13.1	11.8	12.1	11.8	↗
5-3-1 多彩な文化芸術の創造と活動支援		文化スポーツ振興部				
●	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている	39.5	41.8	41.9	41.8	↗
○	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる	45.6	38.9	41.7	38.9	↗
5-3-2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進		教育委員会、文化スポーツ振興部				
●	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている	52.2	53.0	51.6	53.0	↗
○	地域の伝統的な行事に参加している	31.3	31.7	34.4	31.7	↗
5-4-1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進		文化スポーツ振興部				
●	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	53.5	51.2	48.6	51.2	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
5-4-2 スポーツを通じた交流拡大の推進		文化スポーツ振興部				
●	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている	36.1	42.4	44.3	42.4	↗
○	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している	16.8	18.4	20.7	18.4	↗
5-5-1 国際交流活動の推進		企画政策部、教育委員会				
●	国際交流が盛んに行われている	12.3	15.8	17.4	15.8	↗
○	国際交流イベントに参加している	3.2	3.6	4.1	3.6	↗

施策コード／施策名		担当部局				
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)				
		現状値	平均値	R5実績値	平均	目標
		R3	R4～R5			
5-5-2 多文化共生の推進		企画政策部、教育委員会				
●	(設定なし)	—	—	—	—	—
○	外国の文化や習慣を理解しようと努めている	29.4	30.7	30.4	30.7	↗
6-1-1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進		商工観光部				
●	長野市は、魅力的な観光都市である	64.0	68.2	65.4	68.2	↗
○	知人や友人などに地域の魅力を伝えている	33.1	31.3	30.8	31.3	↗
6-1-2 インパウンドの推進		商工観光部				
●	[再掲:6-1-1 長野市は、魅力的な観光都市である]	64.0	68.2	65.4	68.2	↗
○	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている	33.0	35.1	36.5	35.1	↗
6-1-3 コンベンションの誘致推進		商工観光部				
●	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている	34.4	43.6	43.6	43.6	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
6-2-1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進		農林部				
●	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる	25.6	30.1	28.3	30.1	↗
○	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる	42.4	41.3	40.3	41.3	↗
6-2-2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進		農林部				
●	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である	92.0	91.0	90.3	91.0	⇒
○	地元産の農産物を買うように心がけている	84.0	79.6	78.8	79.6	⇒
6-2-3 森林の保全と資源の活用促進		農林部				
●	森林が整備されている地域である	41.7	40.3	39.1	40.3	↗
○	(設定なし)	—	—	—	—	—
6-3-1 商工業の強化と環境整備の促進		商工観光部				
●	活力のある企業が多い地域である	30.1	29.4	28.9	29.4	↗
●	市内に个性的で魅力的なお店が増えている	37.3	41.2	40.1	41.2	↗
○	地元のお店で買い物をするように心がけている	79.9	80.2	80.1	80.2	⇒
6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進		商工観光部				
●	[再掲:6-3-1 活力のある企業が多い地域である]	30.1	29.4	28.9	29.4	↗
●	[再掲:6-3-1 市内に个性的で魅力的なお店が増えている]	37.3	41.2	40.1	41.2	↗
○	[再掲:6-3-1 地元のお店で買い物をするように心がけている]	79.9	80.2	80.1	80.2	⇒

施策コード／施策名		担当部局				
区分	指標名	肯定的回答割合の合算値(%)				
		現状値	平均値	R5実績値	平均	目標
		R3	R4～R5			
6-3-3 新たな活力につながる産業の創出		商工観光部				
●	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている	40.0	29.4	27.8	29.4	↗
○	(設定なし)	-	-	-	-	-
6-4-1 就労の促進と多様な働き方の支援		商工観光部				
●	仕事を見つけやすい環境が整っている	13.7	17.1	17.7	17.1	↗
○	(設定なし)	-	-	-	-	-
6-4-2 勤労者福祉の推進		商工観光部				
●	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている	33.6	33.3	32.7	33.3	↗
○	(設定なし)	-	-	-	-	-
7-1-1 地域の特性に応じた都市機能の充実		都市整備部				
●	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である	50.4	45.4	43.4	45.4	↗
○	(設定なし)	-	-	-	-	-
7-1-2 暮らしを支える生活機能の維持		建設部、上下水道局				
●	日常生活に必要なインフラが整備されている	56.3	53.9	53.1	53.9	↗
○	(設定なし)	-	-	-	-	-
7-1-3 多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進		建設部、都市整備部				
●	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる	31.4	30.5	30.6	30.5	↗
○	(設定なし)	-	-	-	-	-
7-1-4 地域の特色を活かした景観の形成		都市整備部				
●	景観やまちなみが美しい地域である	59.6	59.9	57.3	59.9	⇒
○	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている	71.9	71.4	71.0	71.4	⇒
7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築		都市整備部				
●	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている	34.1	27.2	23.4	27.2	⇒
○	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している	20.4	20.7	20.7	20.7	⇒
○	公共交通を自らの暮らしや地域を維持するために必要なものと理解し、支えていこうと心がけている	48.7	49.1	49.7	49.1	⇒
7-2-2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備		都市整備部				
●	[再掲:7-2-1 公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている]	34.1	27.2	23.4	27.2	⇒
○	[再掲:7-2-1 通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している]	20.4	20.7	20.7	20.7	⇒
○	[再掲:7-2-1 公共交通を自らの暮らしや地域を維持するために必要なものと理解し、支えていこうと心がけている]	48.7	49.1	49.7	49.1	⇒

▼実績値の上位順（環境や体制に関する評価）

順位		実績値 (R5)	現状値 (R3)	目標	施策 コード	指標名
R5	R4					
1	1	90.3	92.0	⇒	6-2-2	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である
2	2	74.4	71.8	⇒	3-2-2	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている
3	5	71.8	81.6	↗	4-2-2	犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である
4	3	70.9	70.4	⇒	3-2-1	豊かな自然環境が保たれている
5	9	65.9	56.4	↗	4-2-1	交通マナーが良い地域である
6	4	65.4	64.0	↗	6-1-1 6-1-2	長野市は、魅力的な観光都市である
7	6	61.0	60.4	↗	4-1-2	消防や救急体制が十分に整っている
8	8	59.2	61.3	↗	2-4-3	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている
9	7	57.3	59.6	⇒	7-1-4	景観やまちなみが美しい地域である
10	10	53.1	56.3	↗	7-1-2	日常生活に必要なインフラが整備されている
11	11	51.6	52.2	↗	5-3-2	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている
12	13	49.6	51.0	↗	5-1-3	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている
13	12	48.6	53.5	↗	5-4-1	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている
14	17	48.2	49.4	↗	1-2-2	市の職員に好感が持てる
15	14	45.3	55.9	↗	2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である
16	15	45.1	51.5	↗	2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している
17	18	44.4	44.1	↗	3-1-2	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている
18	31	44.3	36.1	↗	5-4-2	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている
19	20	43.6	34.4	↗	6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている
20	16	43.4	50.4	↗	7-1-1	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である
21	21	43.1	43.8	↗	5-2-2	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている
22	25	41.9	39.5	↗	5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている
23	21	41.4	43.6	↗	5-2-1	公民館などで、学びの機会が提供されている
24	28	40.8	42.8	↗	2-3-2	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている
25	19	40.4	42.7	↗	5-1-2	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている
26	24	40.1	37.3	↗	6-3-1 6-3-2	市内に个性的で魅力的なお店が増えている
27	29	39.8	43.7	↗	2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている
28	25	39.2	43.2	↗	5-1-1	知(学力)・徳(豊かな心)・体(体力)を一体的に育成し、子どもがたくましく生きていくための教育が行われている

順位		実績値 (R5)	現状値 (R3)	目標	施策 コード	指標名
R5	R4					
29	27	39.1	41.7	↗	6-2-3	森林が整備されている地域である
30	23	38.8	42.9	↗	2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている
31	36	34.1	34.7	↗	2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である
32	31	34.0	39.8	↗	2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている
33	35	32.7	33.6	↗	6-4-2	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている
34	32	32.2	37.5	↗	1-1-2	住民自治協議会、区、自治会、NPO法人などの活動がまちづくりに役立っている
35	37	32.0	31.3	↗	4-2-3	悪質商法や特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている
36	41	30.6	31.4	↗	7-1-3	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる
37	33	30.4	34.2	↗	4-1-1	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている
38	34	29.0	48.0	↗	3-1-1	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている
39	43	28.9	30.1	↗	6-3-1 6-3-2	活力のある企業が多い地域である
40	38	28.3	25.6	↗	6-2-1	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる
41	39	27.8	40.0	↗	6-3-3	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている
42	42	27.5	30.0	↗	1-2-3	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる
43	47	24.7	24.7	↗	2-3-3	生活に困った時に相談できる体制が整っている
44	44	24.4	26.8	↗	2-1-3	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている
45	40	23.4	34.1	⇒	7-2-1 7-2-2	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている
46	45	23.0	23.5	↗	2-5-2	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である
47	48	22.6	22.9	↗	3-1-1	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている
48	46	22.4	22.8	↗	2-3-1	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている
49	49	18.9	20.9	↗	1-2-2	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている
50	49	18.5	20.5	↗	1-2-1	効果的で効率的な行政運営が行われている
51	53	17.7	13.7	↗	6-4-1	仕事を見つけやすい環境が整っている
52	54	17.4	12.3	↗	5-5-1	国際交流が盛んに行われている
53	51	17.2	18.8	↗	1-1-1	市民の声が市政に反映されている
54	52	16.9	18.4	↗	2-4-2	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている

▼実績値の上位順（回答者自身の実践状況）

順位		実績値 (R5)	現状値 (R3)	目標	施策 コード	指標名
R5	R4					
1	1	94.0	93.7	⇒	3-1-2	ごみの分別を徹底している
2	2	86.1	85.2	⇒	3-1-2	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
3	4	80.1	79.9	⇒	6-3-1 6-3-2	地元のお店で買い物をするように心がけている
4	3	78.8	84.0	⇒	6-2-2	地元産の農産物を買うように心がけている
5	6	75.5	76.0	⇒	3-1-2	マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる
6	5	75.4	91.2	⇒	4-2-1	自転車の交通ルールやマナーを意識している
7	7	74.6	73.9	⇒	2-4-3	かかりつけ医がいる
8	8	71.0	71.9	⇒	7-1-4	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている
9	9	68.8	68.4	⇒	2-4-2	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている
10	10	67.1	87.2	⇒	4-2-2	犯罪被害に遭わないよう対策をしている
11	13	64.3	57.2	⇒	4-2-3	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている
12	11	63.9	64.5	⇒	2-3-1	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている
13	14	63.1	62.3	⇒	5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている
14	12	62.7	62.9	⇒	2-4-1	健康づくりに継続的に取り組んでいる
15	15	59.1	76.0	⇒	3-1-1	災害に対する備え(防災グッズ・バザードマップの確認)や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている
16	16	58.4	57.6	⇒	2-3-2	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている
17	17	58.2	58.3	⇒	2-5-1	人権問題について理解を深めようとしている
18	18	55.8	51.3	⇒	2-5-2	男女共同参画や女性活躍推進について理解を深めようとしている
19	19	55.7	54.7	⇒	2-2-2	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている
20	21	52.7	49.6	⇒	4-1-1	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している
21	19	52.1	51.7	⇒	3-2-1	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている
22	22	49.7	48.7	⇒	7-2-1	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている
23	24	47.4	46.4	⇒	2-1-1 2-1-2	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている
24	23	47.2	47.5	⇒	3-2-2	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している
25	26	42.8	40.2	⇒	3-1-1	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている
26	27	41.7	45.6	⇒	5-3-1	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる
27	25	40.3	42.4	⇒	6-2-1	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる
28	28	36.5	33.0	⇒	6-1-2	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている

順位		実績値 (R5)	現状値 (R3)	目標	施策 コード	指標名
R5	R4					
29	32	34.4	31.3	↗	5-3-2	地域の伝統的な行事に参加している
30	30	32.0	33.3	↗	4-1-2	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している
31	29	30.8	33.1	↗	6-1-1	知人や友人などに地域の魅力を伝えている
32	31	30.4	29.4	↗	5-5-2	外国の文化や習慣を理解しようと努めている
33	33	21.9	24.9	↗	1-1-2	まちづくりに関わるボランティア活動(住民自治協議会や区なども含む)に参加している
34	35	21.7	22.0	↗	5-2-1	公民館などで提供されている学びの場に参加している
35	36	20.7	16.8	↗	5-4-2	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している
35	34	20.7	20.4	⇒	7-2-1	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している
37	37	12.1	13.1	↗	5-2-2	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている
38	38	9.2	10.1	↗	1-1-1	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている
39	39	4.1	3.2	↗	5-5-1	国際交流イベントに参加している

▼現状値と平均値との比較による上位順（環境や体制に関する評価）

順位	増減 (a-b)	平均値 (R4～R5)	現状値 (R3)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
1	9.2	43.6	34.4	↗	6-1-3	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている
2	6.7	63.1	56.4	↗	4-2-1	交通マナーが良い地域である
3	6.3	42.4	36.1	↗	5-4-2	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている
4	4.5	30.1	25.6	↗	6-2-1	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる
5	4.2	68.2	64.0	↗	6-1-1 6-1-2	長野市は、魅力的な観光都市である
6	3.9	41.2	37.3	↗	6-3-1 6-3-2	市内に個性的で魅力的なお店が増えている
7	3.5	15.8	12.3	↗	5-5-1	国際交流が盛んに行われている
7	3.4	17.1	13.7	↗	6-4-1	仕事を見つけやすい環境が整っている
9	2.3	41.8	39.5	↗	5-3-1	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている
10	2.1	73.9	71.8	⇒	3-2-2	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている
11	1.7	62.1	60.4	↗	4-1-2	消防や救急体制が十分に整っている
12	0.9	71.3	70.4	⇒	3-2-1	豊かな自然環境が保たれている
12	0.9	32.2	31.3	↗	4-2-3	悪質商法や特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている
14	0.8	44.9	44.1	↗	3-1-2	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている
14	0.8	53.0	52.2	↗	5-3-2	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている
16	0.6	23.4	22.8	↗	2-3-1	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている
17	0.3	23.8	23.5	↗	2-5-2	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である
17	0.3	59.9	59.6	⇒	7-1-4	景観やまちなみが美しい地域である
19	-0.2	50.8	51.0	↗	5-1-3	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている
20	-0.3	22.6	22.9	↗	3-1-1	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている
20	-0.3	33.3	33.6	↗	6-4-2	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている
22	-0.4	18.4	18.8	↗	1-1-1	市民の声が市政に反映されている
22	-0.4	24.3	24.7	↗	2-3-3	生活に困った時に相談できる体制が整っている
24	-0.6	19.9	20.5	↗	1-2-1	効果的で効率的な行政運営が行われている
24	-0.6	42.1	42.7	↗	5-1-2	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている
26	-0.7	43.1	43.8	↗	5-2-2	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている
26	-0.7	29.4	30.1	↗	6-3-1 6-3-2	活力のある企業が多い地域である

順位	増減 (a-b)	平均値 (R4~R5)	現状値 (R3)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
28	-0.8	20.1	20.9	↗	1-2-2	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている
29	-0.9	17.5	18.4	↗	2-4-2	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている
29	-0.9	30.5	31.4	↗	7-1-3	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる
31	-1.0	91.0	92.0	⇒	6-2-2	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である
39	-1.1	28.9	30.0	↗	1-2-3	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる
32	-1.2	33.0	34.2	↗	4-1-1	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている
33	-1.3	25.5	26.8	↗	2-1-3	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている
33	-1.3	33.4	34.7	↗	2-5-1	互いの個性や立場を尊重し合える地域である
33	-1.3	42.3	43.6	↗	5-2-1	公民館などで、学びの機会が提供されている
36	-1.4	59.9	61.3	↗	2-4-3	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている
36	-1.4	40.3	41.7	↗	6-2-3	森林が整備されている地域である
38	-1.7	41.1	42.8	↗	2-3-2	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている
40	-2.3	40.6	42.9	↗	2-2-2	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている
40	-2.3	51.2	53.5	↗	5-4-1	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている
42	-2.4	53.9	56.3	↗	7-1-2	日常生活に必要なインフラが整備されている
43	-2.5	46.9	49.4	↗	1-2-2	市の職員に好感が持てる
44	-2.8	40.4	43.2	↗	5-1-1	知(学力)・徳(豊かな心)・体(体力)を一体的に育成し、子どもがたくましく生きていくための教育が行われている
45	-3.2	40.5	43.7	↗	2-4-1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている
46	-3.4	34.1	37.5	↗	1-1-2	住民自治協議会、区、自治会、NPO法人などの活動がまちづくりに役立っている
47	-4.1	47.4	51.5	↗	2-1-2	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している
48	-4.5	35.3	39.8	↗	2-2-1	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている
49	-5.0	45.4	50.4	↗	7-1-1	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である
50	-6.9	27.2	34.1	⇒	7-2-1 7-2-2	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている
51	-7.9	48.0	55.9	↗	2-1-1	子どもを産み育てやすい地域である
52	-10.4	71.2	81.6	↗	4-2-2	犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である
53	-10.6	29.4	40.0	↗	6-3-3	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている
54	-16.3	31.7	48.0	↗	3-1-1	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている

▼現状値と平均値との比較による上位順（回答者自身の実践状況）

順位	増減 (a-b)	平均値 (R4~R5)	現状値 (R3)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
1	6.4	63.6	57.2	⇒	4-2-3	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている
2	4.8	56.1	51.3	↗	2-5-2	男女共同参画や女性活躍推進について理解を深めようとしている
3	2.8	52.4	49.6	↗	4-1-1	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している
4	2.1	35.1	33.0	↗	6-1-2	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている
5	2.0	87.2	85.2	⇒	3-1-2	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している
6	1.8	42.0	40.2	↗	3-1-1	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている
7	1.6	18.4	16.8	↗	5-4-2	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している
8	1.4	59.0	57.6	↗	2-3-2	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている
9	1.3	30.7	29.4	↗	5-5-2	外国の文化や習慣を理解しようと努めている
10	0.8	69.2	68.4	↗	2-4-2	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている
10	0.8	94.5	93.7	⇒	3-1-2	ごみの分別を徹底している
12	0.6	52.3	51.7	↗	3-2-1	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている
13	0.5	76.5	76.0	↗	3-1-2	マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる
14	0.4	63.3	62.9	↗	2-4-1	健康づくりに継続的に取り組んでいる
14	0.4	31.7	31.3	↗	5-3-2	地域の伝統的な行事に参加している
14	0.4	3.6	3.2	↗	5-5-1	国際交流イベントに参加している
14	0.4	49.1	48.7	⇒	7-2-1	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている
18	0.3	80.2	79.9	⇒	6-3-1 6-3-2	地元のお店で買い物をするように心がけている
18	0.3	20.7	20.4	↗	7-2-1	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している
20	0.2	74.1	73.9	⇒	2-4-3	かかりつけ医がいる
21	0.0	58.3	58.3	↗	2-5-1	人権問題について理解を深めようとしている
22	-0.2	64.3	64.5	↗	2-3-1	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている
23	-0.3	62.0	62.3	↗	5-1-3	地域の子どもにあいさつや声かけをしている
24	-0.5	71.4	71.9	⇒	7-1-4	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている
25	-0.5	47.0	47.5	↗	3-2-2	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している
26	-0.6	54.1	54.7	↗	2-2-2	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている
29	-0.9	9.2	10.1	↗	1-1-1	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている

順位	増減 (a-b)	平均値 (R4~R5)	現状値 (R3)	目標	施策 コード	指標名
		a	b			
27	-0.9	45.5	46.4	↗	2-1-1 2-1-2	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている
28	-0.9	21.1	22.0	↗	5-2-1	公民館などで提供されている学びの場に参加している
30	-1.1	41.3	42.4	↗	6-2-1	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる
31	-1.3	11.8	13.1	↗	5-2-2	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている
32	-1.4	31.9	33.3	↗	4-1-2	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している
33	-1.8	31.3	33.1	↗	6-1-1	知人や友人などに地域の魅力を伝えている
34	-2.9	22.0	24.9	↗	1-1-2	まちづくりに関わるボランティア活動(住民自治協議会や区なども含む)に参加している
35	-4.4	79.6	84.0	⇒	6-2-2	地元産の農産物を買うように心がけている
36	-6.7	38.9	45.6	↗	5-3-1	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる
37	-14.6	76.6	91.2	↗	4-2-1	自転車の交通ルールやマナーを意識している
38	-16.4	59.6	76.0	↗	3-1-1	災害に対する備え(防災グッズ・バザードマップの確認)や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている
39	-20.7	66.5	87.2	↗	4-2-2	犯罪被害に遭わないよう対策をしている

第7 施策別の分析結果

【施策コード／施策名】 1-1-1 市民とともに作る市政の推進		【担当部局】 企画政策部																					
【区分】	【指標名】																						
●	市民の声が市政に反映されている																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>19.5%</td> <td>17.2%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>53.3%</td> <td>54.2%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>26.3%</td> <td>26.9%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	19.5%	17.2%	否定的評価割合	53.3%	54.2%	評価保留割合	26.3%	26.9%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>18.8%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">18.4%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	18.8%		平均値 (R4~R5)		18.4%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	19.5%	17.2%																					
否定的評価割合	53.3%	54.2%																					
評価保留割合	26.3%	26.9%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	18.8%																					
平均値 (R4~R5)		18.4%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ●●●●● 評価保留割合 		<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●— 肯定的評価割合 ●— モニター(参考) 																					
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																					
✓アンケートをやったりしているから	19歳以下	✓ニーズが反映されてるのか、実感がない																					
	20~29歳	✓市長がスポーツにばかり力を入れていると感じるが、市民がそうしてほしいと願って実現しているわけではないと感じるから ✓公共交通機関や公園などの問題は市民の声は届いてないイメージ																					
✓公園を簡単に無くした話が有名だが、もっと広い視野で市民の声を拾い上げてくれるともっとよくなると思う ✓幸せ実感モニターがあるから	30~39歳	✓公園廃止にする市長にうんざり ✓親への負担が増えた。 ✓発達障害児の手当てや、教員の充実など課題は山積み																					
✓市議が発信している広報を見ると、反映されていると感じる。 ✓市政に意見を伝える意思があればその受け皿は整っている。声が反映されていないと思っている市民もいるが市民側の行動力の問題。	40~49歳	✓買い物する所が少なく、不満を言っている人ばかりに出会う ✓市政には、お年寄りの声は良く届いているのかもしれないが、若い世代の声はあまり届いていないと思う。原因として、若い世代には市政に声を訴えかけ続ける余裕もないと思う。																					
✓市民の声をどう反映したか公開してほしい ✓高齢者の希望はよく反映されていると思う	50~59歳	✓青木島遊園地の一件で反映されないものだと ✓市民の声を届ける機会がないです。																					
✓自治会活動中 ✓具体的にどこが、なのかはっきりしない	60~69歳	✓公共交通設備の確保が最重要だと思う ✓青木島の公園廃止問題が端的に表しています。市長は自身に関心のあることには力点を置きますが、無関心のことには見向きもしない。明らかに勉強不足です																					
✓市民の声を聞いてもらえる機会が増え、それにより市政に反映されていると思う	70歳以上	✓住民、住自協をもっと利用すべきである																					

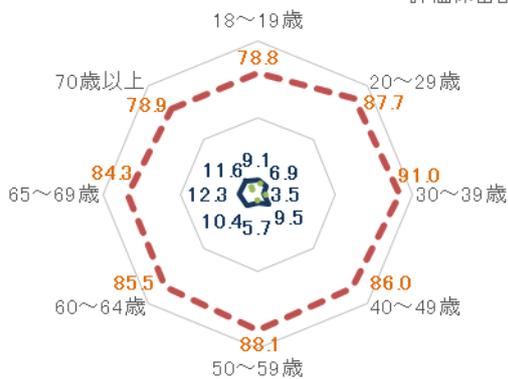
【区分】	【指標名】
○	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている

	R4	R5
肯定的評価割合	9.1%	9.2%
否定的評価割合	85.7%	84.2%
評価保留割合	4.3%	4.8%

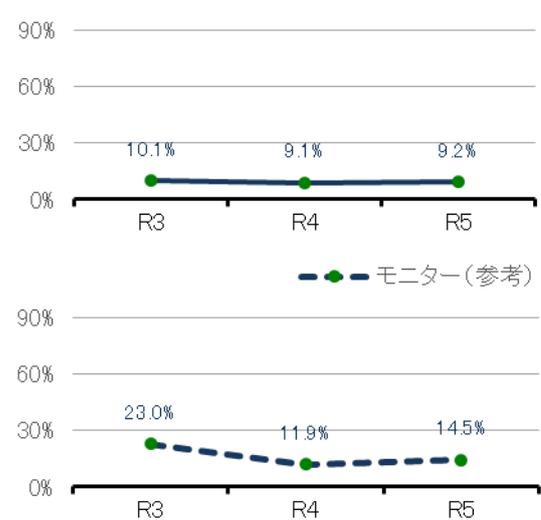
現状値 (R3)	目標 (R9)	9.2%	↗
平均値 (R4～R5)		10.1%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓幸せ実感モニターに参加している	19歳以下	✓やったことない ✓寄せたことは無い
✓こう言ったモニターに登録しているから	20～29歳	✓アイデアを募集しているかを知らない ✓どこでやるか不明
✓アンケートなどがあれば回答するようにしている ✓機会があれば ✓地域の会議では問題を言いやすく、議論してもらえる雰囲気がある	30～39歳	✓出来ていない ✓窓口を知らない ✓寄せたことはない ✓地域づくりに関心がない。この地域に希望が持てない。どこに言ってよいか分からない
✓本調査に協力している人はそういう人たちなんじゃないですか？自治会などへは、区長らと話す機会に伝えている。 ✓寄せてたけど、のれんに腕おしで、結局年寄り優先されると感じてやめてしまった	40～49歳	✓どこに意見したらよいか分からない為、寄せていない。市の動きを年数回詳しく出しても良いかも？ ✓寄せる場所がない ✓受け付けていることを知らない
✓子どもの居場所づくり ✓アンケートには真面目に考えて回答しているつもりです	50～59歳	✓警察と同じで、相手にされなそう ✓自治会は会長がどうしても男性なので、意見をいう時がない ✓やったことがない。そもそも個人のアイデアなんて聞いてくれるのか？
✓自治会活動中 ✓地元自治会の会長にアイデア(例えば、無駄な回覧の廃止やもっとネットワークを活用した情報提供など)を提案していますが、あまり気乗りでない	60～69歳	✓無記名で緑の葉書を出していたが、殆んど回答がないのでやめた ✓提案したいが、一人では何もできない
✓地域づくりの提案をしても、自治会がそれを受け止めてくれているとは限らないが…	70歳以上	✓もっと気軽にアイデアが出せる所を作ってほしい ✓このアンケート以外はしていない

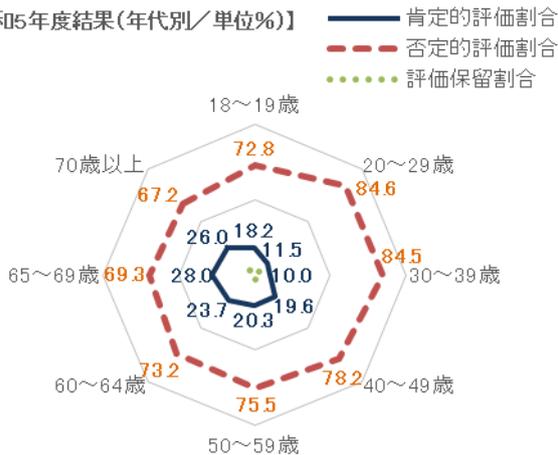
【施策コード／施策名】 1-1-2 市民によるまちづくり活動への支援	【担当部局】 地域・市民生活部
---------------------------------------	--------------------

【区分】	【指標名】
○	まちづくりに関するボランティア活動(住民自治協議会や区なども含む)などに参加している

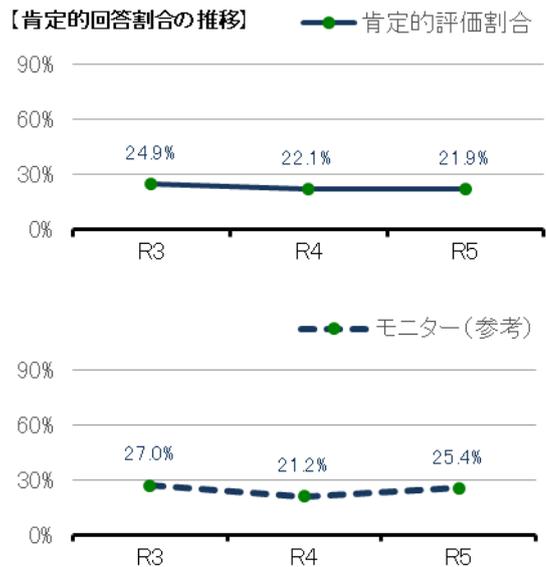
	R4	R5
肯定的評価割合	22.1%	21.9%
否定的評価割合	73.9%	73.4%
評価保留割合	3.1%	3.3%

現状値 (R3)	目標 (R9)	24.9%	
平均値 (R4~R5)		22.0%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓積極的に参加しているから ✓長期休み等で数回行った 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓時間がないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓議員の質問会などに参加した 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ボランティアには参加したことはありません ✓活動を知らない ✓関心がないので参加した事がない
<ul style="list-style-type: none"> ✓実務はボランティアの域を超えるほど大変だが、共助も重要と考えて参加している ✓小学生の子どもがいるので、半ば強制的に。必要な活動もあるので、前向きに取り組むようにはしていますが、母親の負担が多いとも感じます。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓自治会のイベント知らんのだってば ✓仕事と子育てで日程があわないので ✓どこでやっているか知らない
<ul style="list-style-type: none"> ✓機会があるときのみ ✓自治会 ✓読み聞かせボランティア 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ボランティア活動自体に参加していない ✓子育て世代なので、自分の自由な時間がない ✓まちづくりに参加したことはない
<ul style="list-style-type: none"> ✓区の役員がまわってくるので参加している ✓子どもの居場所づくり ✓現在も区の仕事をしています。しかし仕事の簡素化や昔ながらのやり方を見直す時期に来ているのかとも感じています 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓今は現金が必要だから ✓参加方法がわからないためやっていない ✓ご近所づきあいがほとんどない
<ul style="list-style-type: none"> ✓自治会活動あり ✓参加し活動している ✓小学校の図書館ボランティアに参加している 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓仕事で手いっぱい時間がない ✓自治会の役員の時は参加したけど、何もなければ参加することはない
<ul style="list-style-type: none"> ✓朝陽地区住民自治協議会活動に参加し12年間過ぎようとしている ✓自分の住む所は自分でと思っている ✓参加して10年ほどになる 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓参加していない

【施策コード／施策名】
1-2-1 効果的で効率的な行政運営の推進

【担当部局】
総務部、財政部

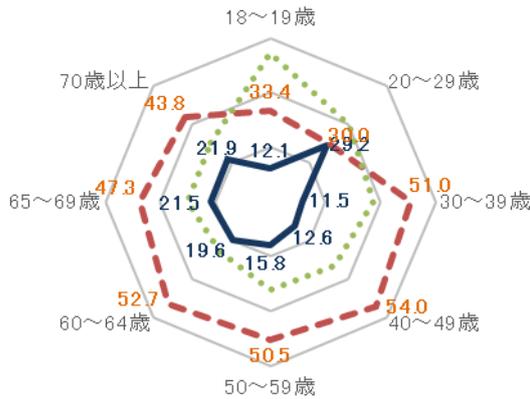
【区分】 ● 【指標名】
効果的で効率的な行政運営が行われている

	R4	R5
肯定的評価割合	21.2%	18.5%
否定的評価割合	45.4%	47.4%
評価保留割合	32.5%	32.1%

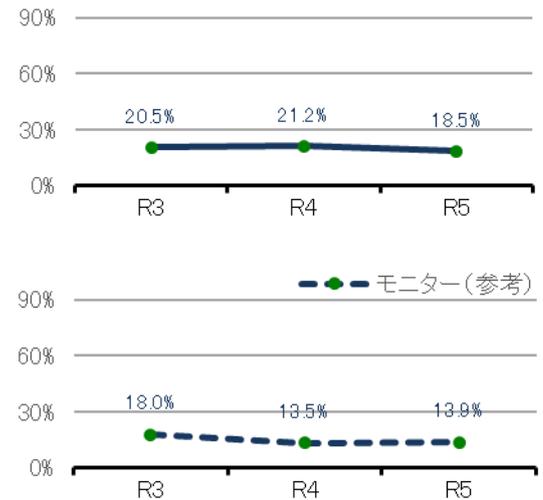
現状値 (R3)	目標 (R9)	20.5%
20.5%	20.5%	
21.2%	18.5%	
平均値 (R4~R5)		19.9%

【令和5年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓阿部守一さんが頑張っている
- ✓城山駐車場の効率化を考え有料化したとき、その三が日の効率の良さをすぐ発表していて良かった✓引越しや保育園の手続きなどの市役所の手続きなど複雑でなかった
- ✓商工会議所のおじさんのせいで、イオンも来ないし最悪すぎる。年寄りが牛耳ってて、自分達さえ良いみたいな態度が目にする。青木島の公園のことは長野の恥。
- ✓消防や防災等の非常時に市民生活に関わる部門は効率的
- ✓説明が少ない
- ✓一部を除く善良な市役所職員が行政に携わっています
- ✓お金を無駄遣いしないで、うまくやってください
- ✓努力がはっきりわからない
- ✓不満は無い

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~59歳
- 60~69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓知らないから
- ✓広報活動に対して残念に思うことが多々ありました。池袋でのPRは、せっかく大学生が協働してりんごにシールを貼ったのに付加価値もなく無料で配られ、同じ人が何度も並べるようなオペレーションにしていたこと等をはじめ、やっているだけ感が残念でした
- ✓定時に出勤して定時に帰れ。残業代で稼ぐ。有給はどんどん使え
- ✓横の連携がとれていないことがある
- ✓実感することがない
- ✓今の市長、何をしたいのかよくわからない
- ✓長野市に効率を求めてもまったくしない、できない
- ✓箱物を建てたいのが長野市政と感じているため
- ✓声を上げるっていう市民はあまりいない。謙虚な人が多いから
- ✓ただ座ってるだけの嘱託職員がいるし、臨時給付金のアルバイトは酷かった
- ✓長野市独自の発想で、地域の特性やニーズに応じた政策を立案し、あるいは運用しているように感じられないため
- ✓市民の声をもっと反映してほしい
- ✓少なくとも市役所の業務従事者の多さにはびっくりする
- ✓努力がはっきりわからない
- ✓具体的に効果が見えない

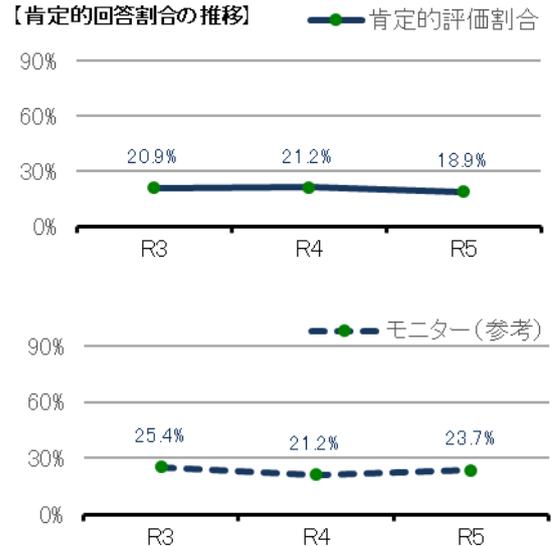
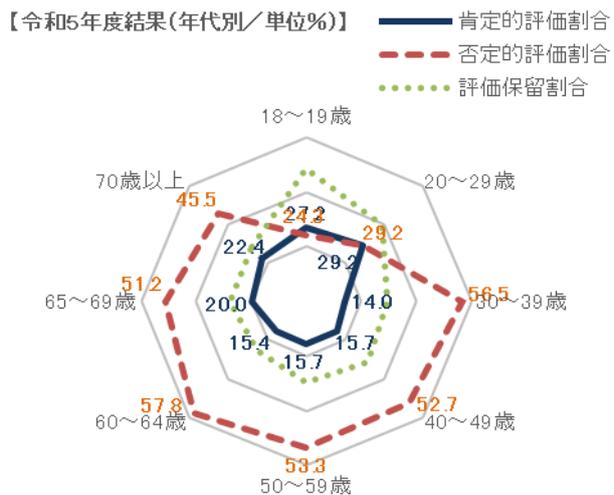
【施策コード／施策名】
1-2-2 市民の満足が得られる市政の推進

【担当部局】
総務部、企画政策部

【区分】 【指標名】
● 市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている

	R4	R5
肯定的評価割合	21.2%	18.9%
否定的評価割合	47.4%	49.6%
評価保留割合	30.3%	29.5%

現状値 (R3)	目標 (R9)	20.9%	↗
平均値 (R4～R5)		20.1%	



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓アンケートをやったりしているから	19歳以下	✓ニーズが反映されてるのか、実感がない
✓市民の声を聞こうとしているから ✓ゴミカレンダーをもらいに行ったら快く対応して下さったから	20~29歳	✓市長がスポーツにばかり力を入れているが、市民がそう願って実現したわけではないと感じるから
✓子育て世帯を重視していただいていると感じます ✓大きな複合施設がもっと欲しい ✓コロナ禍を経ても物価高ということで子どもに支援してくれた ✓興味深いイベントもチラホラ見かけるので面白いと思う	30~39歳	✓どこも同じですが予算を使い切るために必死なだけに見えます。ノルマがないからやりがいがない、ただこなすだけの仕事をされているのでは ✓市民のニーズよりも対外的な方にばかり注力しているような気がする ✓市長が市民の声を聴いているかは疑問がある
✓個人的に特に不満に思うことはない ✓福祉医療の拡充は良かったと思う ✓資源リサイクルなどの古くからあるニーズには対応していると思う。一方で、男女共同参画などの比較的近年話題になった政策には追い付いていない。	40~49歳	✓上層部の人のみで予算を分け合っている気がする ✓買い物する所が少なく、不満を言っている人ばかりに出会う ✓青木島の公園は長野の恥。一部の年寄りの意見が通り、未来への投資が乏しい。死ぬまで持たばいいって感じ？
✓市民のことを考えての取り組みは行われてきている ✓特に不満はない	50~59歳	✓質の高い行政サービスの提供 ✓青木島の公園を廃止したから
✓具体的に何ができているかわからない ✓アンケートで意見聴取している	60~69歳	✓市民のニーズを把握していない ✓市民の声を聞いた行政ではないから
✓不満は無い ✓ニーズを拾い上げようとする働きかけを感じる。ただ様々なニーズに振り回されぬように	70歳以上	✓少子化対策が十分でない ✓市民のどんなニーズを求め、それがどのように反映されたのか、それが見えてこない

【施策コード／施策名】

1-2-2 市民の満足が得られる市政の推進

【担当部局】

総務部、企画政策部

【区分】

【指標名】

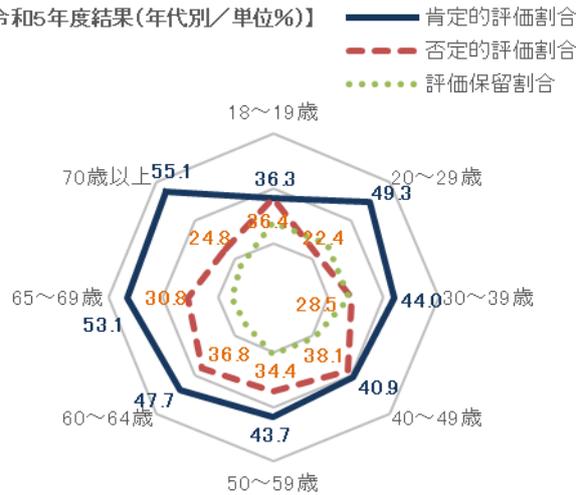


市の職員に好感が持てる

	R4	R5
肯定的評価割合	45.6%	48.2%
否定的評価割合	34.5%	30.6%
評価保留割合	19.0%	19.5%

現状値 (R3)	目標 (R9)	49.4%	
平均値 (R4~R5)		46.9%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

- ✓窓口の職員さんが優しく対応してくれたから
- ✓更北支所の皆さんはいつも丁寧に教えてくださるから
- ✓公務員は何かと叩かれがちで大変だから、起業支援や魅力増進のために奔走しているところがすごいと思う
- ✓市役所に訪れた際もとても丁寧に対応してもらえた
- ✓書類について分からないとき親切に対応してくれたので
- ✓マイナンバーの手続きに市役所を訪れた時、対応が丁寧でよかったです
- ✓市役所や支所を利用した際に嫌なイメージはないため
- ✓市の職員さんはみな親切だと思います
- ✓電話対応等優しい
- ✓基本的に誠実に取り組んでいる
- ✓消防や市の窓口の人の対応は丁寧
- ✓窓口の対応が大変よいので
- ✓ほとんどの方は愛着を持って市行政に携わっています
- ✓支所には親切で愛想のいい人もいます
- ✓常日頃、私どもの活動に支援・協力いただいております、好感度は抜群
- ✓支所などの窓口の対応は好感が持てる
- ✓腰の低い職員が多い。教え子も沢山所属している
- ✓明るく声がけして下さるのが嬉しい

- 19歳以下
- 20~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~59歳
- 60~69歳
- 70歳以上

- ✓ クリスマスマーケットがつまらなかった
- ✓ 市民のことはあまり考えていないイメージ
- ✓ 今まで対応いただいた職員の方々にそのような方はおりませんでした
- ✓ 差が激しい
- ✓ 人にもよるが、ただくっちゃべってるだけで、本当に仕事をしているのか疑問。特に支所✓市役所を訪ねた際、ポケットに手を入れて歩いている人を多く見かける。勤務時間の喫煙者が非常に多い
- ✓ 市役所内での勤務中喫煙者が大変多く不快である
- ✓ 間違った説明をされたために受け取れるはずの児童扶養手当を数年間受け取らなかった。旧郡部あがりの支所の職員のレベル低すぎ
- ✓ 事務的で愛想がない
- ✓ 支所しか行く事がないが雰囲気はよくない
- ✓ 上から、目線の人が多い。税金で、給料が払われている事を忘れずに
- ✓ 市役所へときどき行くが職員が多すぎる様に見えるひまそう!

【施策コード／施策名】
1-2-3 地方中核都市としての役割の遂行

【担当部局】
企画政策部

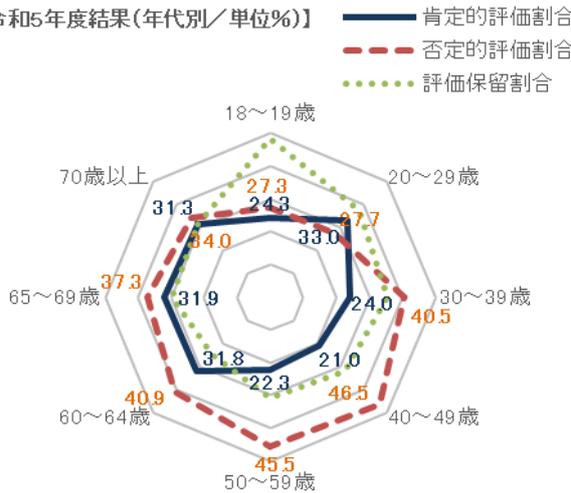
【区分】 【指標名】

● 長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる

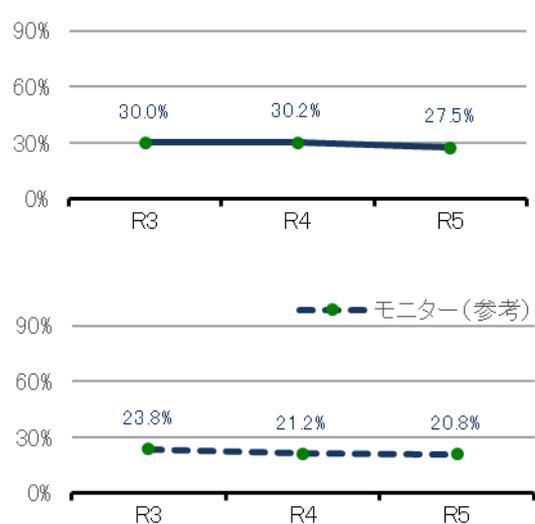
	R4	R5
肯定的評価割合	30.2%	27.5%
否定的評価割合	38.0%	39.1%
評価保留割合	30.7%	31.5%

現状値 (R3)	目標 (R9)	30.0%	
平均値 (R4~R5)		28.9%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合肯定率の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓ 交流しているという話をよく聞くから
- ✓ 須坂のイオンに期待している。けど長野市のお店に影響が出ないようにしてほしい
- ✓ 須坂市と連携している印象が強い。
- ✓ 取り組んでいるのは知っているから
- ✓ 荻原市長の活躍は、近隣市町村にとどまらずと思うから
- ✓ 東京などで物産を販売など良い活動
- ✓ 観光に関しては、県全体で盛り上げて欲しい
- ✓ 新潟県とは昔から連携しているイメージだが、他の県との関わりは北陸新幹線開通の影響が大きいと思う。
- ✓ 災害時連携していると思う
- ✓ たまに新聞記事で読む程度、取り組んで過程や結果までは分からない
- ✓ ゴミ問題、水道問題でも主導的に会議を進展させています
- ✓ 市町村が合併したように、人口減少社会のため、さらに広域的な連携が必要と思う。
- ✓ 須坂市、千曲市、上田市など広域的に連携することが大事だと思う
- ✓ 須坂市千曲市と連携していると感じる

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~59歳
- 60~69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓ もっと頑張るべき
- ✓ 取り組んでいれば、税金問題などもう少し考え直せるのではと思う
- ✓ 豊島区と提携していても、実益を感じられない
- ✓ 連携はしてなさそう
- ✓ 須坂のイオンに反対したり、外部を寄せ付けない感じがする、そんなので発展するわけがない
- ✓ 態度が悪いため
- ✓ 高齢者は、排他的な人がおおいイメージ、他市と連携できる気がしません
- ✓ 山間部過疎化等喫緊に課題に取り組んでもらいたい
- ✓ 長野市にもイオンモールを作ってもらいたいものだ
- ✓ 近隣市町村と連携して都市開発しているようには感じない
- ✓ 千曲市と連携しバスケットホームになりましたが、発展できているかは疑問
- ✓ 長野市より、千曲市のほうが、住みやすい
- ✓ 広域的発展に向け、とりくんでいる内容が一般的には知る機会がないから
- ✓ 近隣市町村が羨ましい
- ✓ 飯綱町と合併したらどうかと思います
- ✓ 北信ということで括れば、今後ますます小規模の町村の人口減少が進むのではないかと

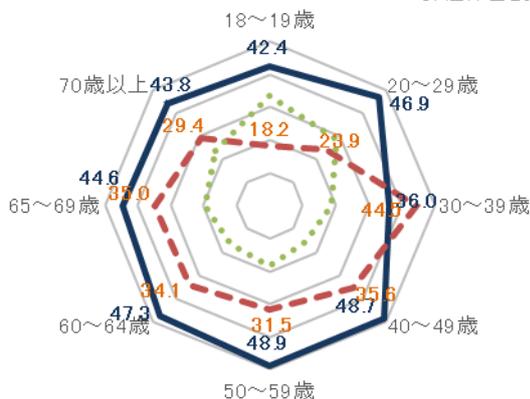
【区分】	【指標名】
●	子どもを産み育てやすい地域である

	R4	R5
肯定的評価割合	50.7%	45.3%
否定的評価割合	26.3%	32.6%
評価保留割合	21.1%	20.2%

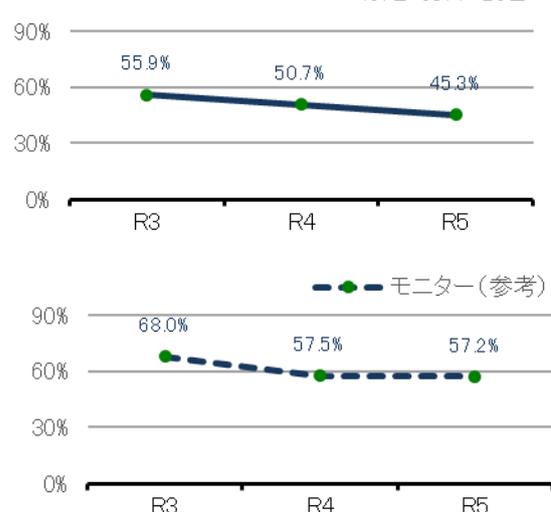
現状値 (R3)	目標 (R9)	55.9%	↗
平均値 (R4～R5)		48.0%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓自然があるから ✓公園が近くにある 新学期の始まりにお金が一気にかかり、負担が多い ✓交通の便がまだ良い方だから 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓交通機関や自習施設の少なさ
<ul style="list-style-type: none"> ✓子育てに必要な支援センターや病院もたくさんあるし洋服屋等も充実しているから産み育てやすいと感じる ✓子どもに対しての支援は医療費などは良いと思う 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓医療費が 500 円かかるから。地元宇都宮は高校生まで無料であった ✓子育て支援があまり行き届いていないと感じる
<ul style="list-style-type: none"> ✓自分がそう感じたから ✓公民館などでボランティアのイベントが活発に行われている ✓治安が良く自然が多いが、自治体サポートに特色はないと感じる。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓医療費無料でないこと、給食費が高いこと、ランドセルが未だ安価な市指定のランドセルにしないこと等で家計の負担が増えている ✓子どもの医療費、給食費は無料が良い ✓歩道が狭い、道路に段差が多く三輪車やベビーカーがつまづく、子供への補助金が少ない、室内遊技場が少ない、大きい公園がない
<ul style="list-style-type: none"> ✓自分が出産し、子育てをしていて、そう感じているため ✓託児が充実していた ✓学校、公園、病院、市のサービスがあるため ✓地域のかかわりがある 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓お金がかかる ✓保育園は入りたい年齢で入りたい園に入れず、手当も充実していない ✓生活インフラが整っていないため子供を育てにくい環境である
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野市は病院、医院が沢山あり安心している ✓保育園も近くにあったため？ ✓近くに病院や学校など必要な施設が揃っている 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の繋がりが少ない ✓公共交通の減便や廃止、保育園や小学校も統廃合が進み、未来への展望が明るくないと感じます ✓県内他市町村よりも支援や補助が少ないと感じる
<ul style="list-style-type: none"> ✓周産期医療が充実しているから ✓自然環境が良い。病院・保育施設等良い 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓遊び場が、少ない ✓学校給食費を無償にしたほうがよい
<ul style="list-style-type: none"> ✓市長の公約でもある子育て支援の充実に向け徐々にその方向に向かっている ✓病院が近隣にある 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓今は子供にお金がかかるといっている

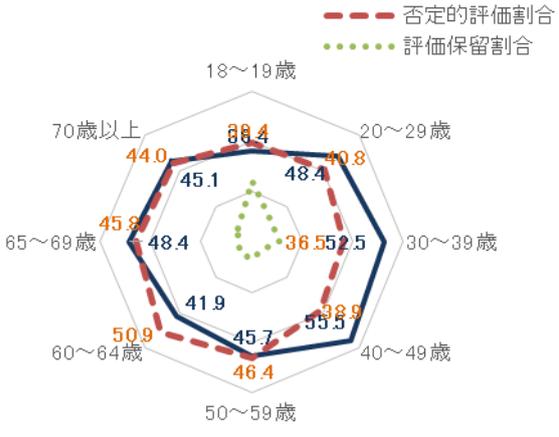
【施策コード／施策名】 2-1-1 結婚、妊娠・出産、子育てでの切れ目ない支援 2-1-2 子どもの成長を育む支援環境の充実	【担当部局】 こども未来部、保健福祉部
--	------------------------

【区分】	【指標名】
○	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている

	R4	R5
肯定的評価割合	43.5%	47.4%
否定的評価割合	47.6%	43.5%
評価保留割合	7.8%	7.5%

現状値 (R3)	目標 (R9)	46.4%	↗
平均値 (R4～R5)		45.5%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



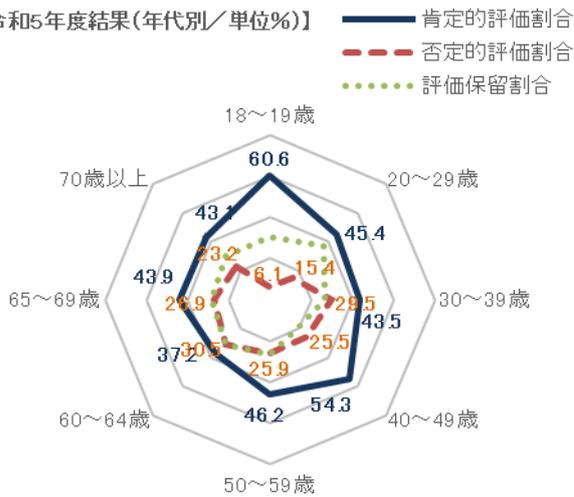
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓手伝いをよくする ✓10万円給付があったから	19歳以下	
✓温かく見守ってくれているとおもう ✓困った様子が見られたらお手伝いしている	20～29歳	✓関わりがないから ✓自信が子育てで家庭なので見守ることはしているが手助け出来ているかは分からないから
✓自分も子育てをしているから ✓子育てしているので助け合っている ✓自分でも大変さがわかるので ✓自分自身も子育てが辛かった経験があるので、小さい子を複数連れたお母さんには特に優しくしたいと思っている。	30～39歳	✓自分の家のことで手一杯です ✓発達障害の子を持つ上司が苦勞してる ✓なんせ子育て世代の友人がいないので ✓子供の声に苦情をうけたことがある
✓自分も子育て中なので、相互に助け合っていると思う ✓手助けをしているから ✓該当者がいたら	40～49歳	✓困っている方を手助けしたい気持ちはあるが、どこまで踏み込んでいいかわからない ✓自分自信が子育て世代で自分達で精一杯だから
✓子どもプラザで働いている ✓子供は社会で守ってあげたいと思う ✓ご近所の子供には声をかけている	50～59歳	✓接点がほとんどない ✓子育てをしている家庭が近くにない ✓実績がない
✓離れている孫なら面倒を時々見ている ✓子育てでパスポートがある ✓子供を預かったり、買い物をついでにしてあげたりしている	60～69歳	✓住んでいる集合住宅、近隣い子供がいない ✓子育てをしている家庭が身近にいない ✓まわりに子供がいない
✓孫を見ている ✓特に小さき子供には笑顔で接するように心がけている	70歳以上	✓そうしたケースが身近にない

【区分】	【指標名】
●	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している

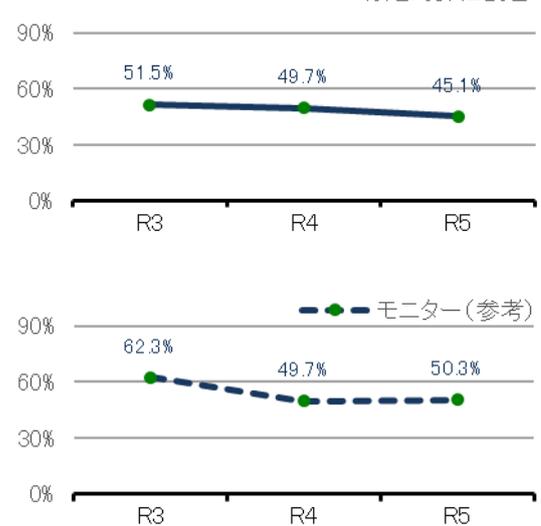
	R4	R5
肯定的評価割合	49.7%	45.1%
否定的評価割合	21.5%	25.0%
評価保留割合	27.1%	27.8%

現状値 (R3)	目標 (R9)	51.5%	
平均値 (R4～R5)		47.4%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓夜まで見てくれた保育園だったから	19歳以下	✓保育士の人数が足りてないところもあるから ✓子どもの運動量が不足している園もあると思う
✓保育園の教育が少なく感じる ✓信州やま保育があるから ✓知人の子供が幼稚園に入れていないと聞くから	20～29歳	✓待機児童が少しいるから ✓保育園幼稚園の定員がいっぱいでは無いイメージ
✓幼稚園の預かり保育も充実している ✓色々な保育園や幼稚園があるから ✓そもそもの数が多いから、好みの場所を選べる ✓幼稚園に通っていたが、保育料が無料になってありがたかった。	30～39歳	✓職場の勤務地が変わったため「職場と自宅の間なくてはいけない」との役場担当者からの理由で兄弟別々の園にされた ✓保育所はあっても入所条件が困難だと聞く ✓教育を重視したいが、モンテッソーリ幼稚園などの選択肢がない
✓就業に合わせた預かり保育があるため ✓先生が優しいうえに、技術も確かで安心して預けられます ✓先生方の教育もしっかり行われているので、子ども質の良い教育保育を受けられている	40～49歳	✓特別、ほかの市町村と代わり映えなく当たり障りなく ✓下の子供が未満児の時、上の子供と同じ保育園に入れなかった。体調不良で仕事ができない時に保育園をやめさせられた。 ✓保育園では教育が行われていない
✓地域にある保育園は、山保育園認定園になっているため ✓子どもひとりひとりをしっかり見てくれる保育園が多い	50～59歳	✓人数減少によるとは思いますが統廃合が進んでいることでより不便になっていると思います ✓保育士が足りない、保育園が足りない、給料が安い
✓全員が入園可能だから ✓どこでも保育園があると思うので、待機児童が少ないと思う	60～69歳	
✓幼稚園等工夫をこらした教育・保育が行われている ✓子育て中ではないのですが、過去はそうであった	70歳以上	

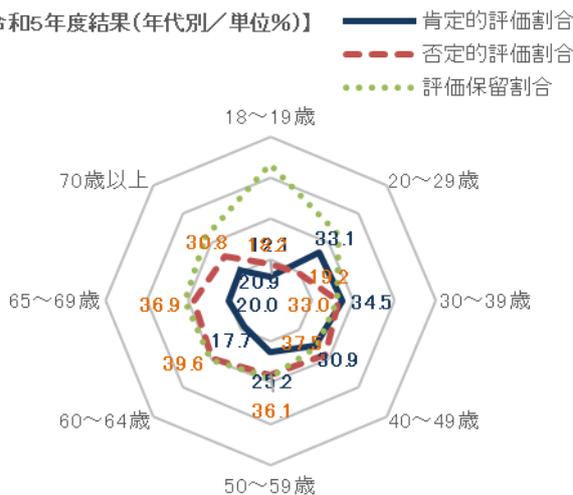
【施策コード／施策名】 2-1-3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援	【担当部局】 こども未来部、保健福祉部
--	------------------------

【区分】	【指標名】
●	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている

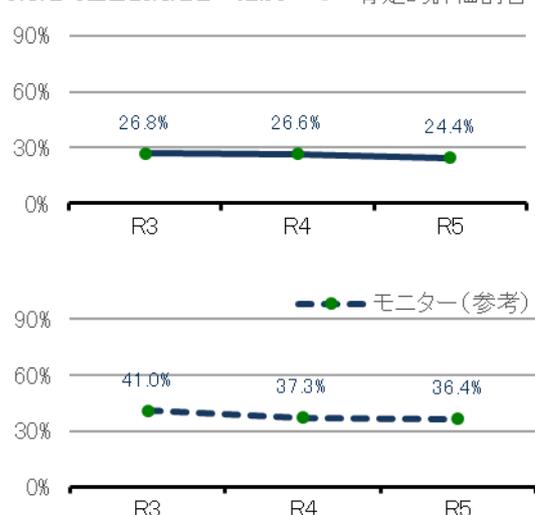
	R4	R5
肯定的評価割合	26.6%	24.4%
否定的評価割合	31.1%	33.6%
評価保留割合	40.1%	39.8%

現状値 (R3)	目標 (R9)	26.8%	
平均値 (R4~R5)		25.5%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓母親が困った時に相談して解決したと言っていたから	19歳以下	✓相談できる制度があるかわからないから
✓悩みが解決に向かうかどうかは別として、相談できる体制は整っていると感じる ✓支援センターが充実してる	20~29歳	✓体制を知らない
✓支援センターがたくさんある ✓保育士さんに助けられています ✓近くに保健センターもあり、相談できる体制が取られていると思う	30~39歳	✓前提として乳児期に相談する余裕がない。乳児検診で保健師さんに相談してもネット上や本に書いてある正解をなぞられるだけだった。 ✓市役所の相談カウンターは、スタッフの方に近くて内容も顔もわかってしまうので相談しづらい。保健師以外の発育などがわかる専門スタッフがどこに常駐しているかわかりづらい
✓支援センターなどが多く感じる ✓離婚する際に今後の子育てについて相談したことがあり、心強かった ✓保育園にも保健師さんにも助産師さんにも相談できます	40~49歳	✓反抗期の子供の相談は全然ダメだった ✓プライバシーが、無い ✓乳児の体重増加しなければ、授乳は寝てる赤ちゃんを起こしてまでもあげなければ・・・と指導している方もいるそうで、好ましくないと思うから。じ
✓利用者がどれだけいるかわからないけど窓口が充実している印象がある ✓産後ケアも少しずつ増えていると感じています ✓保育園や学校以外で窓口がわかりにくい	50~59歳	✓市のスクールカウンセラーはクズだった。タダの傾聴係、税金泥棒 ✓学校など以外で相談できるところが充実していると思う ✓学校、部活動(クラブ活動)、放課後支援施設など少しづつ関係があるのに問題がおこると全く連携されない仕組みになっている。
✓相談した経験がないから	60~69歳	✓市長自らの青木島での子育て施設の不適切な対応
✓こども総合支援センター「あのえっと」の開設など体制整備が進みつつある	70歳以上	✓体制があるのは知っているが、活用の実態の報告が無いのと体制のPRが無い

【施策コード／施策名】
2-2-1 高齢者の社会参加と生きがいづくりの推進

【担当部局】
保健福祉部

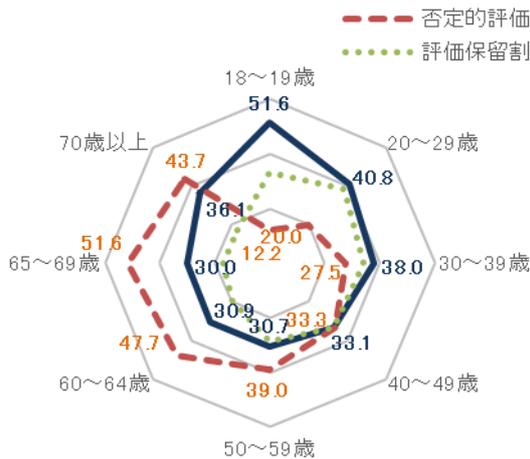
【区分】 【指標名】

● 高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている

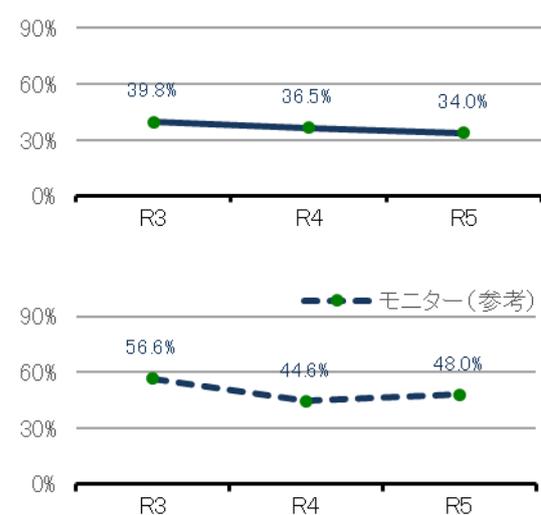
	R4	R5
肯定的評価割合	36.5%	34.0%
否定的評価割合	37.5%	39.4%
評価保留割合	24.3%	24.4%

現状値 (R3)	目標 (R9)	39.8%	↗
平均値 (R4～R5)		35.3%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

✓ボランティアしてる高齢者をよく見るから
✓自分が小学生の時に高齢者施設にボランティアでいった事があるから

✓地域の交流会が公民館で行われていたりシニア向けの教室がたくさんあるから
✓ボランティアしてる高齢者をよく見るから

✓街でも公民館で色々な催しが開かれてる
✓広報などがなどに載っている
✓コロナもあけて住んでいるところの回覧板によく地域の活動が載っているから

✓学校の活動の中で、地域の方が講師として来てくださったりする機会がある。また、回覧板に高齢者向けの講座がたくさん載っているのと思う。
✓回覧板が回ってくると、お知らせ内容は、お年寄り向けと思われる平日開催の行事が多いと感じる。

✓かがやきひろばがある
✓高齢者向けの催しはとて多いと思う

✓公民館の講座が充実しているから
✓自治会やカルチャーセンター公民館が充実している

✓公民館活動など活発
✓子供プラザや子供食堂で知人が活動している

✓周りに活動しておられる高齢者が多い高齢の同級生グループで駅前プラザの会議室を初めて利用したこれを知らない人が多かった

【年齢区分】

19歳以下

20～29歳

30～39歳

40～49歳

50～59歳

60～69歳

70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

✓回覧板で見たことがないから
✓どのような活動ができるかなどを知らない

✓大学生生活の中で高齢者と関わったことがないから
そういった案内を見たことがないから

✓窓口はあるのだからいかにせん広報力に欠けているため認知されていない
✓馴染みがない
✓特定の高齢者などは関わっているが一般的には繋がりが無いと感じる
✓公民館活動でしかわからない

✓孤立した高齢者が多いと思う
✓参加しづらい。知らない人がいる
✓情報発信が積極的でない
✓子供と高齢者が遊んだり学べる施設がない。高齢者が子供に昔の遊びなど伝えられる機会がほしい

✓一部のしか社会参加していない。地域で65歳以上の人が自分を役立てたいが機会がないという声を聴く
✓気軽に行ける場所、活動できる場所が少ない

✓既存の学習活動は興味のあるものがなく、ボランティアに参加したいと思っても、自治会に参加する以外に手段は少ないです。
✓高齢者である自分がしてみたいと思っても、情報がないように思う。
✓無料で楽しめる催し物がないから

✓どこでどの様子がたわってこない
✓他者と関わりを求めていれば、そうなのかもしれない

【区分】 【指標名】

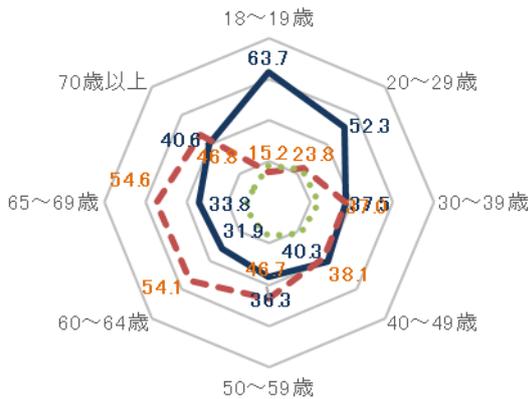
● 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている

	R4	R5
肯定的評価割合	42.3%	38.8%
否定的評価割合	40.7%	44.5%
評価保留割合	15.5%	15.1%

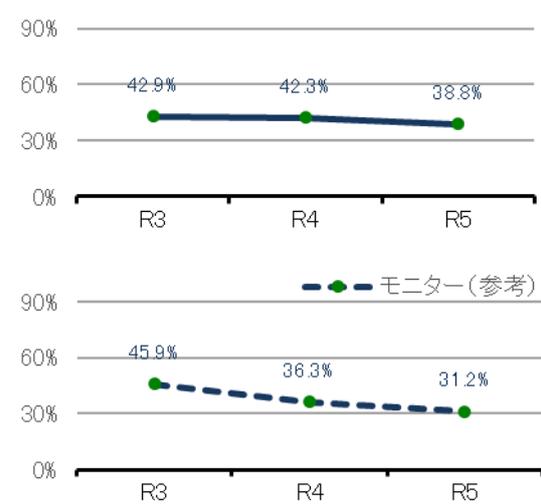
現状値 (R3)	目標 (R9)	42.9%
平均値 (R4~R5)		40.6%

【令和5年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

✓高齢者が多いということは暮らしやすいと思うから
✓コミュニティがしっかりしているから

✓おでかけバスポートが利用できるから
✓お年寄りに優しいサービスが見受けられる

✓老人施設は結構ある
✓介護保険課が素晴らしい
✓コミュニティもあるし、老人ホームも多い
✓高齢者が多い。
✓近所の方は古くからこの土地に住まわれているばかり。

✓地域包括支援センターの取り組みが充実している
✓過剰すぎる
✓バスの優遇など住みやすさを感じる

✓持ち家の方が多いから
✓一応うちの親は満足してるみたいなので。
✓公共交通機関、医療施設などがそろっている

✓福祉サービス施設が増えている
✓サークル活動中
✓もともと自然に優れた生活しやすい環境にあり、施策のお陰ではない

✓福祉サービスだけに頼らない地域づくりが徐々に取り組まれている

【年齢区分】

19歳以下

20~29歳

30~39歳

40~49歳

50~59歳

60~69歳

70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

✓山間部では移動などが大変で住み続けられる環境が整っているとは言えないから

✓車社会なので免許返納を選択すると暮らし続けるのは不安な人が増えてくるのではないかと思ったから

✓行政がなにをしてくれるのか、もっと生活の身近に寄り添った支援(例えば除雪チケットやタクシーチケットの配布等)平等に行ってほしい。知らなければ受けられない支援など情報弱者である高齢者はどうしたらいいのか
✓交通の便が悪い、免許を返納したらどこにも行けなくなる

✓足の不自由な人のサービスが悪い。
✓老人施設は高く金銭的に入れず困っている患者様がたくさんいます。

✓介護が必要な状態になっても必要な介護を受けながら暮らせる
✓在宅介護や訪問看護の人材不足の現状をサービス提供者から聴いている。また、有料老人ホーム等私設入所後の高齢者が地域との関わりを持てる現状にないため。
✓車が運転できなくなると、山間地はバスの本数もなく住みづらいような気がする

✓高齢者の多い地域は、昔からの近所づきあいもあって暮らしやすいと思うが、人口減少が進んで過疎化し、生活インフラを維持していくのは厳しいと思う。

✓施設面は充実しているように思う

【施策コード／施策名】 2-2-2 地域包括ケアシステムの深化・推進		【担当部局】 保健福祉部	
【区分】	【指標名】		
○	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている		
		R4	R5
肯定的評価割合		52.5%	55.7%
否定的評価割合		40.8%	38.0%
評価保留割合		5.5%	4.6%
		現状値 (R3)	目標 (R9)
			54.7%
		平均値 (R4～R5)	54.1%
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>— 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ●●●● 評価保留割合</p>			
<p>【肯定的回答割合の推移】</p>			
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 困っていたら声をかけたり、あったら挨拶している ✓ 助けを求められた時には手助けするようにしているから 		19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近所のお年寄りに声をかけてお話ししたり積極的にしている ✓ 先日の大雪の際に車がスタッグしていたところを救助した 		20～29歳	✓ 高齢者が多いんだからもっと寄り添っていいと思う
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 道を迷っていた方に声をかけたことがあります、介護の仕事してるのでより敏感な感じですよ ✓ 地域包括ケア進んでる ✓ 困っていたら助けようと思っているから 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高齢者に興味がない ✓ 家族と暮らしている高齢者が多いのでとくに手助けはしていない ✓ あまり会わないので名前も知らない人がほとんど
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 挨拶したり、困っている様子があれば手助けしたいと思っている ✓ 助けが必要な時はできる事をするようにしている為 ✓ 該当者がいたら 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 助けを求めている高齢者が周りにいないため ✓ 時と場合によりますが、コロナ前は寄り添えたけど、今の時代、触れていいものなのか、相手が嫌がるのではないのか、と思い、本当に顔見知りの人にしか手助けできない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 声を掛けています ✓ 高齢者の助け合いは充実していると思う ✓ 近所に高齢者一人暮らしの人が多から 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ところがけている ✓ 高齢者はいない ✓ 近所の高齢者との関わりがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ ゴミステーション当番等を、代わりにやっておけることなどできる事はしている ✓ 毎日の日課のジョギングの際に、困っている高齢者の方に積極的に声掛けし、助けています ✓ 車いす生活者の病院への送迎をしている 		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 手助けをしているとは思われない ✓ 何もしていないが、気には掛けている ✓ 身近に手助けが必要な高齢者はいない ✓ 関わりがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 散歩をしている方を見かける ✓ 地区福祉推進員としての役割を理解し、手助けに応じている 		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ いない ✓ していない

【施策コード／施策名】 2-3-1 障害者(児)福祉の充実		【担当部局】 保健福祉部																					
【区分】	【指標名】																						
●	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>24.3%</td> <td>22.4%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>43.2%</td> <td>43.4%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>30.9%</td> <td>32.3%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	24.3%	22.4%	否定的評価割合	43.2%	43.4%	評価保留割合	30.9%	32.3%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>22.8%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td>23.4%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	22.8%		平均値 (R4~R5)		23.4%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	24.3%	22.4%																					
否定的評価割合	43.2%	43.4%																					
評価保留割合	30.9%	32.3%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	22.8%																					
平均値 (R4~R5)		23.4%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>18~19歳: 39.4% (positive), 18.2% (negative), 20.5% (reserved) 20~29歳: 27.7% (positive), 27.7% (negative), 20.5% (reserved) 30~39歳: 37.0% (positive), 21.3% (negative), 21.8% (reserved) 40~49歳: 42.6% (positive), 19.2% (negative), 21.8% (reserved) 50~59歳: 48.2% (positive), 42.6% (negative), 21.8% (reserved) 60~69歳: 50.0% (positive), 21.8% (negative), 21.8% (reserved) 65~69歳: 49.6% (positive), 20.8% (negative), 21.8% (reserved) 70歳以上: 42.4% (positive), 24.9% (negative), 21.8% (reserved)</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <p>肯定的評価割合: R3: 22.8%, R4: 24.3%, R5: 22.4% モニター(参考): R3: 24.6%, R4: 21.2%, R5: 19.1%</p>																					
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																					
✓支援学級が充実しているから	19歳以下	✓点字ブロックがほぼない 障害のある人と関わる機会がないから関わり方がわからない																					
✓障害福祉サービスがあるから	20~29歳	✓環境を知らないから ✓長野駅東口方面はバスの本数が少なく、自立して暮らすには不便だから																					
✓バリアフリー化が進んでいる ✓障害のある人を学習する機会がある ✓市役所はじめバリアフリーが増えたと思う	30~39歳	✓歩道がとにかく狭い、段差が多い、車椅子になったらどこにも行けない ✓更にユニバーサルデザインのまちづくりになっていけばいいと思う																					
✓補助が手厚い ✓バリアフリーが進んでいる ✓介護ヘルパーさんを頼んでいます、とても助かっています。医療費も助かります	40~49歳	✓買い物する所がない、少ない、バスが少ない ✓障害者がサービス(病院への送迎)を受けたくても、受けられない																					
✓放課後デイ等増えてきたので ✓父が入所している寮では環境がととのっている ✓障がい者用トイレが多い ✓詳しくは知らないが 障害者施設が多いと思う	50~59歳	✓我が子は発達障害だが、安心できる環境ではない ✓障害のある人の状況を把握した上での適切な支援 ✓安心とは何をもって安心とするのかわかりませんが、単身者や主たる介護者が一人といった場合、孤立や介護負担が大きく、介護者のサポートが不足している現状にあるため																					
✓サービス施設はある ✓障がい者雇用も進んでいる ✓障害者には、支援が手厚い	60~69歳	✓実際に目にすることがないため ✓障害のある人が安心して暮らせ出掛けられるとは思わない。家族の協力やサービスだけじゃなくて、市民の理解と協力が必要だと思う ✓日常全くと言っていいほどその種の情報を聞かないです。																					
✓障害者の活動の店舗や商品を販売している場面を目にする ✓障害者の希望は分からないが設備に拘るよりも互いに助け合える社会の方が良い	70歳以上	✓公的施設での「だれでも使えるトイレ」などの設置が遅れている ✓地区に市営住宅があるが、階段の上り下りには難儀している																					

【区分】	【指標名】
○	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている

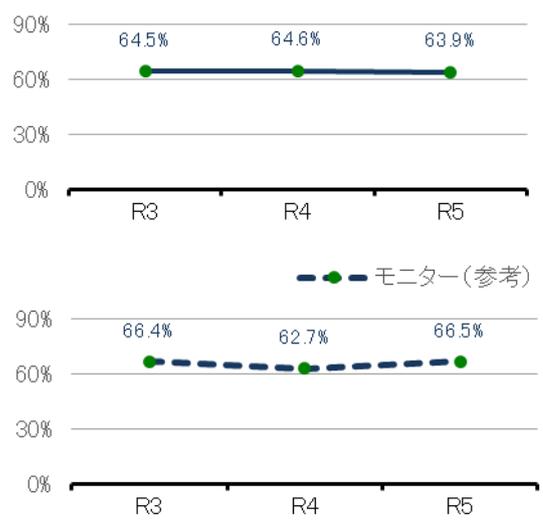
	R4	R5
肯定的評価割合	64.6%	63.9%
否定的評価割合	29.0%	29.9%
評価保留割合	5.3%	4.4%

現状値 (R3)	目標 (R9)	64.5%	
平均値 (R4～R5)		64.3%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



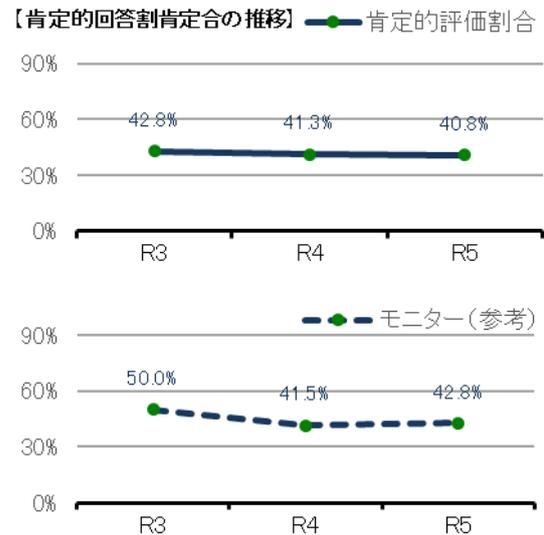
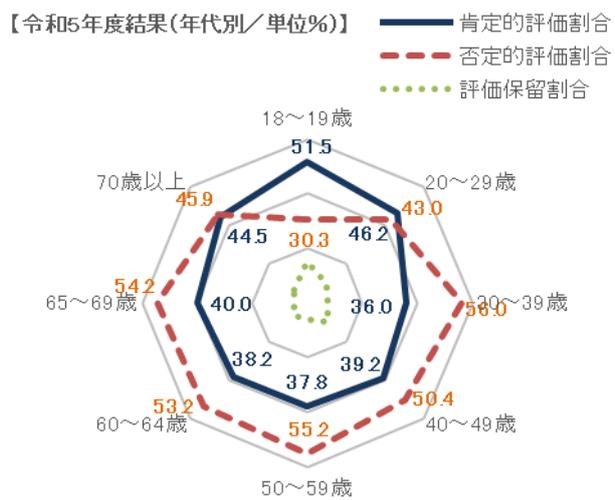
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 困ってそうな人を見たらたまに見るから ✓ 自分も大変な時にたすけてもらった 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 声をかける勇気が出ないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 助けが必要な時は動きたいから ✓ 困った様子が見られたらお手伝いしている 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ あまり見かけないし、子供連れなので気にかける余裕がない ✓ 出会ったことがないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ かえって不快にさせたくないの、気にかけるだけです ✓ 困っていたら助けようと思っているから ✓ 車椅子を押したことがある 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ していません ✓ 誰かがやってくれる ✓ 障害のある方をお見かけする機会があまりないので
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 障害があるないに関係なく、困っている人がいたら手助けしたいと思っている ✓ 障害者の方を見かけた際は気にかけている ✓ 困っている人を助けるのは当たり前だから 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ どう接したらいいかわからない ✓ 助けてもらってますが、近所付き合いが希薄 ✓ 困っている場合には進んで手伝いをしている
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 声を掛けています ✓ 助けたいから ✓ 私自身も障害があるため困っている人を見かけたら声をかけるようにしている 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ そういう場面に遭遇しない ✓ 必要なら手助けするが、常に気にかけてはいない ✓ なかなか、勇気がなく、一歩がすぐにでない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 気にかけるのは当たり前で、実際に手をだしたことはない ✓ 日中日課のジョギングをしていると、日常良く困っている高齢者の方や障害者の方を積極的に助けています 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 見かけない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ いつもそう思っている ✓ バスの乗車などでは手伝うが、運転手さんが積極的に声がけ、介助の場面も目にする 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ よほどのことがない限りは手を出さないのかな？ ✓ あまり見かけない

【施策コード／施策名】 2-3-2 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現	【担当部局】 保健福祉部
---	-----------------

【区分】	【指標名】
●	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている

	R4	R5
肯定的評価割合	41.3%	40.8%
否定的評価割合	48.7%	50.3%
評価保留割合	8.7%	7.2%

現状値 (R3)	目標 (R9)	42.8%	
平均値 (R4~R5)		41.1%	

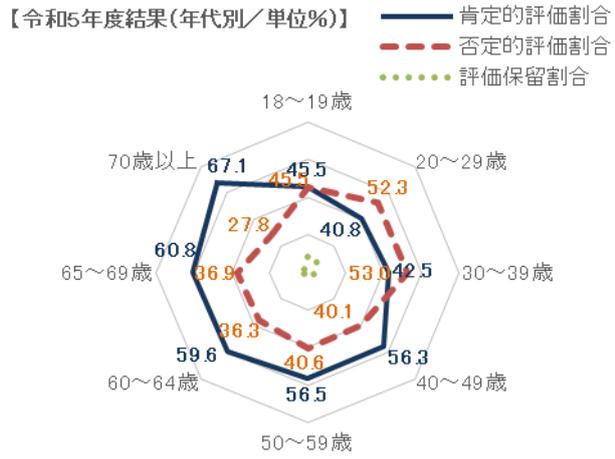


【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 挨拶で近所の人を知っているから ✓ 付き合いのある人となない人がいると思うから 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近所の人とあまり話さないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 雪が積もった時みんなで協力して雪かきをしたから ✓ いい関係が築けているから ✓ 回覧板を回したり雪かきの時に世間話をするのでいざというときも助け合えると思っている 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近所付き合いがほとんどないから ✓ 稲葉に住んでいたが自治会費を払うだけで全く交流がなかったし、案内もなかったから ✓ 自分自身あまりご近所付き合いをしていない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 隣組長をやったのでたくさんの人に救ってもらった ✓ 地域公民館活動を通して知り合いが増え、人間関係が構築されたと感じが、高齢化で公民館活動の現役世代への負担が偏り揉め事も多いのが現実。 ✓ 子供が泣いてるときなど声をかけてくれる人が多い ✓ 子供と同じ年代の家族が多いため、挨拶ができる関係であるし、雪が降ったとき、皆私道の雪かきを率先して行っているため助かる。 ✓ 雪かきなど協力してできているため 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 核家族化、なんなら家族内でも個々で分断されている。知り合いいないし。個別主義で生きている ✓ 周囲の方と関わりがないため ✓ 近所の人と仲良くなりたくないと思わない、町内役員をみんなで押し付けあっている
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 今の桐原はいいご近所さん。以前の豊野は嫌だった。地域性によるかも ✓ 顔見知りを作っている 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ みんな生活することに必死で自分のうちのことで手一杯。余裕がない ✓ 近い人と、関わりたくない ✓ 隣人すら知らない ✓ 一人暮らしの為、怖さもあり人間関係が気づけない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 今の桐原はいいご近所さん。以前の豊野は嫌だった。地域性によるかも ✓ 顔見知りを作っている 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近隣住民のレベルが低く、とても頼れない ✓ 近所のコミュニケーションは期待していない。逆に面倒だと思っている
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 19号の水害以来隣近所の付き合いがより強くなった ✓ 我が家のご近所さんとは、とてもいいお付き合いが出来ており満足しているから 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 5に記載したように自治会で役員を引き受ける以外全く近隣と接する機会がない。昨年も母が亡くなった時も皆無関心だった。 ✓ 年代も家族構成もばらばらなので近所づきあいはありません。お互いに干渉し合わない関係が円満なのではないでしょうか。地震のような特別な災害があったときは別だと思いますが。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分の近所とはうまくいっていると思う ✓ 高齢化で10年後は分からない 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 付き合いはないし、どの様な方が住んでるか知らない。

【区分】	○
【指標名】	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている

	R4	R5
肯定的評価割合	59.6%	58.4%
否定的評価割合	35.9%	37.2%
評価保留割合	3.6%	2.9%

現状値 (R3)	目標 (R9)	57.6%	↗
平均値 (R4～R5)		59.0%	



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓挨拶をしている ✓近所付き合いは適度にあった方が良くから ✓積極的に挨拶をしたりしている ✓よく話しかけてくるから 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓話す機会がない
<ul style="list-style-type: none"> ✓積極的に挨拶をしたりしている ✓よく話しかけてくるから 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓積極的に交流しようとはしていない ✓自治会が機能していないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ご近所が地域役員の際など、特に積極的に手伝うようにしている ✓日頃からコミュニケーションをとる様にしている ✓地域の活動に積極的に参加している 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓名前も知らんがな ✓あまりお互いに踏み込まないようにしている ✓ご近所付き合いが面倒臭い
<ul style="list-style-type: none"> ✓同世代の家庭が周りに多いので、困ったときはお互い様で協力しようと思う ✓何かあった時には助け合おうと話をしている ✓認知症の母を気に掛けてくれる人がいるので、逆の立場になれば助けるのは当然と思う 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓そういった近所付き合いがない ✓近所付き合いがない ✓地域交流は減少気味
<ul style="list-style-type: none"> ✓交流しようという意識でいる ✓しています。お土産やお料理の交換等をしています ✓困っていたら手助けをしている 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓あまりにひどい嫌がらせに、話をするのさえ嫌だ ✓そういうつながりは煩わしい ✓平日は市外の勤務先にいて 近所と付き合いがありません
<ul style="list-style-type: none"> ✓過ごしやすく済むのは当たり前 ✓良い関係で隣近所とお付き合いが出来ている ✓団地内で近所付き合いが円滑にできるよう折りをみては交流会を開いてくれる方がいるので助かっています 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓近隣住民との交流がない ✓年齢70歳以上の主婦の方々はお互い良好な関係を築いているようですが、男性はこちらから挨拶しても無視する人が多いです。 ✓近所付き合いがない、お互いに干渉し合わない
<ul style="list-style-type: none"> ✓このような取り組みに参加し、リーダーとしてそうした地域づくりを目指している 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓挨拶はするが、お互いにただそれだけで終わっている ✓交流はないが長年住んでいて顔見知りなので助け合える

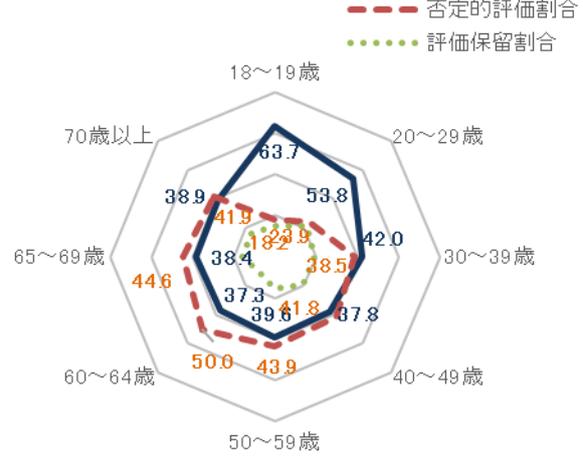
【施策コード／施策名】 2-3-3 生活の安定と自立への支援		【担当部局】 保健福祉部																					
【区分】	【指標名】																						
●	生活に困った時に相談できる体制が整っている																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>23.8%</td> <td>24.7%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>43.7%</td> <td>44.2%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>31.1%</td> <td>29.4%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	23.8%	24.7%	否定的評価割合	43.7%	44.2%	評価保留割合	31.1%	29.4%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>24.7%</th> <th>↑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4～R5)</td> <td>24.3%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	24.7%	↑	平均値 (R4～R5)		24.3%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	23.8%	24.7%																					
否定的評価割合	43.7%	44.2%																					
評価保留割合	31.1%	29.4%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	24.7%	↑																				
平均値 (R4～R5)		24.3%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p>																					
【モニター(の主な肯定的意見)】	【年齢区分】	【モニター(の主な否定的意見)】																					
✓実際に親が相談したことがあるから。	19歳以下	✓相談できる体制があっても、気軽に相談にいけるかわからないから																					
✓HPから検索しやすい	20～29歳	✓どこにどう相談して良いか知らないから ✓特別長野市が整っていると感じた事はなかった																					
✓生活保護などの対応できている ✓長野市に電話をすれば、解決できるよう体制は整っているのではないかと思います。	30～39歳	✓根底として、相談するのは恥ずかしいことであるため、よほどの事態になるまで相談できない。 ✓窓口はあるのだろうかいかんせん広報力に欠けているため認知されていない ✓相談場所が不明。																					
✓市役所が窓口になっておりいつでも相談できる気がする ✓市報を見て困ったら相談できる場所を知りました ✓民生委員さんにも会いました	40～49歳	✓まいさばに相談しても、結局は「働け」と言われるだけ。メンタルやられて通院してるのに「働け」の一言。全く寄り添ってる感じがしない。 ✓補助もわずかだし、とにかくお金がかかる ✓相談先そもそもが分かりにくい																					
✓広報をみているとしっかり窓口もあるように感じる ✓地域活動支援センターがある ✓詳しくはわからないが、市の窓口に行けば何か教えてもらえるのでは？と思っています	50～59歳	✓自立し困窮することなく安定した生活を送るす ✓個人的なことを相談するにはなかなかハードルは高い。気軽に相談できる場所があるといいと思う。 ✓そこまで踏み込んだ関係性はない																					
✓何でも話せる人が身近にいるから ✓自治会活動中 ✓実態は不明だが、マスコミによると環境・体制が整っている気がする	60～69歳	✓とりあえず市役所の各窓口へ訪ねればよいのかもしれないが、現状は問題があるとインターネット等で調べて解決しています ✓どこに連絡するのかしりません。 ✓相談窓口が、わからない。																					
✓困った事が無いから不明だけど、コロナ流行時には民生員の方から電話がかかって来た。	70歳以上	✓このような場面でもどこに相談したら良いのか迷うことがある ✓自分にそのような場面がないからか																					

【区分】	【指標名】
●	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている

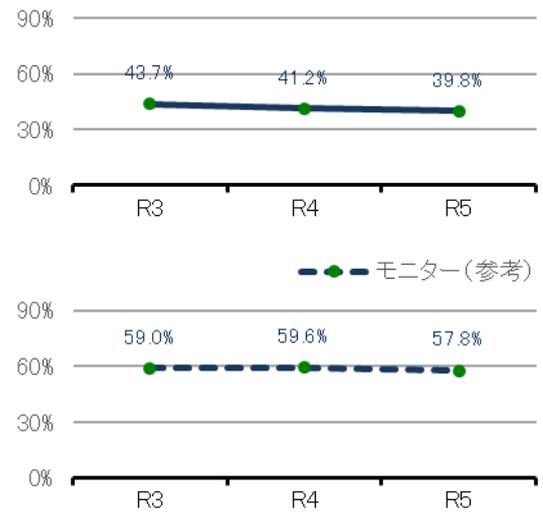
	R4	R5
肯定的評価割合	41.2%	39.8%
否定的評価割合	40.4%	41.8%
評価保留割合	16.7%	16.4%

現状値 (R3)	目標 (R9)	43.7%	↗
平均値 (R4～R5)		40.5%	

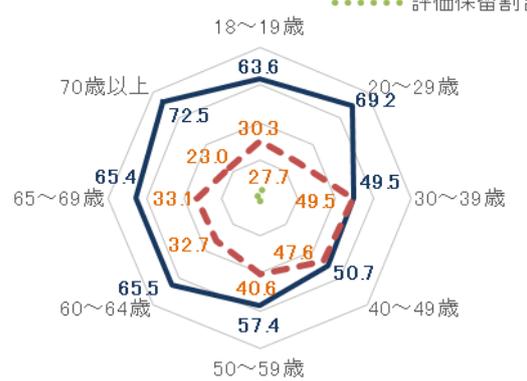
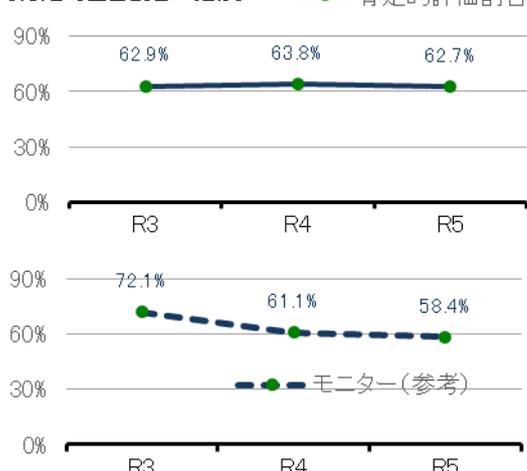
【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公民館でヨガをやっていたりするから ✓ 健康づくりの取り組みをよく目にするから 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 18を超えると医療費全額負担になると、学生のうちはきついと思うから。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 回覧板で健康教室を開催しているチラシを何度も見るから環境は整っていると感じる ✓ ながの健やかプラン21を基にプランができています 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公園などに手軽にできるジムマシンを置いていたりしたらもっと健康に過ごせると思う ✓ そのような体制を知らないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 長野五輪後の、三セクが運営するスポーツ施設が充実 ✓ ウォーキングされてる方が結構いる ✓ 公園が多いので散歩や軽い運動が気軽にできる ✓ ヨガなどの教室に誘われたりした。公園も整備されていて運動しやすいそう 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 窓口はあるのだろうかいかんせん広報力に欠けているため認知されていない ✓ スポーツ施設が少ない ✓ 子育て世代の親は自分より子どもの事にかかりきりになってしまう。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 身近に運動できる施設が色々あるから。 ✓ ジムが多くある ✓ 市報を見て参加できそうな講座が用意されているなと思いました。 ✓ 各種検診の補助が整っている 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 運動場が遠い ✓ 屋外施設ばかり。屋内は利用しにくい、したくない魅力ない施設ばかりだ。 ✓ 周りがあるか周りらないし、あっても有料
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 健康づくりに継続的な取組 ✓ 環境整備は十分と思う 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高齢者対象に特化しており、現役世代は置き去りとなっていると思います。 ✓ 体育館の利用がサークルの予約でほぼできない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 様々な企画がされているから ✓ 市報でも募集があるし、実際、運動施設に通っている。 ✓ 市民健康診断も充実してきていますし、スポーツジムや施設も増えているので環境は整いつつあると思う 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ジムが少ない ✓ どこにあるのか知らない ✓ もっと健康作りに長野市は、助成金を使う必要がある。 ✓ 健康管理の為ジムへ通っている
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公民館で はつらつ(体操) クラブを行っている 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ どこに？ ✓ 近くに運動ができて、気軽に行ける場所を知らない。

【施策コード／施策名】 2-4-1 健康の保持・増進の支援		【担当部局】 保健福祉部																					
【区分】	【指標名】																						
○	健康づくりに継続的に取り組んでいる																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>63.8%</td> <td>62.7%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>33.7%</td> <td>34.5%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>1.5%</td> <td>1.4%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	63.8%	62.7%	否定的評価割合	33.7%	34.5%	評価保留割合	1.5%	1.4%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>62.9%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">63.3%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)	62.9%		平均値 (R4~R5)		63.3%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	63.8%	62.7%																					
否定的評価割合	33.7%	34.5%																					
評価保留割合	1.5%	1.4%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	62.9%																					
平均値 (R4~R5)		63.3%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p>  <p>— 肯定的評価割合 - - 否定的評価割合 ... 評価保留割合</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p> 																					
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 散歩や筋トレをしている ✓ 長生きしたいから ✓ 自転車通学 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 健康づくりの方法が分からないから 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 週2.3回ジムに通っている ✓ 自転車を購入した ✓ ジム通い 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 家族の健康は気に掛けているが自分の事となると疎かになってしまう ✓ 仕事以外で体を動かすことがない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ ジムに行き健康作りをしている ✓ なるべく歩く ✓ 忙しい中でも、運動を日課にしている ✓ 運動を心がけている 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 時間が無いです ✓ 運動が苦手だから ✓ やらないといけないと分かっているが、なかなか行動にうつせない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日頃から健康的な生活を送りたいと思っているから ✓ 体力づくり ✓ ヨガやウォーキングを継続的に続けています 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 仕事以外での余裕がありません ✓ 運動が嫌いで体を動かすことが少ない ✓ 犬の散歩以外しない ✓ 現在育児中につき、時間が取れないため 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 健康の大切さを認識した健康づくり ✓ 年に一度は特定健診をしている ✓ 公園が近いのでウォーキングをしている ✓ ジムに行っている 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ やらなければいけないのですが出来ていません ✓ ついつい後回しに ✓ 健康診断は受診しますが、その結果でなにか行動するということはありません 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 毎日のウォーキング(1h) ✓ 定期検診と歯科検診は毎年受けている ✓ 健康の為ジムへ定期的に通っている 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 仕事が忙しく時間が確保できない ✓ 取り組んでいないから ✓ 今の生活がいっぱいなので、考えても行動に移せていない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市の体操講座に参加。個人的にもウォーキング等 ✓ はつつ健康体操などに参加し継続的に取り組んでいる ✓ 市報の募集には参加している 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 意識はしているが、病気をして以来ジムに通っていない。もう少し暖かくなったら歩きたい 																					

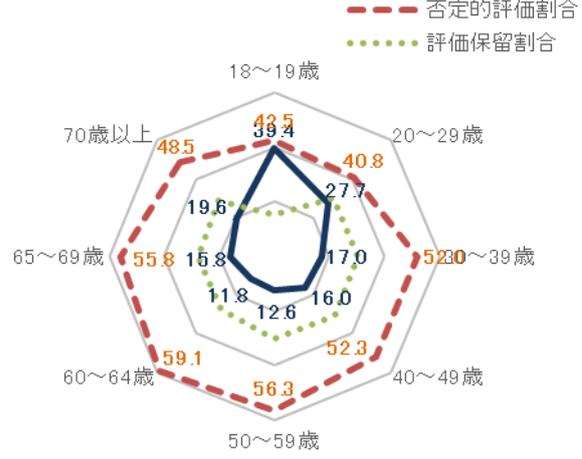
【施策コード／施策名】 2-4-2 保健衛生の充実	【担当部局】 保健福祉部
------------------------------	-----------------

【区分】	【指標名】
●	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている

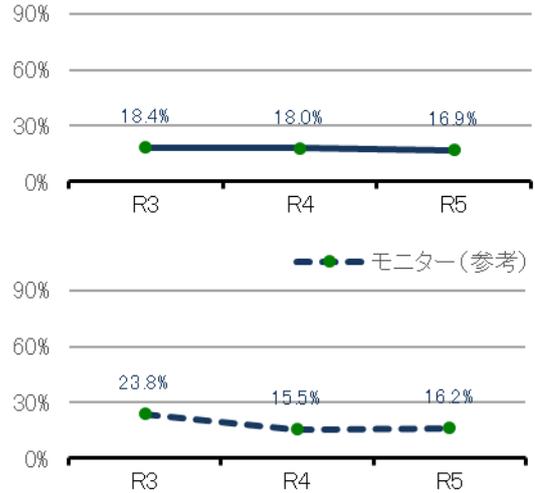
	R4	R5
肯定的評価割合	18.0%	16.9%
否定的評価割合	50.5%	52.2%
評価保留割合	29.7%	29.1%

現状値 (R3)	目標 (R9)	18.4%	
平均値 (R4~R5)		17.5%	

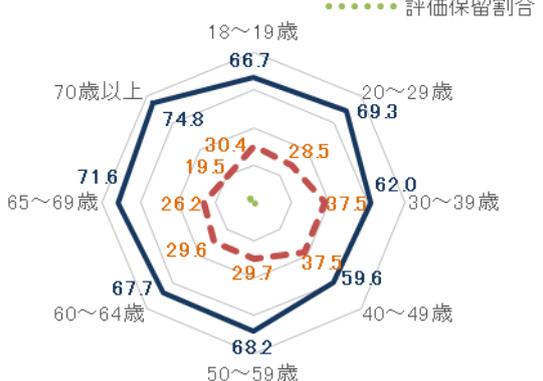
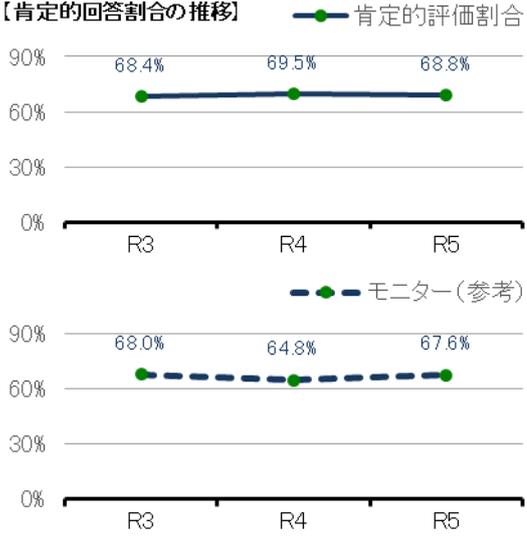
【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 最近は充実してきた ✓ よく学校で案内を配られるから。 ✓ 母親への相談体制は整っているとおもう 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 相談できる場所がわからない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 医療が充実 ✓ ネットで検索すると相談窓口が沢山見つかるため。 ✓ 子育てやメンタルの不安の窓口を知っているというだけでまずは安心できる。そういった窓口の連絡先が広報や市の施設に掲示されているのをよく目にするのでとても良い取り組みだと思う。 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ どこにどう相談して良いかわからないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市役所やsnsなどいつでも相談できるから ✓ 会社で保健師がおり、サポート頂ける体制がある ✓ 栗田病院に行くと通っています 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 相談先が思いつかないし、よほどの事態になるまで相談できない。 ✓ 相談する場所はわからない ✓ どこに相談するのかかわからない、そもそもストレスで長野市に相談しようとは思わない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ まずは、友人・家族に相談することはできる ✓ 地域活動支援センターがある ✓ 広報誌をみて 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 相談するところがわかりません。 ✓ 病院のカウンセリングしか思いつかない。カウンセリング専門の施設なんか無い。相談も有料。 ✓ 実際にどこに聞いたらいいのかわからないから。 ✓ 体制ないですね
<ul style="list-style-type: none"> ✓ まずは、友人・家族に相談することはできる ✓ 地域活動支援センターがある ✓ 広報誌をみて 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 一人で抱え込まない体制 ✓ 相談できる体制？家族以外に相談するのはみんな嫌ですね ✓ 保健センターや保健所、精神科・心療内科では、解決に至らないため。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 家族友人ご近所さん等仲良く出来る人がいるから ✓ 広報で相談の記事は目にする ✓ 女性問題や人権問題を相談する窓口が広報などでお知らせがある。 ✓ 電話相談できる 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 何も聞いたことがなく、知りません ✓ どこに相談するのかかわからない ✓ どこに相談したら、良いのかわからない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 年中無休で相談できるところがあると承知している 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ どこに？ ✓ 気軽に相談できる先がわからない。

【施策コード／施策名】 2-4-2 保健衛生の充実		【担当部局】 保健福祉部																					
【区分】	【指標名】																						
○	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>69.5%</td> <td>68.8%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>26.6%</td> <td>27.8%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>2.9%</td> <td>1.9%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	69.5%	68.8%	否定的評価割合	26.6%	27.8%	評価保留割合	2.9%	1.9%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>68.4%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">69.2%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)	68.4%		平均値 (R4~R5)		69.2%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	69.5%	68.8%																					
否定的評価割合	26.6%	27.8%																					
評価保留割合	2.9%	1.9%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	68.4%																					
平均値 (R4~R5)		69.2%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>— 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ●●●●● 評価保留割合</p> 																							
<p>【肯定的回答割合の推移】</p> 																							
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 周りの人と話す ✓ 意識的に自分の気持ちを口にするようにしている 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 相談を誰にすればいいかわからない 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 周りに話せる友達や家族がいる ✓ 1人ぐらしだから ✓ 不安やストレスを感じたときは、友人等にうちあけるようにしている 		20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 仕事がストレスだから。ひとりで抱えた方が楽だから 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 家族や周囲の人に相談している ✓ 妻へ相談 ✓ 旦那にやつあたりしている ✓ 友達や家族に愚痴っている 		30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 発散できず抱え込みやすい ✓ 抱え込んで困ります、相談相手もないので ✓ 結局自分の問題だと思うため ✓ 誰かに話しても根本的な解決にはならない 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ その日のうちに嫌な事は忘れるよう心掛けている ✓ 家族に話を聞いてもらっている ✓ 聞いてくれる家族がいるから 		40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 似た境遇の人が少なく、相談相手がほぼいないときがある ✓ 相談できる場所がない。仮に相談出来ても解決できるわけではない ✓ 一人で解決する 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ つねに相談する ✓ 家族、友人など相談できる人が近くにいるのでありがたいです ✓ 老人性鬱になりたくないから。また物事はひとりで抱え込んで解決しないから 		50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 一人で解決するタイプ。悪いことではない ✓ 家族や友人に話すことで発散しようとしている 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 元々溜まらない性格だから ✓ 外に出る事を心がけている ✓ 友人と話したり、家族に相談している 		60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 一人暮らしなので、悩みは全て自分で解決しています。親族などに話しても嫌がられるので、努めて精神的安定を心構えとして持っています。 ✓ 自分で考え、解決するタイプなので、他人には頼らない性格 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ まわりに相談に応じていただける人がいることは大きい ✓ ストレス無し 		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人には話さない 																				

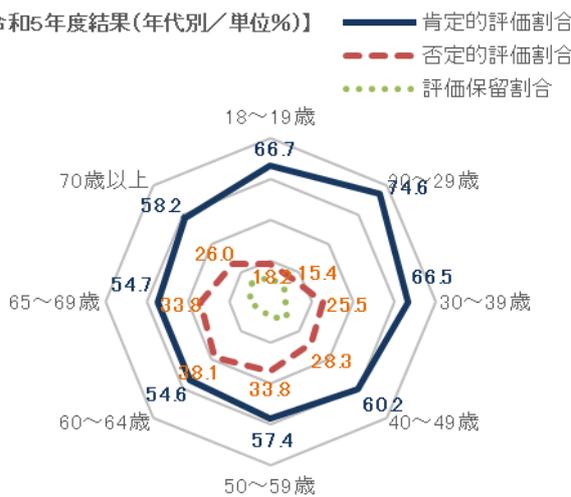
【施策コード／施策名】 2-4-3 地域医療体制の充実	【担当部局】 保健福祉部
--------------------------------	-----------------

【区分】	【指標名】
●	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている

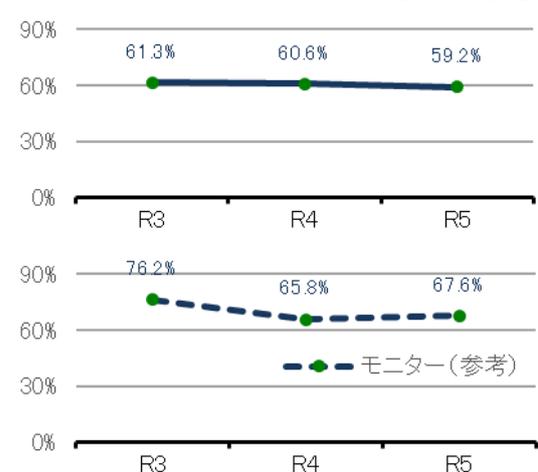
	R4	R5
肯定的評価割合	60.6%	59.2%
否定的評価割合	27.5%	29.0%
評価保留割合	10.3%	10.1%

現状値 (R3)	目標 (R9)	61.3%	
平均値 (R4~R5)		59.9%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



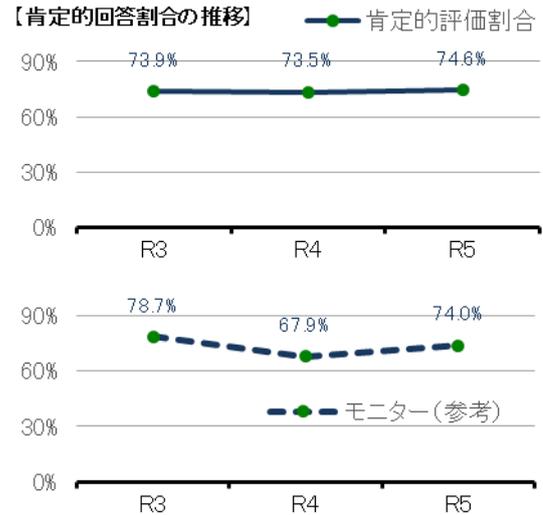
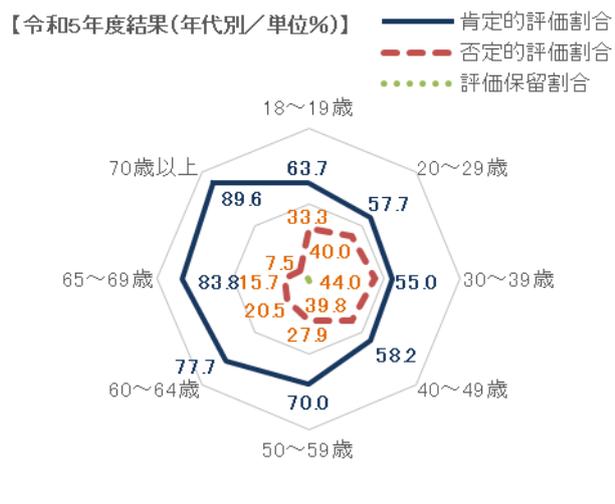
【肯定的回答割合の推移】



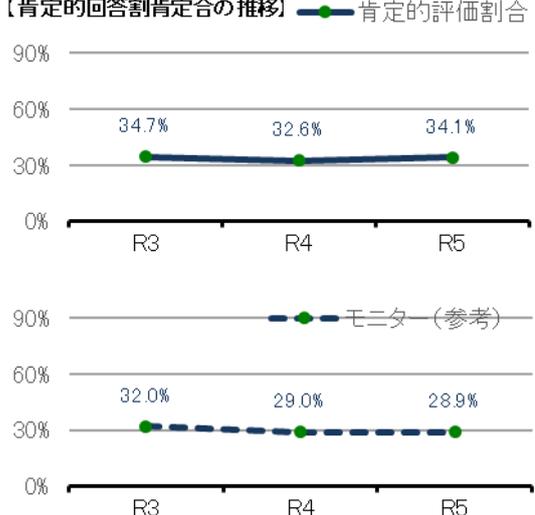
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓満足している ✓病院直行のバスなどが多い 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓大きな病院だと、待ち時間が長く、学校や仕事がある人は1日休みを取らなくてはいけない場合もあり、負担がある
<ul style="list-style-type: none"> ✓様々な病院がたくさんあるので受けられる体制は整っていると感じる ✓病院がたくさんあるから ✓医療サービスに困ったことがない。 ✓特に、お先が短い老人には充実してる。 ✓色々な病院があるので、病院間の連携が取れていそう 	20~29歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓日頃利用できる病院や薬局がたくさんあるから。 ✓福祉医療にとっても助けられているため。 ✓年末に子供が日曜日に発熱、当番医へ電話したところ「100人待ちだから市民病院へ電話して」と教えていただき、電話したところすぐに対応していただきました。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓窓口はあるのだけれどいかにせん広報力に欠けているため認知されていない ✓日曜祝日に空いている病院が無い(当番医以外で)
<ul style="list-style-type: none"> ✓日赤と市民病院があるので ✓医療機関は十分にあると感じる。 ✓病院が一定数あり子供の医療費に補助がある 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓高額医療に該当した場合、もう少し補助が欲しいと感じた ✓医療施設はいつも混雑していて気軽に行けない。 ✓小児慢性疾患がある子がいるが、安曇野こども病院に通院しないと市内ではみてもらえない ✓土曜日の午後の診療体制がない
<ul style="list-style-type: none"> ✓インフルエンザ予防接種、肺炎球菌など医療費補助が充実しているから ✓救急車や健康保険証など優れたシステムだと思う。 ✓各科の病院は周囲に豊富にあります。 ✓病院や薬局等が近くにある 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓診療科に偏りがある。また、医療情報を得づらいため、サービスを受けるまで容易ではない。それぞれの病院・医師の得意分野なども情報整理できるとよいと思います。 ✓近くに行きたい科がない
<ul style="list-style-type: none"> ✓中山間地を除き、市街地においては体制が整っていると思う 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓まず、近所の医者に行かないと大きな病院に行けない。 ✓本当に具合悪くても病院で断られる事がありました。受け入れてもらえず、このまま死んだら…と感じました。 ✓残念だが先端医療技術を受けられる体制にはないと思う
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓医療費については不十分

【区分】	【指標名】
○	かかりつけ医がいる

	R4	R5		
肯定的評価割合	73.5%	74.6%	現状値 (R3)	73.9%
否定的評価割合	24.8%	23.3%	目標 (R9)	73.9%
評価保留割合	0.8%	0.8%	平均値 (R4～R5)	74.1%



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ かかりつけ医がいる ✓ 小さい頃からかかっているから ✓ 困った時に相談できるかかりつけ医がいるから 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ いつも通っている場所があります ✓ いつも行く病院が同じだから ✓ 安心して受診できるから 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ どこも混んでいるから出来るだけ病院には行かない ✓ 医者に定期的にかかることがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ かかりつけがあるので安心できる ✓ 子供は特に同じ先生にお世話になっている ✓ 近所のお医者さんに通院している ✓ 幸いなことに信頼できるお医者さんがいます。ありがたいです 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 持病もなく病院へ行かないため ✓ ここにずっと通いたいという、お医者さんが通う利便性や予約のとりやすさ等の色々な面から考えるとなかなか ✓ 自分のことで受診したことがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 必ず同じ病院・医院へ行くようにしている ✓ 持病があり、かかりつけ医がいる ✓ 近所の病院が行きつけの病院である 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 歯医者以外、通う機会が少なく決まった病院がないから ✓ 持病がないため受診の機会がない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 体のことはつねにかかりつけ医に相談している ✓ 本当に見てもらいたい科の先生ではない ✓ 信用している医師がいます 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 持病がないので医者にはほぼ行かない ✓ ひっこしたばかりだし、あまり医者にかからない ✓ 医者にかからない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 歯科と耳鼻科がある ✓ 定期的に通院受診している ✓ 近くに長年お世話になっているかかりつけ医がいる 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 幸いにもほとんど病気のかかったことがないため病院自体あまり行かないので、かかりつけ医はいません ✓ 定期的に通うような医院はない。しかし、体調が悪いときに行く医院は決まっている
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 石黒内科医院がそれに当たる ✓ 他の医院にかかるときもできるだけかかりつけ医の意見を聞く 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 医者にかかることが今のところない

【施策コード／施策名】 2-5-1 人権尊重社会の実現		【担当部局】 地域・市民生活部																					
【区分】	【指標名】																						
●	互いの個性や立場を尊重し合える地域である																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>32.6%</td> <td>34.1%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>41.1%</td> <td>41.9%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>24.6%</td> <td>22.2%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	32.6%	34.1%	否定的評価割合	41.1%	41.9%	評価保留割合	24.6%	22.2%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>34.7%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">33.4%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)	34.7%		平均値 (R4~R5)		33.4%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	32.6%	34.1%																					
否定的評価割合	41.1%	41.9%																					
評価保留割合	24.6%	22.2%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	34.7%																					
平均値 (R4~R5)		33.4%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>— 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ●●●●● 評価保留割合</p> 		<p>【肯定的回答割合の推移】</p> 																					
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓このことに関して苦情を言う人を聞いたことがないから ✓尊重しあえてるとおもう ✓ふつつ ✓ある意味、近年クセのある主張の強い方々が多く、長野県民らしい奥ゆかしさみたいなものが無くなっている気がします ✓好きなことをのびのびとできると思う。 ✓転勤族や国籍の違う色んな人が生活していると感じるため ✓皆さん優しいです。子供も見守ってもらえています。 ✓お互いあまり干渉していないのかな、と思います。 ✓中学校もジェンダーレスや、家庭の経済状況による差がないよう意識し始めたと感じる。 ✓桐原はいいかも。豊野はダメ ✓人権問題について理解と認識を深める ✓実家の須坂と比べるとそれなりに都会的であると感じています ✓昔からの伝統で共有の精神がある ✓お互いに距離を取って暮らしていると思う。 ✓細かいことにまで干渉しないから ✓自分の地域のみはOKだが ✓尊重し 会えないとはどういうことがわからない 	<ul style="list-style-type: none"> 19歳以下 20~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 	<ul style="list-style-type: none"> ✓近所付き合いがあるため、個性などを表現するのが少し難しい ✓長野県は閉鎖的な環境もあり、ムラ意識が強いと感じた ✓核家族 ✓町内会でも高齢化や人口減少の影響で役員の回るペースが速く、病気や仕事等で困難なので断ると村八分ようになるから ✓長野の方は闘争心がなく個性や立場を嫌う傾向がある(出る杭は打たれる) ✓人の悪口ばかり。 ✓閉鎖的で排他的 ✓毎日嫌がらせを受けていればそんな風に思えない ✓移住者としての感想ですが、とても閉鎖的で、異なる考え方や文化を受け入れることに抵抗がある住民が多いと感じています ✓相変わらず高齢男性が自治会などで権力を行使している。 ✓例えば、都市ガスの敷設や横断歩道の信号機の設置要求などで同じ地域住民の中で、自分の利権から強く反対する人がいて意見が中々整いません。 ✓みな好きに生きている ✓表面的と本心との差がある。 																					

【施策コード／施策名】 2-5-1 人権尊重社会の実現		【担当部局】 地域・市民生活部																					
【区分】	【指標名】																						
○	人権問題について理解を深めようとしている																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>58.4%</td> <td>58.2%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>32.3%</td> <td>32.5%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>8.2%</td> <td>7.6%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	58.4%	58.2%	否定的評価割合	32.3%	32.5%	評価保留割合	8.2%	7.6%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>58.3%</th> <th>↗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4～R5)</td> <td colspan="2">58.3%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	58.3%	↗	平均値 (R4～R5)		58.3%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	58.4%	58.2%																					
否定的評価割合	32.3%	32.5%																					
評価保留割合	8.2%	7.6%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	58.3%	↗																				
平均値 (R4～R5)		58.3%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>【肯定的回答割合の推移】</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18～19歳</td> <td>51.5</td> </tr> <tr> <td>20～29歳</td> <td>61.6</td> </tr> <tr> <td>30～39歳</td> <td>51.5</td> </tr> <tr> <td>40～49歳</td> <td>54.0</td> </tr> <tr> <td>50～59歳</td> <td>58.6</td> </tr> <tr> <td>60～64歳</td> <td>64.5</td> </tr> <tr> <td>65～69歳</td> <td>58.5</td> </tr> <tr> <td>70歳以上</td> <td>60.0</td> </tr> </tbody> </table>		年代	肯定的評価割合 (%)	18～19歳	51.5	20～29歳	61.6	30～39歳	51.5	40～49歳	54.0	50～59歳	58.6	60～64歳	64.5	65～69歳	58.5	70歳以上	60.0	<p>【肯定的回答割合の推移】</p>			
年代	肯定的評価割合 (%)																						
18～19歳	51.5																						
20～29歳	61.6																						
30～39歳	51.5																						
40～49歳	54.0																						
50～59歳	58.6																						
60～64歳	64.5																						
65～69歳	58.5																						
70歳以上	60.0																						
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ニュースを見るようにしている ✓人権意識を更新し続けていく必要があるから ✓学校で授業をやるからその時に少し興味を持つから ✓人権をあまり気にせず、自由だとおもうから ✓世界には(身近な所にも)様々な人が暮らしている事を子供にも教えたいので理解し深めることは努力しているつもりです ✓学習している ✓子どもの人権を守ろうと思っているから ✓多様な価値観を認められる方だと思う 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓他のことを深めている ✓授業で扱われている時は気にすることがある 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓深めたいと思っている ✓私はプライベートはきちんとしたいので相手にもしている 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓興味がないから 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓これからの世の中必須の問題であるし大事なことでありと捉えているから ✓ジェンダーについては興味がある ✓意識高い。地方紙ではなく全国紙を読んでるし ✓理解を深めようとしている 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓必要な場面がないので ✓学ぶ機会が無くなった ✓特に自分から何かをしているわけでは無いが、人権を侵害しないようには心がけている 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ニュースは関心を持っている ✓まだまだ日本は人権問題の認識や理解が足りないと思うので、みんなと話している ✓国際法の勉強や国際問題などを英字新聞、CNN、BBCなどの番組の視聴、アルジャジーラなどをyoutubeで閲覧し問題意識を高めています。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓認識は薄いです ✓最近だと子供の参観日で考えた ✓以前よりは、啓蒙活動が減ってしまったような気がする 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓人権教育指導員(朝陽地区)として理解に努めている ✓中学生ころから常に意識していた 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓すぐに「人権問題」と言い出す方は逆に怪しいと思います ✓特に取り組んでいない ✓詳しくはわからないです 																					
	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓人権は難しく避けている傾向がある ✓関心がない ✓人権問題豊野に引っ越して来たばかりの時は頻りに勉強会があったが今は特に意識した事はない 																					
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓弱者・弱者と守るのも必要だけど、基本的に何故「弱者」なのか？考えた方が良い 																					

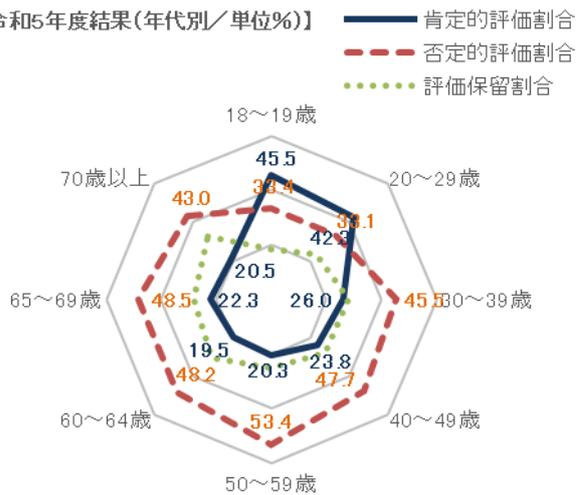
【施策コード／施策名】 2-5-2 男女共同参画社会の実現	【担当部局】 地域・市民生活部
----------------------------------	--------------------

【区分】	【指標名】
●	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である

	R4	R5
肯定的評価割合	24.5%	23.0%
否定的評価割合	44.2%	46.4%
評価保留割合	29.7%	28.5%

現状値 (R3)	目標 (R9)	23.5%	↗
平均値 (R4~R5)		23.8%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



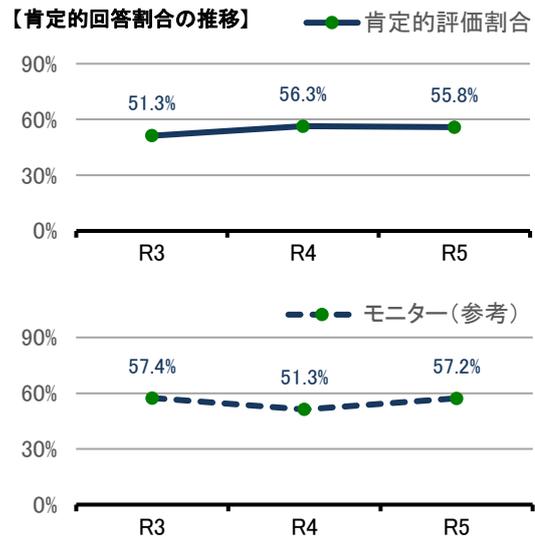
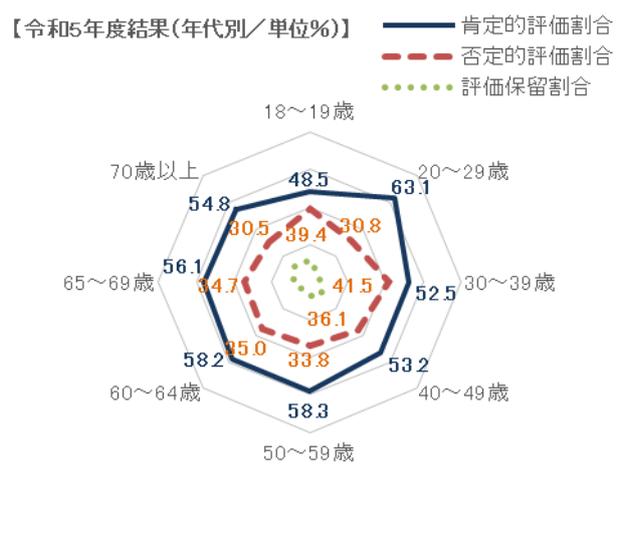
【肯定的回答割合の推移】



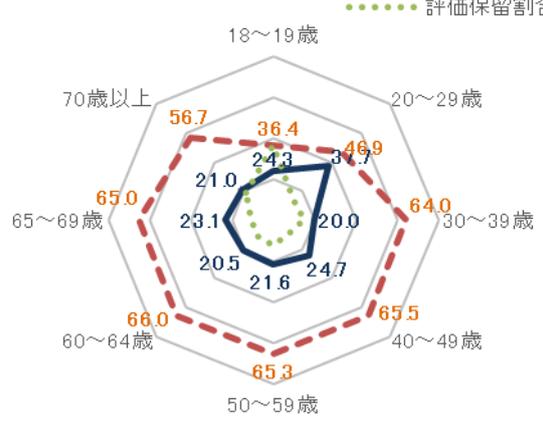
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓好きなことをしてみんな楽しんでいるから	19歳以下	✓前よりは性別に関係なくさまざまなことができるが、まだ固定観念が残っていて個性や能力を十分に活かせるとはいえない
✓性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる会社や雇用形態が増えたと思う	20~29歳	✓長野市で会社の上司や役員に女性がいない企業を知らないのでもだまだと感じる ✓市議会などまだまだ女性の数が少ない
✓性別での差をあまり気にしたことがないから ✓幼稚園でも働く女性が多く、参観日も男性がいたりといわれない環境であると思う ✓まだ男女についての考え方が古い人もいる	30~39歳	✓未だに馴染まない、勘違いしている方々が指導の立場や広報の立場に立っていることが壁になっていると考えます ✓子育て世代の女性は男性よりも仕事に専念できずフルタイム勤務が難しい状況は変わらない ✓自治会の行事(特に子ども関連)はまだまだ女性が担っている場合が多く、負担が大きい。
✓女性が働きやすいです。 ✓学校のジェンダーレス制服など。 ✓高校生や大学生が地域で活躍しているのはいいことだと思う	40~49歳	✓PTA活動では、会長職などを男性に限定しているケースが依然として多い。町内会では、育成会を原則女性限定にしているケースも多い。 ✓年配者には男尊女卑的な価値観が残っている。地域役員等、男性に偏っている。
✓意識改革の取り組みを推進する ✓柔軟な考え方で地域を盛り上げようとしている方の活躍がみられる ✓学びの場がある	50~59歳	✓まだまだ男尊女卑 ✓自分もいろいろな経験を持ちますが、特に活かす機会がないため。情報を得られていないだけかもしれませんが。
✓性別に関係なく楽しめているから ✓男女共同参画が進んでいる ✓地域かと言うとわからないが、社会一般に性別は関係ないと思うから	60~69歳	✓やはり長野は女性蔑視があると感じる ✓古いしきたりがあり男女の姓区別は従前の差別が残っている ✓なんだかんだといっても、男社会。
✓よく分からない ✓制約はないと感じる	70歳以上	✓能力を活かす所が不足していると思う ✓特に女性の側において遠慮や尻込みする場面がまだまだ多い

【区分】	【指標名】
○	男女共同参画や女性活躍推進について理解を深めようとしている

	R4	R5		
肯定的評価割合	56.3%	55.8%	現状値 (R3)	51.3%
否定的評価割合	33.0%	33.6%	目標 (R9)	51.3%
評価保留割合	9.7%	8.8%	平均値 (R4~R5)	56.1%



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ニュースで取り組みを知っている ✓日本は女性参画が遅れているから ✓重要だから 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓あまり、男女差別を過ごして気にしたことがない ✓女性が働きやすい社会になってほしいから 	20~29歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓企業の人事担当としてこの取り組みを推進してきたため ✓応援しています ✓女性の管理職は応援したい 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓女性活躍が根底から認められることはなさそうではない ✓あまり活動したくない ✓男がやった方がいいものもある
<ul style="list-style-type: none"> ✓日本は男女共同参画の後進国と言われているため ✓深めたいと思っている ✓男だから女だからという考えはしないようにしています 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓あまり意識して生活していない ✓自分がなにかしようと思ったことがない ✓人権問題同様
<ul style="list-style-type: none"> ✓深めようとはしている ✓子どもブラザでは、お父さんがお迎えに来る方が増えた ✓そういう社会であって欲しいと思う ✓関心をもってニュースや記事をみている 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓私が若い時からそんなこと言ってたけど、変わらなかったから考えることをやめた ✓そのようなことに積極的ではない ✓とりたてて興味がないです。なににより、女性はすでに活躍しているのではないのでしょうか
<ul style="list-style-type: none"> ✓各大手新聞社のHPの閲覧などでGender GapやLGBTQなどのマイノリティをめぐるホットピクな話題を収集し、考察しています。 ✓常に男女平等と思っている ✓その考えを尊重しながら当たり前だと思う 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓仕事をしていないので気にならない ✓関心がない ✓特に努力していない
<ul style="list-style-type: none"> ✓理解を深めることはもちろんのこと自らが実践することに心掛けている ✓新聞記事等は読むようにしている ✓女性の活躍は大いに期待したい 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓理解はしているが実感がない

【施策コード／施策名】 3-1-1 脱炭素社会の構築		【担当部局】 環境部																					
【区分】	【指標名】																						
●	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>22.5%</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>60.2%</td> <td>61.0%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>15.6%</td> <td>14.4%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	22.5%	22.6%	否定的評価割合	60.2%	61.0%	評価保留割合	15.6%	14.4%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>22.9%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4～R5)</td> <td colspan="2">22.6%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)	22.9%		平均値 (R4～R5)		22.6%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	22.5%	22.6%																					
否定的評価割合	60.2%	61.0%																					
評価保留割合	15.6%	14.4%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	22.9%																					
平均値 (R4～R5)		22.6%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> 		<p>【肯定的回答割合の推移】</p> 																					
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																					
✓たまにそのような取り組みを見る	19歳以下	✓長野は交通の便が悪いから車を使わないで生活するのは厳しいと思うから																					
✓太陽光発電をしているから ✓太陽光パネルは至る所で目にするから	20～29歳	✓車がないと生活できないから																					
✓節電要請が来るので協力してる ✓太陽光を付けてる家が目立つ	30～39歳	✓朝の渋滞や、見民家の駐車場をみると自動車保有率が高いと感じる ✓車社会だ																					
✓交通機関が充実しているので、できる範囲で電車を利用している ✓太陽光発電新築住宅は未だに多いから	40～49歳	✓あまり身近な人たちとで、そういった話題もあがらないし、自動車の利用もまだ多いと思うため。 ✓自動車がなければ、生活出来ない																					
✓できる範囲でやっており、子供にも伝えている ✓太陽光発電ソーラーを自宅にもつけているから	50～59歳	✓節電にはつとめているが自動車は毎日乗っている ✓車がないと不便だと思う ✓ガソリン代が全国一高いような地域であるものの、車に依存していると思います。インセンティブをつけるなど工夫が必要ではないかと思います。																					
✓太陽光発電が多く行われているので ✓電気やガソリン、ガス、灯油はお金に直結するので、意識している	60～69歳	✓自家用車がないと、日常生活に支障をきたすため ✓自動車は執拗に応じ運転していますが、バスは少ないし廃止路線も多いので車の運転が出来なくなったら不安																					
✓太陽光の屋根は多い	70歳以上	✓自身は太陽光発電の家で暮らしているが、車が非常に多いと感じる。街中にはできるだけバスを利用している																					

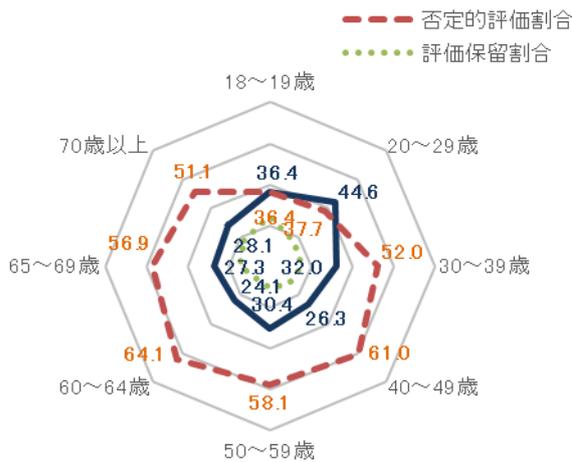
【施策コード／施策名】 3-1-1 脱炭素社会の構築	【担当部署】 環境部
-------------------------------	---------------

【区分】	【指標名】
●	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている

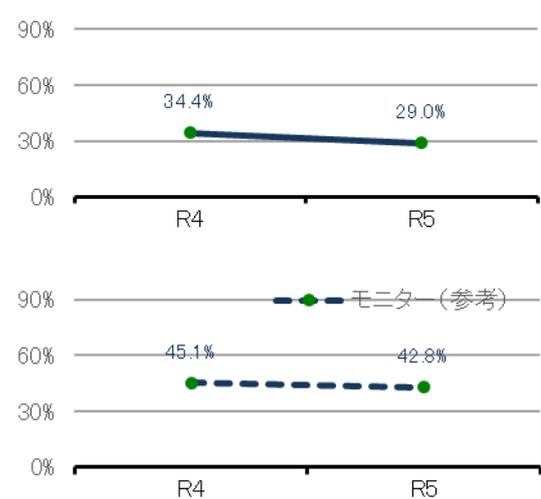
	R4	R5
肯定的評価割合	34.4%	29.0%
否定的評価割合	48.1%	54.8%
評価保留割合	15.5%	14.4%

現状値 (R3)	目標 (R9)	48.0%	
平均値 (R4～R5)		31.7%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

<ul style="list-style-type: none"> ✓学校の体育の授業で熱中症対策が行われているなど感じるか ✓マイバックを持っている人が多くなったから ✓避難経路や避難場所が決まっている 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓予防的な措置が少なく、実際に起きてから対策をしていることが多いと思う
<ul style="list-style-type: none"> ✓高齢の義父母へエアコンをたくさん使ってほしいと伝えている ✓熱中警戒アラートなどテレビでいっている 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓取り組みを聞いたことがないから ✓こんな活動をしていますと言うのを1つも聞いたことがないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓市街地は防減災の取組はできていると思われる ✓子供がいるので熱中症には気を付けている 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓太陽光発電への規制が厳しい ✓堤防の強化等は取り組んでいただいているが、日常生活の中という切り口だと、あまり取り組みをしている実感はない
<ul style="list-style-type: none"> ✓防災訓練が行われている ✓実践しているから ✓防災グッズを用意している 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓公共施設など、設備が整っていないから ✓非常に消極的。苦情があってもお金がかかるからしょうがないんだろうけど
<ul style="list-style-type: none"> ✓熱中症対策はしている。 ✓それなりの対策は備えてあるが、災害ニュースを見るたびに、最低どこまでやれば良いのかわからない 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓取り組みしてること自体知らない ✓小学校の教室にエアコンが入ったが音楽室、理科室には無い。体育館も暑い。水泳の時間も一学期のみ。冬季市役所に入ると、ワイシャツでお仕事しているが子どもは震えています。
<ul style="list-style-type: none"> ✓市役所は夏に冷房を利かしてないし、自動車は電気だし、工夫してると思う 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓自治体において、区費などもっと防災に使ってほしい ✓自治会の副会長をしていた時に災害時の避難場所の確認の周知や、定期的に避難訓練をした程度です
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ほとんど取り組みしていない ✓住民の意識としてあまり感じられない

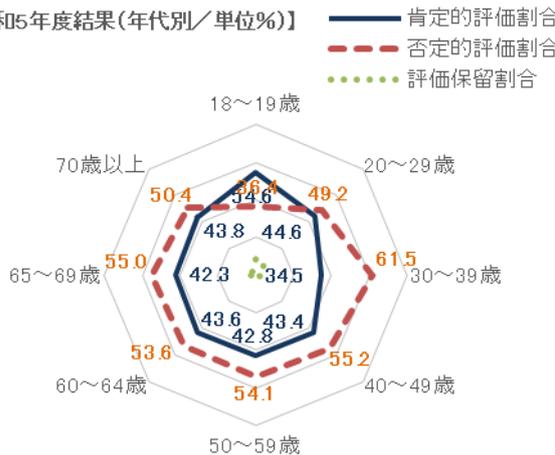
【施策コード／施策名】 3-1-1 脱炭素社会の構築	【担当部署】 環境部
-------------------------------	---------------

【区分】	【指標名】
○	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている

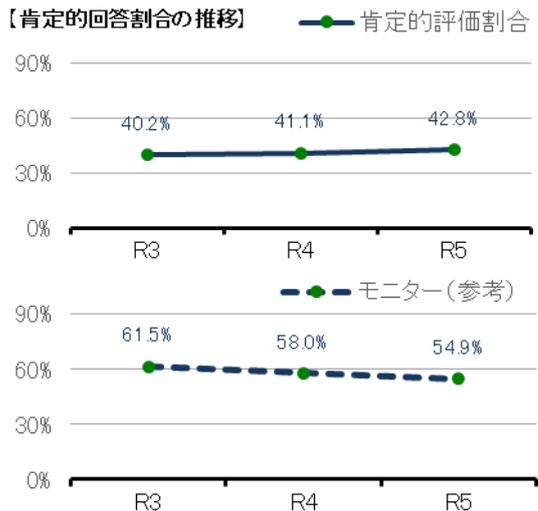
	R4	R5
肯定的評価割合	41.1%	42.8%
否定的評価割合	55.0%	53.1%
評価保留割合	2.8%	2.7%

現状値 (R3)	目標 (R9)	40.2%	
平均値 (R4~R5)		42.0%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓夜の光を暗くしている ✓自家用車をなるべく使わないようにしている 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓やはり自動車じゃないと、移動には不便だから
<ul style="list-style-type: none"> ✓太陽光発電を利用している ✓温室効果ガスよりは電気代のためだが、節電しているから 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓子供達の体調管理に空調を使ったり車社会なので移動は車だし、家の屋根が丈夫ではないので太陽光発電はなく、全てにおいて出来ていないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓冬季はこたつのみ、通勤は自転車。温室効果ガスの発生を抑える暮らしをして節約にもなっている ✓自転車を利用しています ✓バス通勤にしているから 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓電気代を抑えたくて節電はなんとなくしているが、自動車は使わないと生活できないのでなるべく電気は消すようにしている、それくらいしかできません
<ul style="list-style-type: none"> ✓電気代が高騰しているため、節電は心掛けている。電車や自転車を利用し、できるだけ自家用車の利用は控えるようにしている。 ✓自宅に太陽光パネルを設置している。自転車の利用を心掛ける 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓意識はあるが個人の行動までには至っていない。家電購入支援のように、県、市からの支援があるとよい。 ✓賃貸住宅なので
<ul style="list-style-type: none"> ✓節電には気をつけている ✓電気が高く自分は努めているが、家族は我関せず ✓自分でできることはできるだけ取り組みたい ✓節電に心がけている 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓太陽光設置する費用ありませんでした ✓個人がかける環境負荷についてあまり細かく気にし過ぎることは効果が乏しいわりに結果として大きなストレスや負荷を与えてよくない結果になりかねないとも思うので。
<ul style="list-style-type: none"> ✓常に節電と省エネを意識している ✓節電は意識して取り組んでいるが、自家用車は必要であり使用頻度は変わらない ✓なるべく自動車を使用しない、できるだけ歩く。太陽光発電を設置済み ✓太陽光、電気自動車を利用している 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓集合住宅に太陽光がなく、バスの便が悪いので自動車を控える事が出来ない ✓節電は意識して取り組んでいるが、自家用車は必要であり使用頻度は変わらない ✓太陽光を利用する環境にない
<ul style="list-style-type: none"> ✓自宅は太陽光発電、市内にはバス利用を心掛けている ✓ゴミを出さない、移動は自転車か交通機関。出来る事はしている 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓残念ながら我が家には太陽光発電装置はない。自動車は保有していない ✓寒いことや暑いことは、なかなか耐えられない

【施策コード／施策名】 3-1-1 脱炭素社会の構築		【担当部局】 環境部																																														
【区分】	【指標名】																																															
○	災害に対する備え(防災グッズ・バザードマップの確認)や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている																																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>60.1%</td> <td>59.1%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>36.8%</td> <td>37.1%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>1.9%</td> <td>2.2%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	60.1%	59.1%	否定的評価割合	36.8%	37.1%	評価保留割合	1.9%	2.2%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>76.0%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">59.6%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	76.0%		平均値 (R4~R5)		59.6%																										
	R4	R5																																														
肯定的評価割合	60.1%	59.1%																																														
否定的評価割合	36.8%	37.1%																																														
評価保留割合	1.9%	2.2%																																														
現状値 (R3)	目標 (R9)	76.0%																																														
平均値 (R4~R5)		59.6%																																														
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>年代別評価割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18~19歳</td><td>57.6</td><td>30.4</td><td>12.0</td></tr> <tr><td>20~29歳</td><td>42.3</td><td>51.4</td><td>6.3</td></tr> <tr><td>30~39歳</td><td>51.0</td><td>47.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>40~49歳</td><td>56.6</td><td>41.7</td><td>1.7</td></tr> <tr><td>50~59歳</td><td>57.7</td><td>39.2</td><td>3.1</td></tr> <tr><td>60~64歳</td><td>58.2</td><td>39.1</td><td>2.7</td></tr> <tr><td>65~69歳</td><td>59.6</td><td>38.8</td><td>1.6</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>64.6</td><td>29.9</td><td>5.5</td></tr> </tbody> </table>		年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18~19歳	57.6	30.4	12.0	20~29歳	42.3	51.4	6.3	30~39歳	51.0	47.0	2.0	40~49歳	56.6	41.7	1.7	50~59歳	57.7	39.2	3.1	60~64歳	58.2	39.1	2.7	65~69歳	59.6	38.8	1.6	70歳以上	64.6	29.9	5.5	<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>肯定的回答割合の推移 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>60.1%</td> <td>72.0%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>59.1%</td> <td>75.1%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	R4	60.1%	72.0%	R5	59.1%	75.1%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																													
18~19歳	57.6	30.4	12.0																																													
20~29歳	42.3	51.4	6.3																																													
30~39歳	51.0	47.0	2.0																																													
40~49歳	56.6	41.7	1.7																																													
50~59歳	57.7	39.2	3.1																																													
60~64歳	58.2	39.1	2.7																																													
65~69歳	59.6	38.8	1.6																																													
70歳以上	64.6	29.9	5.5																																													
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																														
R4	60.1%	72.0%																																														
R5	59.1%	75.1%																																														
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																													
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 防災グッズ用意してる ✓ 元日の地震を受けて防災グッズをたくさん買い家族と共有しました ✓ 最近災害が多いから ✓ 防災リュックあり、ハザードマップ確認済 ✓ いつ、何時地震等が起こるかわかりません ✓ ハザードマップの定期的な確認と、家族内で話題に出すように心がけている。年に1回防災グッズの点検日を決めている。 ✓ 防災用の食料や水を確保したりしているから ✓ 能登地震で意識が高まった。地区公民館は脆弱だと感じる ✓ 物資を準備している ✓ 能登地震を受けて更に ✓ ハザードマップは大雨のときよく確認している ✓ 防災グッズや備蓄食糧を確保している ✓ 災害グッズの用意など出来ることはやっている ✓ 食料品の備蓄などを行っています ✓ スマートフォンにハザードマップアプリを設定するなど、またリュックサックに非常食や着替えを入れるなどで災害で備えています。 ✓ 能登地震は身近に感じる出来事で、防災グッズの見直しをした。ハザードマップは確認して、避難時はどこへ行くか家族で確認している。 ✓ 防災グッズは一応準備 ✓ 食料備蓄や水、使い捨てトイレ懐中電灯は身近に置いてある 		<ul style="list-style-type: none"> 19歳以下 20~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 防災グッズを準備してないから ✓ 防災グッズをもっていない ✓ 防災グッズを置く場所がない ✓ ハザードマップは確認済だが、まだ防災グッズの準備が十分でない ✓ 特に何もしていないため ✓ 防災グッズなどの備えはできていない ✓ 災害が起こる度に準備しようと思っているが、準備出来ない ✓ 防災は日々の備蓄のみ。特別なことはしていない ✓ 備蓄等不十分だと思う 避難について家族で話すとかも足りないと思う ✓ 特に意識していないかもしれないです ✓ 防災グッズの購入などしていない ✓ 災害の備えは意識して物を用意してあるが、まとめてなく、いざという時、もちだせないまま。 ✓ 大きな災害の後はしようと思うが、何を揃えたらいいのか分からなくなってしまい荷物が重くなってしまうので、難しい ✓ 災害に対する備えは万全とは言えないが、温暖化への影響を最小限になるよう努力している。 ✓ 知識がかけている 																																													

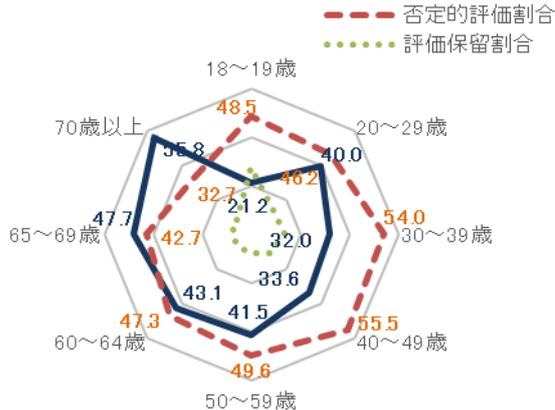
【施策コード／施策名】 3-1-2 循環型社会の実現	【担当部局】 環境部
-------------------------------	---------------

【区分】	【指標名】
●	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている

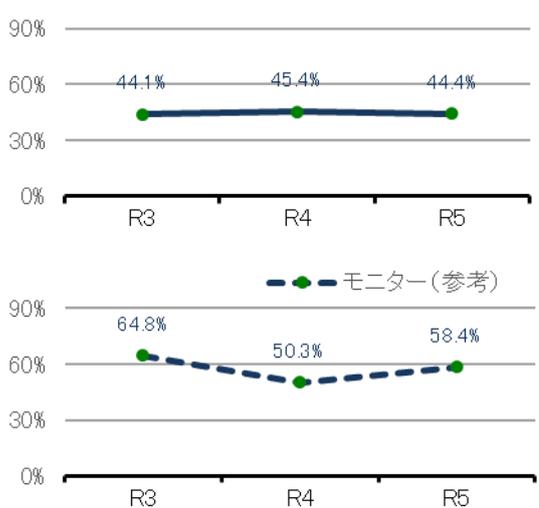
	R4	R5
肯定的評価割合	45.4%	44.4%
否定的評価割合	44.3%	44.2%
評価保留割合	8.4%	9.4%

現状値 (R3)	目標 (R9)	44.1%	↗
平均値 (R4~R5)		44.9%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓包装が簡易になっている商品がある ✓地震では買い物をぎ吟味するようにしている 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓知らないだけかもしれないけど、そういう取り組みを見た事は無いから ✓目にする事が無い ゴミ箱少ない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ゴミの分別についての情報が発信されている ✓プラスチックを無くす運動はとてもできていると思う 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓そういった取り組みを見ない ✓意識したらやるが、日常的には行われていないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓生ゴミ庭に埋めてる ✓食品ロスをださないようにしたり、スーパーで回収してくれる食品トレーやその他資源物はもっていくようにしている。回収してくれる場所が多いので非常に助かっている。 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓あまり昔と変わっていないと感じる。河川敷で家庭ごみを野焼きしている人もいるので取り締まってほしい ✓そもそも過剰包装だと思う
<ul style="list-style-type: none"> ✓スーパーなどにリサイクルboxの設置している所が多い ✓地域の環境班が資源ゴミのリサイクルを促しているため、自然とゴミが減っている気がする ✓地域の資源回収を積極的に利用している ✓分別が多い。リユース・リサイクルするための分別だと思っている 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓細かすぎてわからない ✓職場的に必要なものが多く減らせていないから ✓無駄な包装が多い ✓資源ゴミの区別が他県よりも細かく分類している気がすると思う
<ul style="list-style-type: none"> ✓冬季以外は生ゴミを捨てないなど行なっている ✓生ゴミ堆肥化や再資源化で減量を図っている ✓区、学校など資源回収が盛んだから ✓長野県のごみ排出量が少ないことと合わせ、なされていると思う ✓買い置きを控え必要な量のみ買い物し、食べ残し等無駄にしないよう意識している 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓利用しているゴミステーションでは、可燃ごみ不燃ごみの混在が見られる
<ul style="list-style-type: none"> ✓ゴミの集積所は整備されており、分別については徹底されていると思う ✓スーパーの資源回収はどきもやっている 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ゴミステーションの状態を見る限り、変化はない ✓道にゴミが沢山落ちている ✓ゴミステーションには時折り考えられないものが置いてあり役員の労力も大変(老々な人が多い)介護のおむつの量が多い
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ゴミの量は変わらない ✓個人的には努力している

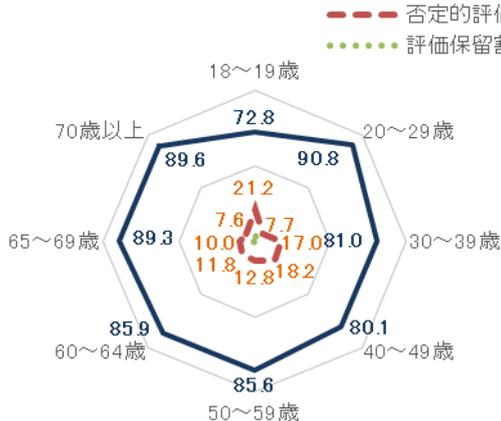
【施策コード／施策名】 3-1-2 循環型社会の実現	【担当部署】 環境部
-------------------------------	---------------

【区分】	【指標名】
○	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している

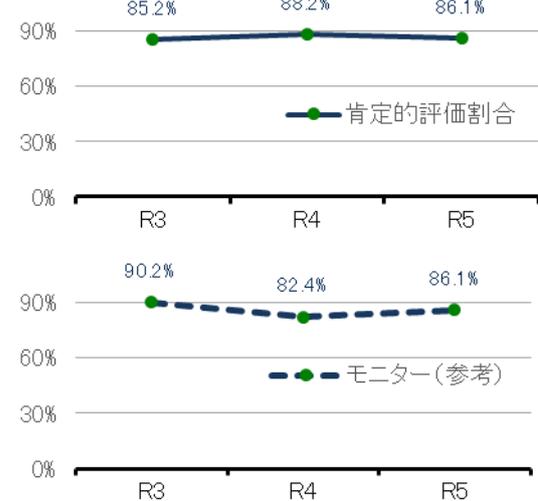
	R4	R5
肯定的評価割合	88.2%	86.1%
否定的評価割合	10.2%	11.6%
評価保留割合	0.8%	0.7%

現状値 (R3)	目標 (R9)	85.2%	➡
平均値 (R4~R5)		87.2%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓必要な分だけ買うようにしている ✓物価高で物の大切さをより感じたから ✓食べ物を残さないように気をつけているから 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓なるべくゴミをださないように野菜を使えるところはつかっている ✓食べ物は腐っても食べている ✓ご飯は残さないようにしている 	20~29歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓できる限りリサイクル、分別をしている ✓節約のため、環境のため意識している ✓もやしは溶ける前に食べきる ✓なるべくゴミの量を減らすよう努力している 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓子どもが食べ残し多いので、捨てたくない私はとてもストレス ✓賞味期限切れ、作り過ぎでつい無駄にしまう ✓心がけてはいるが、個人でゴミを減らすのは限界がある
<ul style="list-style-type: none"> ✓野菜は皮や芯も料理に使う。生ゴミは堆肥にして畑に利用 ✓プラゴミも減らしたい ✓食べ物を無駄にしないようにしている ✓ゴミ削減ではなく、食べ物を大事にしている 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓必要以外買わないようには ✓スーパーで食材を購入するとパッケージ材のゴミは増えてしまう ✓食べ残しがでてしまう
<ul style="list-style-type: none"> ✓必要な分だけ買い、残さない食生活に心がけている ✓子供の頃から生理的に食べ物は無駄にできません ✓家族全体で食べ残しを出さないよう注意している 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ごみはつつい出してしまう ✓もらいものを処理きれいな時がある
<ul style="list-style-type: none"> ✓食品ロスがない生活をしている。可燃ごみは月に一度出すようにしている ✓そんなことは絶対にしない心構えであります ✓グローバル・サウスなどの問題を念頭に食べ物を大事に扱っています 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓多目の買い物をしてしまい、無駄になり捨てるものが多い ✓ごみは、多い
<ul style="list-style-type: none"> ✓気を付けている ✓常に心掛けている 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓あまり、気を付けていない

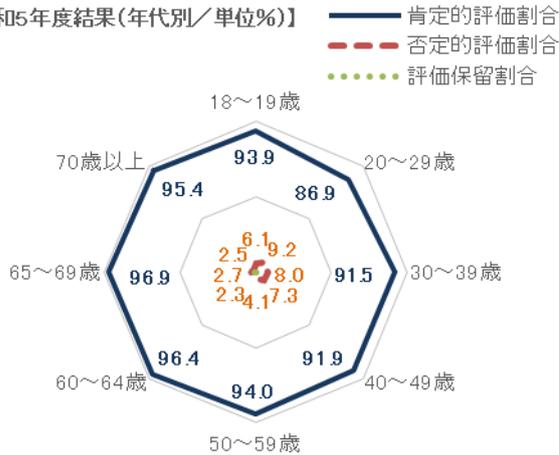
【施策コード／施策名】 3-1-2 循環型社会の実現		【担当部局】 環境部																																														
【区分】	【指標名】																																															
○	マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>77.5%</td> <td>75.5%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>21.0%</td> <td>22.1%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>0.8%</td> <td>0.9%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	77.5%	75.5%	否定的評価割合	21.0%	22.1%	評価保留割合	0.8%	0.9%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>76.0% </td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td>76.5%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)				76.0%	平均値 (R4~R5)		76.5%																								
	R4	R5																																														
肯定的評価割合	77.5%	75.5%																																														
否定的評価割合	21.0%	22.1%																																														
評価保留割合	0.8%	0.9%																																														
現状値 (R3)	目標 (R9)																																															
		76.0%																																														
平均値 (R4~R5)		76.5%																																														
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</caption> <thead> <tr> <th>年代別</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18~19歳</td><td>63.7</td><td>33.4</td><td></td></tr> <tr><td>20~29歳</td><td>64.6</td><td>32.3</td><td></td></tr> <tr><td>30~39歳</td><td>74.0</td><td>25.0</td><td></td></tr> <tr><td>40~49歳</td><td>68.1</td><td>30.6</td><td></td></tr> <tr><td>50~59歳</td><td>77.5</td><td>20.5</td><td></td></tr> <tr><td>60~64歳</td><td>83.2</td><td>14.5</td><td></td></tr> <tr><td>65~69歳</td><td>77.3</td><td>21.5</td><td></td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>77.8</td><td>18.5</td><td></td></tr> </tbody> </table>		年代別	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18~19歳	63.7	33.4		20~29歳	64.6	32.3		30~39歳	74.0	25.0		40~49歳	68.1	30.6		50~59歳	77.5	20.5		60~64歳	83.2	14.5		65~69歳	77.3	21.5		70歳以上	77.8	18.5		<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>【肯定的回答割合の推移】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニタ(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>77.5%</td> <td>80.3%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>75.5%</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	肯定的評価割合	モニタ(参考)	R4	77.5%	80.3%	R5	75.5%	80.0%
年代別	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																													
18~19歳	63.7	33.4																																														
20~29歳	64.6	32.3																																														
30~39歳	74.0	25.0																																														
40~49歳	68.1	30.6																																														
50~59歳	77.5	20.5																																														
60~64歳	83.2	14.5																																														
65~69歳	77.3	21.5																																														
70歳以上	77.8	18.5																																														
年度	肯定的評価割合	モニタ(参考)																																														
R4	77.5%	80.3%																																														
R5	75.5%	80.0%																																														
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																													
<ul style="list-style-type: none"> ✓お得だし、環境にもよいから ✓必要な時だけしかもらわない ✓水筒を持ち歩いている ✓マイボトルを使っている ✓自分の水筒や弁当箱を使っている 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓具体的な活動はしていない 																																													
<ul style="list-style-type: none"> ✓家内でも1人1本マイボトル生活している。いらぬものはタダでも貰わない ✓リユースを心がけている ✓節約のため。ごみを増やさないため意識している ✓ゴミの削減のために、そういったものはもらわない ✓ストロー、スプーンはもらわない ✓コンビニなどでは使い捨てのものはもらわないようにしている ✓基本的には水筒持参 		20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓プラスチックの方が便利だから ✓エコバッグは持ち歩いています但しその他のものは貰えるなら貰っています 																																													
<ul style="list-style-type: none"> ✓職場には水筒を持参している ✓ゴミを家に持ち込まないようにしている ✓不要なものは受け取らない・使ったらすぐ捨てるようなものはもらわない 		30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓使うときは使う ✓出来るときにはやるが積極的にはできていない ✓自分で飲料を用意するのがどうしても面倒で、ペットボトル飲料のお世話になっている 																																													
<ul style="list-style-type: none"> ✓マイボトルは必ず携帯している。ゴミが増えるため、コンビニ等では貰わない事を徹底している ✓外でペットボトル飲料は買わず、水筒を持っていく ✓店頭ではいつも断っている ✓マイバッグで出かけている ✓使い捨てプラは受け取らない。しかしトレイなどのプラ容器類は避けられない 		40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓マイボトル使用だが、プラスチック削減に取り組んでいないから ✓エコバッグは携帯するようにしている。水筒は、中の水がいたむことで胃腸の調子を崩しやすいため持参しない。 ✓過剰包装は見直すべきだが、スプーンやストロー等へのコンビニの取り組みは偽善に過ぎない 																																													
		50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓これについては思うところがあるから ✓環境問題は関心があるけれどストローや割りばしなど生産している事業者の事を考えると悩みます 																																													
		60~69歳																																														
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓何もないときにはもらっている 																																													

【区分】	【指標名】
○	ごみの分別を徹底している

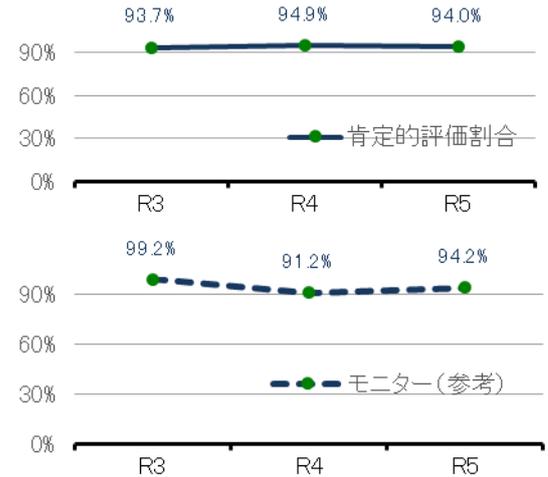
	R4	R5
肯定的評価割合	94.9%	94.0%
否定的評価割合	4.1%	4.3%
評価保留割合	0.4%	0.5%

現状値 (R3)	目標 (R9)	93.7%	➡
平均値 (R4～R5)		94.1%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓ 分別を心がけている
- ✓ ゴミを正しく捨てないと、業者の人に迷惑だから
- ✓ 分別をしっかりしている
- ✓ 徹底しています
- ✓ 汚れたプラごみの捨て方がわからないときはとりあえず燃えるごみにしてしまっているから
- ✓ 細かく分別している
- ✓ 当たり前のことです
- ✓ リサイクル可能なものは分けている
- ✓ 子供に教える意味でも、ごみの分別は徹底している。また、ゴミを回収して下さる方に迷惑をかけたためにも。
- ✓ 分別は慣れている
- ✓ 法令に沿ってストローの袋はリサイクルしてストローは可燃ゴミとする判断をしているのは行政の愚の骨頂であり、理に叶った対応を求める
- ✓ あちこち転勤したが長野市の分別はやりやすい
- ✓ 分別は徹底して行っている
- ✓ いつも意識して実行している
- ✓ ダンボール、古紙、ペットボトルはスーパーの回収ボックスへ
- ✓ 分別をした上で、集積所に出している
- ✓ ごみの分別については徹底して行っているつもりである
- ✓ 地域にはごみ焼却場があり、地域としても分別はできていると思う

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓ 自分は細かく分けているが家族が全部燃えるゴミに入れてしまうので徹底できていません
- ✓ できる時はするが、あまり気にしていない
- ✓ 私自身はゴミの分別を徹底しているが家族が積極的ではなく困っている。家族の出したゴミを再分別するのも大変なので可燃ごみで出してしまうことが多い。
- ✓ 1人がやっても時間の無駄
- ✓ 完全ではない
- ✓ ゴミ分別表にないものがあるととても困ります

【施策コード／施策名】 3-2-1 豊かな自然環境の保全		【担当部局】 環境部																																																	
【区分】	【指標名】																																																		
●	豊かな自然環境が保たれている																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>71.6%</td> <td>70.9%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>21.0%</td> <td>21.9%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>5.4%</td> <td>5.4%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	71.6%	70.9%	否定的評価割合	21.0%	21.9%	評価保留割合	5.4%	5.4%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>70.4%</th> <th>➡</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">71.3%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)	70.4%	➡	平均値 (R4~R5)		71.3%																													
	R4	R5																																																	
肯定的評価割合	71.6%	70.9%																																																	
否定的評価割合	21.0%	21.9%																																																	
評価保留割合	5.4%	5.4%																																																	
現状値 (R3)	目標 (R9)	70.4%	➡																																																
平均値 (R4~R5)		71.3%																																																	
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</caption> <thead> <tr> <th>年代別</th> <th>肯定的評価割合 (%)</th> <th>否定的評価割合 (%)</th> <th>評価保留割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18~19歳</td><td>81.8</td><td>6.0</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>20~29歳</td><td>82.3</td><td>6.0</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>30~39歳</td><td>78.0</td><td>16.0</td><td>20.5</td></tr> <tr><td>40~49歳</td><td>74.2</td><td>19.4</td><td>21.4</td></tr> <tr><td>50~59歳</td><td>75.0</td><td>19.4</td><td>21.4</td></tr> <tr><td>60~64歳</td><td>72.3</td><td>21.4</td><td>21.4</td></tr> <tr><td>65~69歳</td><td>64.6</td><td>30.4</td><td>25.6</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>64.9</td><td>25.6</td><td>25.6</td></tr> </tbody> </table>		年代別	肯定的評価割合 (%)	否定的評価割合 (%)	評価保留割合 (%)	18~19歳	81.8	6.0	3.0	20~29歳	82.3	6.0	3.0	30~39歳	78.0	16.0	20.5	40~49歳	74.2	19.4	21.4	50~59歳	75.0	19.4	21.4	60~64歳	72.3	21.4	21.4	65~69歳	64.6	30.4	25.6	70歳以上	64.9	25.6	25.6	<p>【肯定的回答割合肯定合の推移】</p> <table border="1"> <caption>【肯定的回答割合肯定合の推移】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合 (%)</th> <th>モニター(参考) (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R3</td><td>70.4%</td><td>76.2%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>71.8%</td><td>72.0%</td></tr> <tr><td>R5</td><td>70.9%</td><td>72.8%</td></tr> </tbody> </table>		年度	肯定的評価割合 (%)	モニター(参考) (%)	R3	70.4%	76.2%	R4	71.8%	72.0%	R5	70.9%	72.8%
年代別	肯定的評価割合 (%)	否定的評価割合 (%)	評価保留割合 (%)																																																
18~19歳	81.8	6.0	3.0																																																
20~29歳	82.3	6.0	3.0																																																
30~39歳	78.0	16.0	20.5																																																
40~49歳	74.2	19.4	21.4																																																
50~59歳	75.0	19.4	21.4																																																
60~64歳	72.3	21.4	21.4																																																
65~69歳	64.6	30.4	25.6																																																
70歳以上	64.9	25.6	25.6																																																
年度	肯定的評価割合 (%)	モニター(参考) (%)																																																	
R3	70.4%	76.2%																																																	
R4	71.8%	72.0%																																																	
R5	70.9%	72.8%																																																	
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野は自然豊かで有名だと思うから ✓綺麗な空気を吸えているから ✓四季折々の自然や動植物に気軽に触れられるから ✓住みやすいから 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓耕作放棄地や管理がいきどどいていない山がある 																																																
<ul style="list-style-type: none"> ✓合併により自然率が高い ✓季節問わず子どもを自然に触れさせる機会があり良いです ✓山に近い場所は変わらない風景です 		20~29歳																																																	
<ul style="list-style-type: none"> ✓周りが山でそのまま保たれている ✓山に囲まれて緑の多い地域であると思う ✓公園、車道など植樹、手入れがされている 		30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ソーラー畑で自然破壊。全然エコじゃない ✓休耕地が増えているので山間部との境界が無くなるのではないかと不安 																																																
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野は自然環境がすごく良いと思う ✓自然景観は守っていると感じています ✓豊かすぎてシカやイノシシなどの獣害が年々増えている気がする 		40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓沢山マンションが建ち始め、環境がかわってる ✓整備などが大変かもしれないが街路樹が少ないと思う 																																																
<ul style="list-style-type: none"> ✓毎年定期的に道路沿いの清掃など自治会としての活動があり、周囲の自然環境は良く整備されていると思います。 ✓やはり緑が多いと思う ✓四季は素晴らしい 		50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓長野市も広域ですが、市街地は保たれているとはいいたいと思います。また、山間地も森林保全等の取組みがなされている等を耳にしないため。 ✓空き地の雑草を覆うシートは、あまり豊かなやりかたではないと思う 																																																
<ul style="list-style-type: none"> ✓街路樹も綺麗だし、善光寺の参道も綺麗になった ✓どの程度を豊かというかわからないが、長野市の立地とすればまずまずかな 		60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓住宅、マンション等ばかりでありあまりそう思わない ✓近くに公園があるが自然環境が保たれているとは思わない ✓国道や幹線道路の整備等もっと綺麗に手入れして欲しい 																																																
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓平地は緑が少ないと感じる 																																																

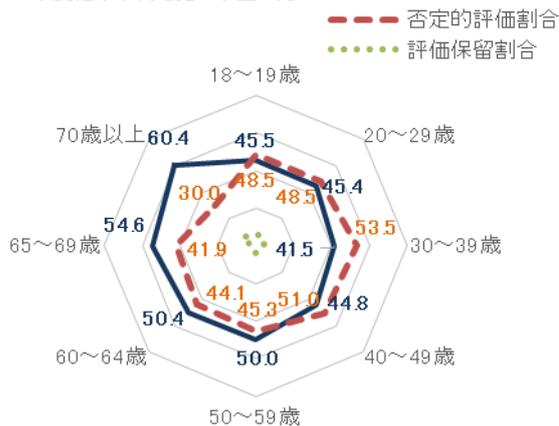
【施策コード／施策名】 3-2-1 豊かな自然環境の保全	【担当部署】 環境部
---------------------------------	---------------

【区分】	【指標名】
○	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている

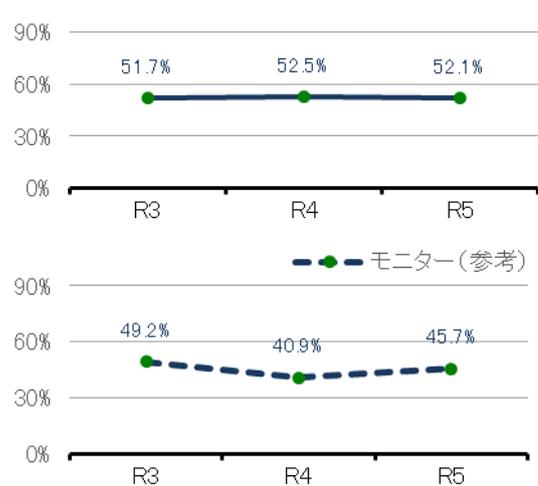
	R4	R5
肯定的評価割合	52.5%	52.1%
否定的評価割合	41.4%	41.6%
評価保留割合	5.1%	4.8%

現状値 (R3)	目標 (R9)	51.7%	
平均値 (R4~R5)		52.3%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



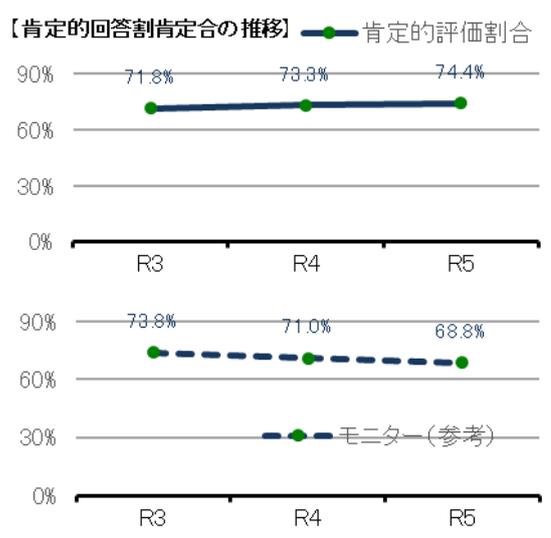
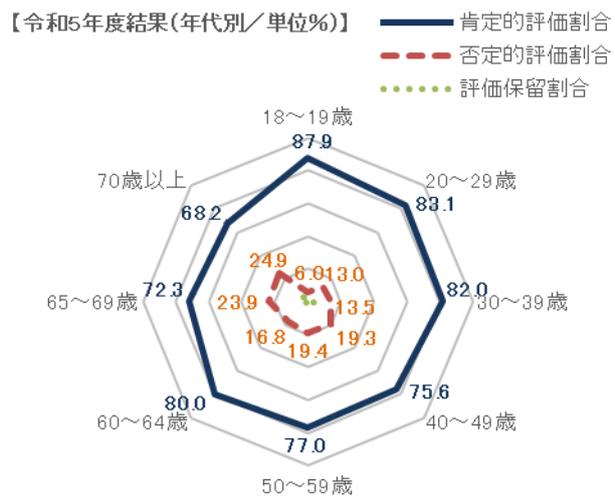
【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓自然を大切にしている ✓自然が好きだから ✓去年、探求学習でそういうプロジェクトをやったから 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓自宅の庭で春夏秋冬それぞれの自然や動植物に触れあえるので子供達の学びの場になっていると感じる 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓意識していないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓書籍も読んでる ✓アウトドア好き 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に意識していない ✓自然より便利・手軽を取りたい
<ul style="list-style-type: none"> ✓緑の多い地域なので、子供と出かけた際にも自然の良さを感じさせるようにしている ✓学習はしていないかもしれないが心掛けている ✓子供に植物の説明をしています ✓行事ごとは、なるべくするようにしています 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓興味がない ✓学ぶ機会がない ✓意識した暮らしはしていなかった
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野市内では取り組んでいませんが、別の市町村の取組みに参加しています ✓自然は触れ合っているが保全を意識した暮らしは特にしていない ✓温暖化が心配なので、自然を守っていききたいと思う 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓学ぶ機会に参加していない ✓興味がない ✓自然について学ぶ機会がない
<ul style="list-style-type: none"> ✓自然環境あり ✓家庭菜園並みの規模だが、天気の良い日の畑は実に気持ちが晴れる ✓地元の大学の公開講座などで勉強しています 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓日常の生活環境では得られない ✓特に自然を意識した生活はしていない ✓現在、自然について学ぶことはない
<ul style="list-style-type: none"> ✓自然について学び合える場所が必要だと思う ✓山歩きなど、一緒に自然を楽しむ仲間がいる ✓野菜や花作りに楽しんでいる 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓足の不自由さもあり、自然豊かな所へ出向くことは不可能だが、保全には協力できる

●	【区分】 【指標名】 空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている
---	--------------------------------------

	R4	R5		
肯定的評価割合	73.3%	74.4%	現状値 (R3)	71.8% ➡
否定的評価割合	21.6%	20.3%	目標 (R9)	
評価保留割合	3.2%	3.4%	平均値 (R4～R5)	73.9%



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓ゴミが落ちているとかも少ないと思うから	19歳以下	
✓いつも綺麗な街だから		
✓空気と水が本当に美味しいから	20～29歳	
✓犀川が澄んでいて青色で綺麗だと感じたから		
✓綺麗な街だと思います	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓騒音などがあり、安心して休めない ✓街中は排気ガスがすごいと思う ✓ポイ捨てがある
✓水道水が飲めたり、歩いてもごみが散乱していることなどが無い。道の清掃活動をしている企業があったりと、良いことだなと思う		
✓水道水をゴクゴク飲む		
✓街にゴミが落ちている事が少なく、通報により即対応してくれる		
✓空気や水がきれいだと思う。町に関しては、時々ゴミが落ちているのが気になる	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓水道水は飲めない ✓ポイ捨て、屋外での喫煙について条例で規制すべき ✓街が美しく保たれているところに疑問を感じる。特に歩道に雑草が多い
✓空気も水もおいしいと感じるため		
✓空気・水がきれいなので野菜、果物がおいしい	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ゴミを持ち帰らない人がいる ✓夏場の草刈りは他自治体よりタイミングが遅く感じます。観光客が多く来る時期は早めに主要道路だけでもやってほしいです
✓桐原は新しい住宅街のせいかキレイ		
✓路上のゴミも少なく住みやすい綺麗なまちだと思います		
✓下水道が普及して河川が浄化されたから	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓市内や病院の周辺道路を歩いていると、下水特有の悪臭があり、衛生面が悪い。水が流れていない。 ✓不法投棄ごみが、多い
✓水、空気、町の景観の美しさは長野市の大きな長所だと思います		
✓車が多いとはいえ空気はきれいとおもうし、川も汚れていない		
✓地区として一斉清掃を行っている	70歳以上	
✓長野から自然と空気・水を無くしたら何も残らない		
✓問題ないと思う		

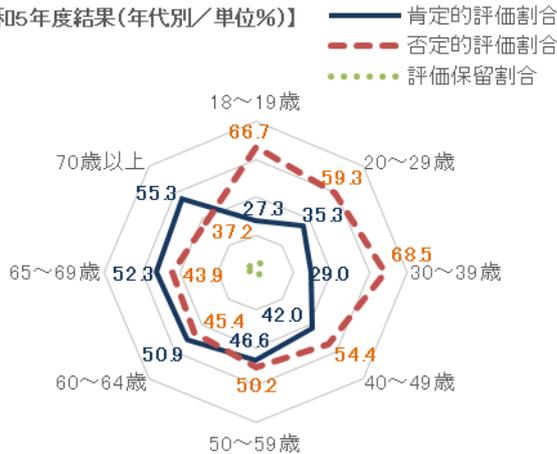
【施策コード／施策名】 3-2-2 良好で快適な環境の保全と創造	【担当部局】 環境部
-------------------------------------	---------------

【区分】	【指標名】
○	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している

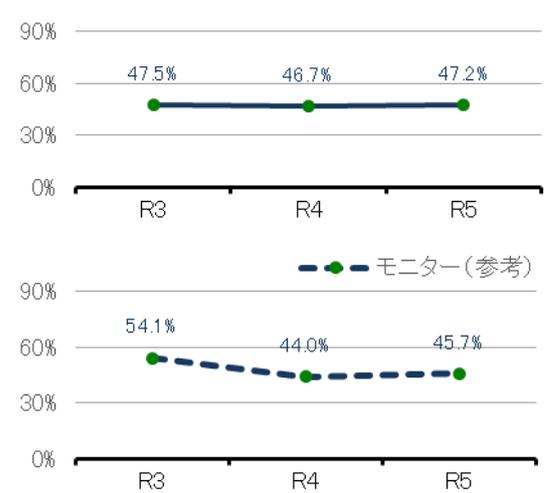
	R4	R5
肯定的評価割合	46.7%	47.2%
否定的評価割合	48.7%	47.8%
評価保留割合	3.6%	3.3%

現状値 (R3)	目標 (R9)	47.5%	↗
平均値 (R4~R5)		47.0%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓参加していない ✓地域でやっている活動が学生である私の耳には入ってこないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓地区の定期掃除にはでている ✓家の周りのゴミ拾いくらいはするから 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓長野県でそういった取り組みがあるのか知らないから ✓参加した事がない
<ul style="list-style-type: none"> ✓地区の清掃活動のほか、散歩中のごみ拾いもしている ✓参加しています ✓地域のごみ拾いや草取りに参加している 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓そんな行事があることを知らない。回覧板回ってこないし ✓参加したことがない ✓会社でやる程度でプライベートではしていない
<ul style="list-style-type: none"> ✓自治会の掃除に参加している ✓地区の掃除には参加している 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓活動や取組をしている事が周りに無く参加していない ✓ゴミ拾いや堰掘り等の行事があるが、区役員が中心に行っているので参加したことがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓地区のゴミゼロへゴミ拾いの参加 ✓ゴミ拾い、区主催の清掃活動に参加 ✓そのような行事がある時は参加している ✓地域の掃除はきちんと参加している 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓専門の人が出ているので自分はいかない ✓何をしたらよいかわからないので実施していません ✓隣組活動へ参加していない
<ul style="list-style-type: none"> ✓神、プラ、缶などすべて資源に出している ✓地域の清掃活動程度 ✓道路にごみが落ちていれば進んで拾っています ✓自宅の庭の管理には気をつけている。自治会の清掃には家族が参加している 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域活動をしていないので ✓参加していない ✓時間がない
<ul style="list-style-type: none"> ✓参加している ✓当地区では全戸参加の一斉清掃を定期的に行っている 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の環境美化活動などに現在ではできないが、良好な生活環境を保つよう努めている

【施策コード／施策名】 4-1-1 防災・減災対策の推進		【担当部局】 総務部																					
【区分】	【指標名】																						
●	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>35.6%</td> <td>30.4%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>41.2%</td> <td>43.1%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>21.2%</td> <td>24.4%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	35.6%	30.4%	否定的評価割合	41.2%	43.1%	評価保留割合	21.2%	24.4%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>34.2%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4～R5)</td> <td colspan="2">33.0%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	34.2%		平均値 (R4～R5)		33.0%		
	R4	R5																					
肯定的評価割合	35.6%	30.4%																					
否定的評価割合	41.2%	43.1%																					
評価保留割合	21.2%	24.4%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	34.2%																					
平均値 (R4～R5)		33.0%																					
【令和5年度結果(年代別/単位%)】		【肯定的回答割合の推移】																					
【モニター-の主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニター-の主な否定的意見】																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野県も台風で大きな被害を受けたので、意識が向いていると思うか ✓対策は進んでいると感じる ✓川の氾濫の堤防上げをしているのをみたから ✓無料耐震診断が行われている 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓あまり考えてない ✓工夫点がどこなのか聞いたことがない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓防災無線など整備されているから ✓長野市防災ナビアプリがあるから ✓近所の堤防が改修されたので ✓家と家の距離が保たれている地域が多く、道も広いし、避難場所もたくさんあるので安心 ✓堤防の整備をしており、備えていることを実感しているため 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓長沼地区の被災を受けた教訓はあると思うが、場所が変わって同じ規模の災害が起きたら同じことが起きると思う 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓防災無線など整備されているから ✓長野市防災ナビアプリがあるから ✓近所の堤防が改修されたので ✓家と家の距離が保たれている地域が多く、道も広いし、避難場所もたくさんあるので安心 ✓堤防の整備をしており、備えていることを実感しているため 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の防災がどの様になっているかわからない ✓個人の努力に頼っているように感じる ✓令和元年の台風の時の対応を見ていると体制が整っているとは全く感じられない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓どこをみても整備が進んでいる ✓ハザードマップが毎年配布されている ✓新耐震基準に合う新しい住宅が増えてきた一方で、耐震性が低そうな古い住宅が依然として多い ✓防災倉庫、備蓄品が支所に保管されているため ✓防災施設が多い ✓過去の例でもそう思います。長野市以外他県などの災害の反省点や改善点を教訓に長野市でも常に準備や体制をアップデートして欲しい 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓古い建物が多いから ✓1部地域だけにかぎる ✓川の設備が不十分 ✓避難施設は少ない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓自分自身で対策は取っている ✓家の外に不用品を置かないようにし、停電時困らないように懐中電灯、飲み水缶詰等の準備をしている ✓運動公園に新しい施設が完成。十分な物資を保管して欲しい 	50～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓とにかく情報が乏しいです ✓災害への備えは弱いと思います。地震もないだろうし、と危機感を持たない声を近隣住民から聞くため。 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓自分自身で対策は取っている ✓家の外に不用品を置かないようにし、停電時困らないように懐中電灯、飲み水缶詰等の準備をしている ✓運動公園に新しい施設が完成。十分な物資を保管して欲しい 	65～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓高齢者の避難場所が、近くにない ✓19号の台風以来やはり大雨とかになると不安になる 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓自分自身で対策は取っている ✓家の外に不用品を置かないようにし、停電時困らないように懐中電灯、飲み水缶詰等の準備をしている ✓運動公園に新しい施設が完成。十分な物資を保管して欲しい 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓防災訓練等は行われているが、実効性は疑問 ✓訓練は年に数回しなければ意味がない。それが1～2回程度では困難なこと。全住民が参加は困難 																					

【施策コード／施策名】 4-1-2 消防力の充実・強化及び火災予防		【担当部局】 消防局																																																	
【区分】	【指標名】																																																		
●	消防や救急体制が十分に整っている																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>63.1%</td> <td>61.0%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>20.6%</td> <td>22.8%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>14.6%</td> <td>14.5%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	63.1%	61.0%	否定的評価割合	20.6%	22.8%	評価保留割合	14.6%	14.5%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>60.4%</th> <th>↑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">62.1%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)	60.4%	↑	平均値 (R4~R5)		62.1%																													
	R4	R5																																																	
肯定的評価割合	63.1%	61.0%																																																	
否定的評価割合	20.6%	22.8%																																																	
評価保留割合	14.6%	14.5%																																																	
現状値 (R3)	目標 (R9)	60.4%	↑																																																
平均値 (R4~R5)		62.1%																																																	
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>年代別評価割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18~19歳</td><td>57.5</td><td>18.2</td><td>24.3</td></tr> <tr><td>20~29歳</td><td>66.1</td><td>16.9</td><td>17.0</td></tr> <tr><td>30~39歳</td><td>58.0</td><td>23.5</td><td>18.5</td></tr> <tr><td>40~49歳</td><td>61.0</td><td>24.9</td><td>14.1</td></tr> <tr><td>50~59歳</td><td>59.4</td><td>23.6</td><td>17.0</td></tr> <tr><td>60~64歳</td><td>58.6</td><td>28.7</td><td>12.7</td></tr> <tr><td>65~69歳</td><td>61.1</td><td>26.2</td><td>12.7</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>63.0</td><td>19.5</td><td>17.5</td></tr> </tbody> </table>		年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18~19歳	57.5	18.2	24.3	20~29歳	66.1	16.9	17.0	30~39歳	58.0	23.5	18.5	40~49歳	61.0	24.9	14.1	50~59歳	59.4	23.6	17.0	60~64歳	58.6	28.7	12.7	65~69歳	61.1	26.2	12.7	70歳以上	63.0	19.5	17.5	<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>肯定的回答割合の推移 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R3</td><td>60.4%</td><td>69.7%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>63.1%</td><td>61.1%</td></tr> <tr><td>R5</td><td>61.0%</td><td>64.7%</td></tr> </tbody> </table>		年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	R3	60.4%	69.7%	R4	63.1%	61.1%	R5	61.0%	64.7%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																
18~19歳	57.5	18.2	24.3																																																
20~29歳	66.1	16.9	17.0																																																
30~39歳	58.0	23.5	18.5																																																
40~49歳	61.0	24.9	14.1																																																
50~59歳	59.4	23.6	17.0																																																
60~64歳	58.6	28.7	12.7																																																
65~69歳	61.1	26.2	12.7																																																
70歳以上	63.0	19.5	17.5																																																
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																	
R3	60.4%	69.7%																																																	
R4	63.1%	61.1%																																																	
R5	61.0%	64.7%																																																	
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																
<ul style="list-style-type: none"> ✓要請してからの到着が早い ✓よく救急車が見回りしているのを見るから 		19歳以下																																																	
<ul style="list-style-type: none"> ✓色んなところで救急車を見るから ✓中心部に消防署があるから 		20~29歳	✓飛んでくるまでに時間がかかりそう																																																
<ul style="list-style-type: none"> ✓昨年救急車にお世話になり、迅速な対応に本当にありがたく感じました ✓職場の方で急病人が出た時に119通報するとすぐ来てくれます、感謝でしかないです ✓いつも呼んでいる側ですが大変かも助かっています 		30~39歳	✓救急車が出払っているとわれ待たされたことがある																																																
<ul style="list-style-type: none"> ✓中核病院が多い ✓ほぼ呼ぶことはないが、呼んだら来てくれるから ✓救急車を利用した際そう思った ✓限られた予算で尽力されていると思う ✓消防署が多いと思うから 		40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓他の地域よりも優先順位が低いと感じた ✓日赤奉仕団もいるが、形だけなのかな？あまり実感がない 																																																
<ul style="list-style-type: none"> ✓消防・救急・救助体制の充実 ✓よく救急車を見るから ✓緊急車両の到着が遅いなど聞いたことはない 		50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓道が狭くて消防車が入れないと思う ✓消防団員が減っている 																																																
<ul style="list-style-type: none"> ✓効率よく配置されていると思うので ✓呼べば必ず来てくれるであろうと思われる ✓広域消防で、協力できる体制は整っていると思う 		60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓高齢化が、進んでいる ✓市街地内は整っているが、中山間地域は難しいのではないかと ✓連絡をすれば来てくれる感覚しかない 																																																
<ul style="list-style-type: none"> ✓近くに消防署があるのが安心感 ✓体制は素晴らしい ✓比較できないが、消防職員はよくやっていると 		70歳以上																																																	

【施策コード／施策名】 4-1-2 消防力の充実・強化及び火災予防		【担当部局】 消防局																					
【区分】	【指標名】																						
○	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>31.7%</td> <td>32.0%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>65.5%</td> <td>65.0%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>1.8%</td> <td>1.4%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	31.7%	32.0%	否定的評価割合	65.5%	65.0%	評価保留割合	1.8%	1.4%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>33.3%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4～R5)</td> <td colspan="2">31.9%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)	33.3%		平均値 (R4～R5)		31.9%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	31.7%	32.0%																					
否定的評価割合	65.5%	65.0%																					
評価保留割合	1.8%	1.4%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	33.3%																					
平均値 (R4～R5)		31.9%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>18～19歳: 75.7% (positive), 63.0% (negative) 20～29歳: 34.6% (positive), 76.5% (negative) 30～39歳: 23.0% (positive), 28.8% (negative) 40～49歳: 69.5% (positive), 63.7% (negative) 50～59歳: 34.5% (positive), 35.0% (negative) 60～64歳: 63.2% (positive), 59.3% (negative) 65～69歳: 37.3% (positive), 32.0% (negative) 70歳以上: 32.0% (positive), 63.0% (negative)</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p>																					
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 昔の職場で学んだことがある ✓ 仕事で必要だから ✓ 職場で年1で研修があります ✓ 働くには必須項目だから ✓ 仕事で講習会があり学んだ 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 運転免許を取るときにしか勉強したことがない ✓ 講習会をやっているのを知らないため、参加したことがない 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 福祉従事者なので 勉強というより 日々使用しています ✓ 会社や学校で機会があるときは、講習会に参加している 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 機会がなかった ✓ 参加したことがない 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 何度かやりました ✓ 講習は受けませんが、そのような内容の情報はしっかり見る ✓ したことがある 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 機会がない ✓ 昔学んで、それっきり ✓ 講習会などは参加していない 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 応急手当講習会参加に心がけている ✓ 職場で毎年ある ✓ 昨年消防署の講習を受けました、十分とは言えませんが 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 必要だとは感じるが講習会に行くのはハードルが高い ✓ 受けていないから 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 講習は受けた。ただし定期的にやらないと忘れる ✓ 応急処置はできるようにしておきたいという願いのため 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 勉強したいがなかなか機会を得られない ✓ 興味があるが 市報にある消防の講習会は平日で人数も少数なので申込しにくい ✓ 講習会への不参加 																				
		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 該当の講習会がいつ開催されているのかが分かりません ✓ PTAがあった時はしてたが、今はない ✓ 機会がない 																				
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 過去そのような機会に恵まれた時にしか受講していない ✓ 時間が無い ✓ 若いときは職場で参加したが、今は勉強していない 																				

【施策コード／施策名】 4-2-1 交通安全対策の推進	【担当部局】 地域・市民生活部
--------------------------------	--------------------

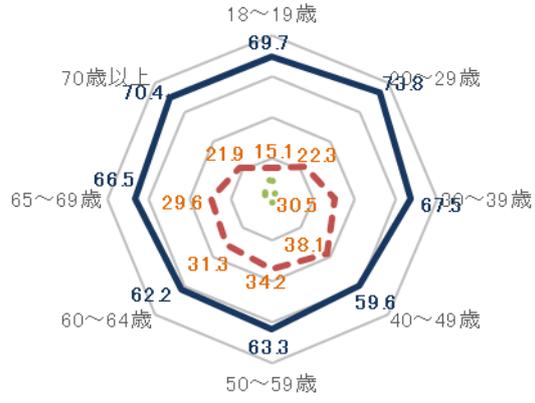
【区分】	【指標名】
●	交通マナーが良い地域である

	R4	R5
肯定的評価割合	60.2%	65.9%
否定的評価割合	34.8%	29.1%
評価保留割合	3.2%	3.0%

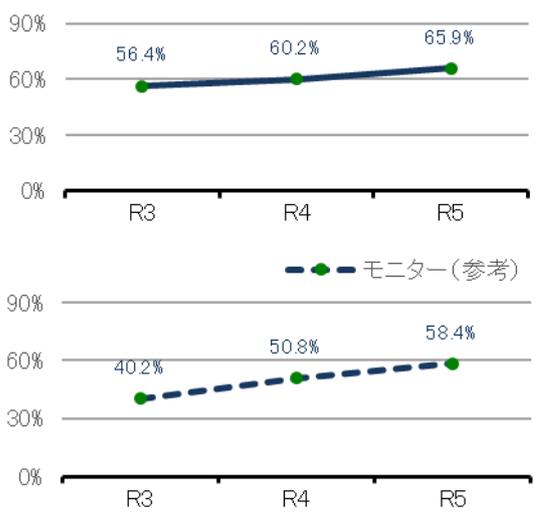
現状値 (R3)	目標 (R9)	56.4%	↗
平均値 (R4~R5)		63.1%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



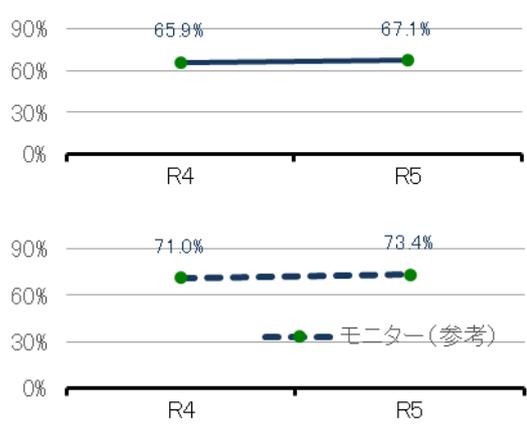
【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 煽り運転をされたことがないから ✓ 信号がなくても車が止まってくれる 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 横断歩道でちゃんと車がとまってくれるからです ✓ 緊急車両が来た時に皆すぐに路肩に寄ったのを見て、感動したから 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 信号が変わっても無理に直進してくる車が多いから ✓ 危険
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 信号機のない横断歩道で止まってくれることが他県よりかなり多い。車で走っている時も、脇道から合流したい時に入れてくれる車が多い。 ✓ 横断歩道で必ずとんでもないほど止まってくれます、安心して渡ることが出来ます。逆に自分も止まってあげたい、横道から来た車を入れてあげたい、そんな気持ちになります 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 交通量が多くてイライラしている運転手が多い ✓ ウィンカーを出さないまたは出すのが遅い車がおおいため ✓ 高齢者の運転がひどい。信号無視や無理やり入ってくるが多すぎる ✓ バイクなどの騒音がうるさい
<ul style="list-style-type: none"> ✓ わりと譲り合いのできる地域だと思う ✓ 松本よりはるかにマナーを守る人が多いから 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 信号無視、割り込み、煽り運転がひどい ✓ 決してマナーはよくない。全国的なイメージとは実態は大きく離れている ✓ 高齢者の恐ろしい運転が多い。後大きな車の方のマナーが悪い
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 横断歩道は必ず止まってくれる人が多い ✓ 他市と比べても横断歩道しっかり止まってくれるし助かります 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事故にあいそうなことは日常的にある 車の運転が荒い ✓ 信号を守らない。思いやりのある運転とは感じない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 県外に行ったとき全国一だと実感したから ✓ 学校区などでのスピードや歩道前などの運転には気を遣っている様に思う 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 私は基本的に外出は歩きますが、信号機のない横断歩道では自動車がほとんど停止しません。良く買い物カートを引いた高齢者の方が横断できなくて困っている場面に遭遇します。更にここ一年、横断歩道が青信号にも拘らず、車が停止せず危うくひかれそうになった事が2回ありました。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 一時停止日本一 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分勝手な運転や歩行・自転車乗りが目立つ

【施策コード／施策名】 4-2-1 交通安全対策の推進		【担当部局】 地域・市民生活部																																																	
【区分】	【指標名】																																																		
○	自転車の交通ルールやマナーを意識している																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>77.8%</td> <td>75.4%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>17.7%</td> <td>19.0%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>3.7%</td> <td>4.0%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	77.8%	75.4%	否定的評価割合	17.7%	19.0%	評価保留割合	3.7%	4.0%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>91.2%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">76.6%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	91.2%		平均値 (R4~R5)		76.6%																													
	R4	R5																																																	
肯定的評価割合	77.8%	75.4%																																																	
否定的評価割合	17.7%	19.0%																																																	
評価保留割合	3.7%	4.0%																																																	
現状値 (R3)	目標 (R9)	91.2%																																																	
平均値 (R4~R5)		76.6%																																																	
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</caption> <thead> <tr> <th>年代別</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18~19歳</td><td>84.9</td><td>15.2</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>20~29歳</td><td>85.4</td><td>10.8</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>30~39歳</td><td>77.5</td><td>19.5</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>40~49歳</td><td>77.6</td><td>18.2</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>50~59歳</td><td>77.3</td><td>18.9</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>60~64歳</td><td>76.4</td><td>18.7</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>65~69歳</td><td>76.9</td><td>18.4</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>70.2</td><td>21.1</td><td>0.0</td></tr> </tbody> </table>		年代別	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18~19歳	84.9	15.2	0.0	20~29歳	85.4	10.8	0.0	30~39歳	77.5	19.5	0.0	40~49歳	77.6	18.2	0.0	50~59歳	77.3	18.9	0.0	60~64歳	76.4	18.7	0.0	65~69歳	76.9	18.4	0.0	70歳以上	70.2	21.1	0.0	<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>【肯定的回答割合の推移】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R3</td><td>91.2%</td><td>94.3%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>77.8%</td><td>73.6%</td></tr> <tr><td>R5</td><td>75.4%</td><td>68.2%</td></tr> </tbody> </table>		年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	R3	91.2%	94.3%	R4	77.8%	73.6%	R5	75.4%	68.2%
年代別	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																
18~19歳	84.9	15.2	0.0																																																
20~29歳	85.4	10.8	0.0																																																
30~39歳	77.5	19.5	0.0																																																
40~49歳	77.6	18.2	0.0																																																
50~59歳	77.3	18.9	0.0																																																
60~64歳	76.4	18.7	0.0																																																
65~69歳	76.9	18.4	0.0																																																
70歳以上	70.2	21.1	0.0																																																
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																	
R3	91.2%	94.3%																																																	
R4	77.8%	73.6%																																																	
R5	75.4%	68.2%																																																	
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																
<ul style="list-style-type: none"> ✓ちゃんと守っている ✓スムーズに登校するため ✓轢かれたくないから ✓安全運転をしている ✓自分の身を守るため 		19歳以下																																																	
<ul style="list-style-type: none"> ✓訴訟で勝てるように走ってる。自転車用のドラレコを取り入れようかと思ってる ✓自分が車を運転中に危険な自転車が気になるので、自分が自転車に乗る時は気を付けている ✓子供も自転車を利用しているので、マナーやルールを教える意味で意識している ✓子ども二人が自転車通学であるため、交通ルールや交通安全については気にしている ✓自転車でも重大事故につながる加害者になってしまうこともあるので、そこは意識して乗っています ✓小、中、高からの意識が大人になって役立つのではないのでしょうか ✓自分も歳を重ねているので、過信せず無理せずの運転を心がけています ✓かなり意識している 		20~29歳	✓自転車を持っていない																																																
<ul style="list-style-type: none"> ✓自身が乗ることは少ないが、見て危険なケースは強く意識する ✓自分は車しか運転しないが、道路で遭遇したときに気をつけている ✓左側通行、一時停止、歩行者優先等最小限のマナー、ルールは守っている 		30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓自転車に乗らない為 ✓自転車を所有していない ✓のらない 																																																
		40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓自転車には乗らない ✓長年 乗っていない 																																																
		50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓自転車に乗らない ✓子供がじきに自転車に乗るようになるのでとても関心はある ✓最近乗らないので、ヘルメットがない 																																																
		60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓車道を自転車で走行するのは怖いので歩道を走行してしまう ✓ルールはわかるが、何年も自転車に乗ってない 																																																
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓自分は自転車に乗っていないが人の行動はマナーがなっていないことが多い 																																																

【施策コード／施策名】 4-2-2 防犯対策の推進		【担当部局】 地域・市民生活部																																														
【区分】	【指標名】																																															
●	犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>70.6%</td> <td>71.8%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>20.6%</td> <td>19.8%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>6.9%</td> <td>6.6%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	70.6%	71.8%	否定的評価割合	20.6%	19.8%	評価保留割合	6.9%	6.6%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>81.6%</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 平均値 (R4～R5) 71.2% </td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)		81.6%	平均値 (R4～R5) 71.2%																												
	R4	R5																																														
肯定的評価割合	70.6%	71.8%																																														
否定的評価割合	20.6%	19.8%																																														
評価保留割合	6.9%	6.6%																																														
現状値 (R3)	目標 (R9)																																															
	81.6%																																															
平均値 (R4～R5) 71.2%																																																
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</caption> <thead> <tr> <th>年代別</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>75.8</td><td>20.0</td><td>9.1</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>76.9</td><td>17.7</td><td>5.1</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>74.5</td><td>20.5</td><td>5.0</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>73.6</td><td>19.6</td><td>6.9</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>75.0</td><td>20.2</td><td>6.8</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>72.3</td><td>18.2</td><td>9.5</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>71.2</td><td>21.5</td><td>8.3</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>67.8</td><td>20.9</td><td>11.3</td></tr> </tbody> </table>		年代別	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	75.8	20.0	9.1	20～29歳	76.9	17.7	5.1	30～39歳	74.5	20.5	5.0	40～49歳	73.6	19.6	6.9	50～59歳	75.0	20.2	6.8	60～64歳	72.3	18.2	9.5	65～69歳	71.2	21.5	8.3	70歳以上	67.8	20.9	11.3	<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>【肯定的回答割合の推移】</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>70.6%</td> <td>71.8%</td> </tr> <tr> <td>モニター(参考)</td> <td>56.5%</td> <td>60.1%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	R4	R5	肯定的評価割合	70.6%	71.8%	モニター(参考)	56.5%	60.1%
年代別	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																													
18～19歳	75.8	20.0	9.1																																													
20～29歳	76.9	17.7	5.1																																													
30～39歳	74.5	20.5	5.0																																													
40～49歳	73.6	19.6	6.9																																													
50～59歳	75.0	20.2	6.8																																													
60～64歳	72.3	18.2	9.5																																													
65～69歳	71.2	21.5	8.3																																													
70歳以上	67.8	20.9	11.3																																													
項目	R4	R5																																														
肯定的評価割合	70.6%	71.8%																																														
モニター(参考)	56.5%	60.1%																																														
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																														
✓ 治安がいいから安心できる	19歳以下	✓ 学校の近くで不審者が出たことがあって怖いと感じたから																																														
✓ 事件がすくないからそうおもいます ✓ 大きな事件はないと感じる	20～29歳	✓ 固定電話に知らない番号からしょっちゅう電話があるのでうちは大丈夫ですが気を付けていないと騙される気がして安心はできないと感じるから																																														
✓ 安心して暮らしている ✓ 治安はいい方 ✓ 犯罪被害に遭ってないから	30～39歳	✓ いつ襲われるかわからない ✓ 不審者が多い。また、その後の情報が出てこないのので安全に学校に通わせられるか不安になる																																														
✓ 犯罪は少ないと思う ✓ これまで犯罪にあったことがないため ✓ 実際に被害に遭っていないから	40～49歳	✓ 変な人はうじゃうじゃいて、安心感はない ✓ 近所に引きこもりが奇声をあげている																																														
✓ 特に危険を感じたことはない ✓ 犯罪は少ない街だと思うので ✓ 被害にあったことがない ✓ 警察の広報が多い	50～59歳	✓ 毎日、軽犯罪の被害を受けている ✓ 近くで事件が多くなった ✓ 犯罪被害の可能性は地域の力でゼロにすることはできないし、あまりそれを理由にした地域政策の強化もなんかイヤです。																																														
✓ 自治会活動中 ✓ 安心できるか不明だが、現時点は犯罪被害はない	60～69歳	✓ 住宅地では、街頭が少なすぎるから ✓ 時々勧誘電話や訪問販売に悩まされていますし、毎年近隣アパートなどの空き巣被害の噂を聞きます																																														
✓ あった事がない ✓ 防犯についても地域での取り組みが進められている	70歳以上																																															

【施策コード／施策名】 4-2-2 防犯対策の推進		【担当部局】 地域・市民生活部																					
【区分】	【指標名】																						
○	犯罪被害に遭わないよう対策をしている																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>65.9%</td> <td>67.1%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>29.7%</td> <td>28.2%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>3.4%</td> <td>3.2%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	65.9%	67.1%	否定的評価割合	29.7%	28.2%	評価保留割合	3.4%	3.2%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>77.2%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">66.5%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	77.2%		平均値 (R4~R5)		66.5%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	65.9%	67.1%																					
否定的評価割合	29.7%	28.2%																					
評価保留割合	3.4%	3.2%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	77.2%																					
平均値 (R4~R5)		66.5%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> 		<p>【肯定的回答割合の推移】</p> 																					
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 暗く人通りが少ないところは歩かないようにしている ✓ 暗い道では1人にならないようにしているから ✓ 個人情報の扱いに気をつけている ✓ 固定電話にかかってくる電話には出ません ✓ 施錠をしっかりするようにしている ✓ 変なメールにクリックしないようにしている ✓ 迷惑メールや電話など疑心をもってひらいている ✓ 施錠等月並みですが ✓ 人を疑っています ✓ 鍵をかける！ ✓ 詐欺が多いことを理解しているので、だまされないように意識している ✓ 夜道は一人で歩かないようにしている ✓ 他人事に思わない様にしてます ✓ スマホのライン、メール等気をつけている ✓ 常にアンテナを立てるよう心掛けています ✓ 一晩中、門灯をつけておいたり、窓のフェンス取り付け、暗い時間は外での行動をしない。かなり、気をつけているつもり。 ✓ どういう内容を示唆しているのかわかりませんが、危険には近付かないようにしています ✓ 鍵をかけたり、洗濯物を外に干したりしている ✓ 自宅の防犯や相手がわからない電話には出ない ✓ 今の問題は電話詐欺、ネット詐欺であり注意している 	<ul style="list-style-type: none"> 19歳以下 20~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 田舎なので犯罪意識が低い気がする ✓ 気をつけている程度 ✓ なにが対策なのかわかりません ✓ 犯罪する方が悪い ✓ 思い当たるような対策はしていない ✓ 具体的な対策はしていない ✓ 具体的な対策はしていない ✓ 対策して行こうと思っっています。対策になるような物を支給して欲しい ✓ 戸締まりくらい ✓ 特に特別気をつけてはいない。特に特別気をつけてはいない ✓ したいとは思ってはいない ✓ 疑ってかかる様にしているが、これと言ったことはしていない ✓ 固定電話への対策は不十分であると認識している。他の対策を実行している 																					

【施策コード／施策名】 4-2-3 安全な消費生活の確保	【担当部局】 地域・市民生活部
---------------------------------	--------------------

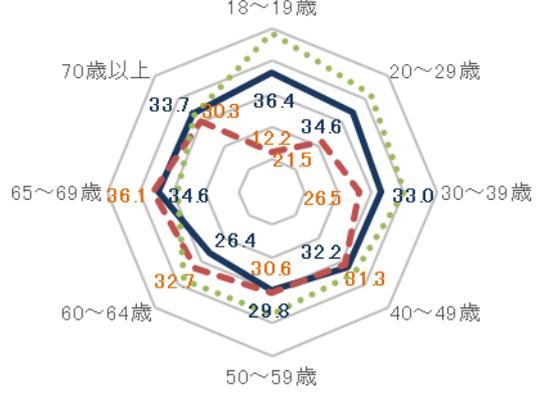
【区分】	【指標名】
●	悪質商法や特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている

	R4	R5
肯定的評価割合	32.4%	32.0%
否定的評価割合	30.8%	30.3%
評価保留割合	35.0%	35.3%

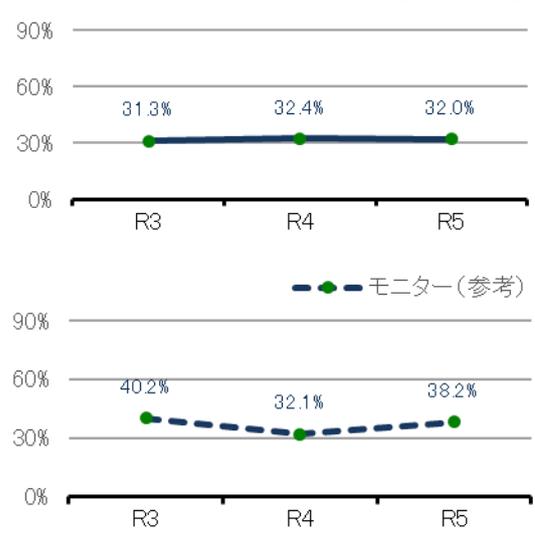
現状値 (R3)	目標 (R9)	31.3%	↗
平均値 (R4~R5)		32.2%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- ⋯ 評価保留割合



【肯定的回答割合推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓よくチラシが配られるから ✓計画ポスターを見たことがあるから ✓相談体制は整っていると感じる ✓街中やメディアでよく呼びかけている 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ATMでも看板ありますよね ✓意識は高い。それでもだまされてる人はいるけど ✓未然に防ぐ体制を整えた方が良いと感じる 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓長野市独自の取り組みを知らないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓情報発信が活発。 ✓金融機関等も注意してくれたり、相談に乗ってくれるので助かる ✓相談センターはあるから 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓犯罪が多い印象 ✓詐欺の被害件数は増えているように感じる ✓被害に遭った時、どこに連絡すればいいかわからない
<ul style="list-style-type: none"> ✓相談体制の充実 ✓まだまだ高齢者に浸透していない ✓すごく増えてきている印象、周知が必要 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ラジオでアナウンス程度ではまだまだ ✓私の知り合いが電話の詐欺にあった。対策は特に感じない ✓テレビの報道等で多額の詐欺被害を見ることが多いから
<ul style="list-style-type: none"> ✓よく公報で防止対策を図っておられます なかなか撲滅しなくて残念です ✓相談の窓口は整っていると思う。泣き寝入りや諦めて相談しない人も多いと思う 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓県の消費者生活センターくらいしかないと思う。他にあるんですか？ ✓どこに相談するかわからない
<ul style="list-style-type: none"> ✓できれば防ぐノウハウを技術的な方法で ✓地域に交番があり、相談は可能。 ✓広告で見かける 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓自治会活動中 ✓なかなか詐欺にあった話がなくなるので
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓結果の相談等はあっても、防ぐ相談等の体制が薄い ✓消費生活センター以外どこに相談できるのか教えてください

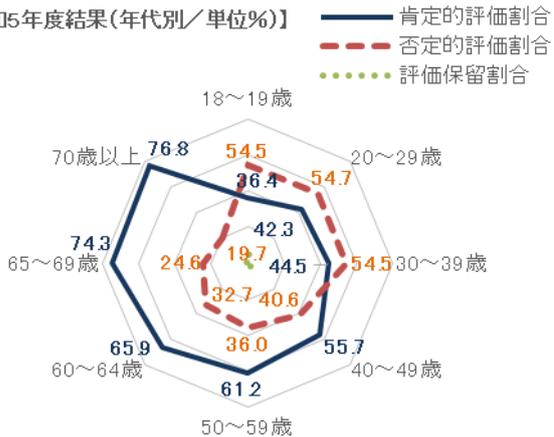
【施策コード／施策名】 4-2-3 安全な消費生活の確保	【担当部局】 地域・市民生活部
---------------------------------	--------------------

【区分】	【指標名】
○	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている

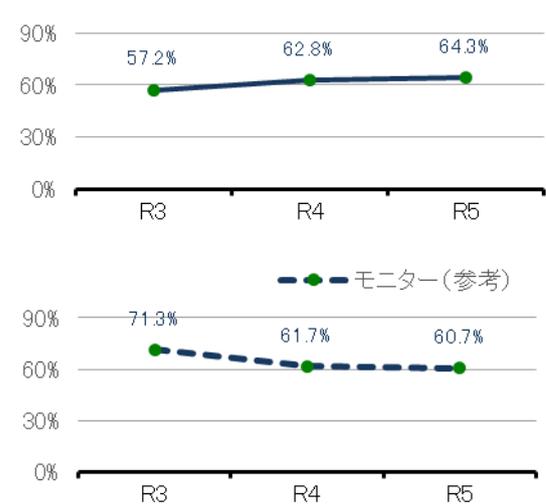
	R4	R5
肯定的評価割合	62.8%	64.3%
否定的評価割合	34.5%	32.8%
評価保留割合	1.8%	1.4%

現状値 (R3)	目標 (R9)	57.2%	➡
平均値 (R4~R5)		63.6%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓ 悲しい思いをしてほしくないから
- ✓ 母がスマホに届くメールをすぐに信じてしまうので、こういうのは詐欺だからクリックしないで私に教えてくださいと伝えていきます
- ✓ ニュースで得た手口などのトレンドを共有している
- ✓ ロールプレイングしてる
- ✓ 両親などによく話している
- ✓ 怪しいメールは開かない、電話に出ない
- ✓ 家族、同僚とよく話すから
- ✓ テレビなどでみると 確認はしていると思う
- ✓ 母と話している
- ✓ 怪しいメールは家族に相談している。
- ✓ 留守番電話などの設定をしている
- ✓ 子供にも気をつけるように、よく話している
- ✓ とくに高齢の母とはよく話している
- ✓ 気を付けていても引っ掛かるのが詐欺だから
- ✓ 適宜チェックしている
- ✓ 留守電対応で、応答しない
- ✓ 電話やメールによる詐欺にかからないよう気をつけている
- ✓ 家族では話している
- ✓ 妻とは時々話題に
- ✓ よく話し合っている

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~59歳
- 60~69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓ 特に話していない
- ✓ まだそういった被害に自分も周りも遭ったことがないから
- ✓ そのような年代ではないので
- ✓ 話し合ったことがないため
- ✓ 両親もまだ若いから大丈夫だろうと思ってしまっている
- ✓ 元来疑い深い性格なので他人を信用していない。気を付けているという意識はない
- ✓ 特に話していない
- ✓ 話し合いは全くしていない
- ✓ ほぼ LINE のメッセージのみ 通話について話し合うことがない
- ✓ なにもしてない
- ✓ 一人暮らしなので、特殊詐欺らしい件に遭遇したら、法律の話題を出して相手の真意を必ず確認しています
- ✓ 話し合わない
- ✓ 何もしていない
- ✓ 家族とは話さないが、自分では詐欺の方法や対策の情報を得るようにしている

【施策コード／施策名】 5-1-1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実		【担当部局】 教育委員会、こども未来部																					
【区分】	【指標名】																						
●	知(学力)・徳(豊かな心)・体(体力)を一体的に育成し、子どもがたくましく生きていくための教育が行われている																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>41.6%</td> <td>39.2%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>29.8%</td> <td>33.8%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>26.9%</td> <td>23.9%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	41.6%	39.2%	否定的評価割合	29.8%	33.8%	評価保留割合	26.9%	23.9%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>43.4%</th> <th>↑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4～R5)</td> <td colspan="2">40.4%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	43.4%	↑	平均値 (R4～R5)		40.4%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	41.6%	39.2%																					
否定的評価割合	29.8%	33.8%																					
評価保留割合	26.9%	23.9%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	43.4%	↑																				
平均値 (R4～R5)		40.4%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p>																					
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓私は学校教育によってその3つが培われたと思っているから 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓知・徳・体を一体的に育成できてないと思う どれかに力を入れれば、どれかがおろそかになっている気がする 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓保育園で田んぼに入ったり雪遊びをしたり、散歩で地域の方と交流したりという経験をしているので普段から行われていると思います 	20～29歳																						
<ul style="list-style-type: none"> ✓子の成長をみると、家庭だけでは知徳体すべてを伸ばすのは難しかったと思うことが多い ✓スポーツテストって言うのを子どもが小学校入ってから知りました 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓フリーラーニングという聞こえのいい、ほったらかしの教育方針のせいで保護者は不安がっております ✓部活の地域移行は子どものことを考えているのか。教員に給料を払って仕事として取り組ませてはどうか ✓今の子、体力なさすぎでは。外で遊んでるか？老人の一言で公園奪われてないか？ 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓学校で、子ども達がそのような教育を受けていると感じ取れるから ✓みらいハッケンプロジェクトは良かったです。おかげさまで、塾代の足し・楽器の個人レッスンを受けることが出来ました。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓バランスが取れていない ✓塾に通わなければくらのレベルにもって行って ✓塾にいけない子の学びも助けて欲しいがない ✓子ども達に、特に生活水準が低い家庭は学力にも差が出てしまうから 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓町内に文化財が多々ある ✓資質や能力をバランスよく伸ばす 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓学力検査の結果は思わしくないのが上手く行っていない証拠 ✓ごく一部にはないかと感じる 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓こどもプラザは整っているが、学校は手不足に感じるので ✓豊かな心をもっと育ててほしい ✓都会よりは、たくましく育つ力は培われている ✓Gヒルズ小中学校 ✓国宝もあるし、豊かな地形もある、歴史＆自然が有って誇れると思う 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓著名な対策が聞こえてきません ✓学校や地域により格差が大きい 																					
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓知・徳・体を一体的に育成されていると感じられる事は少ないのではないかと 																					

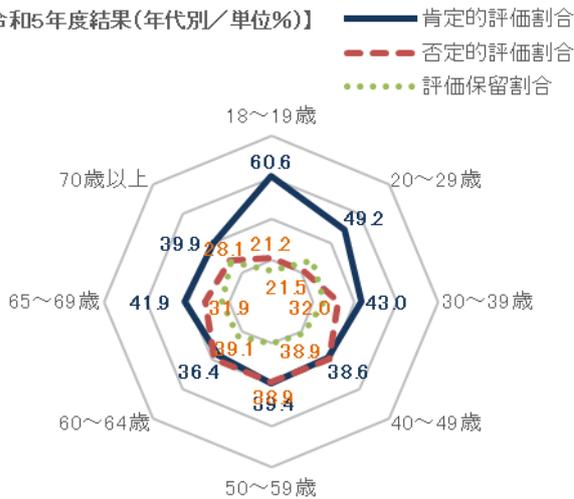
【施策コード／施策名】 5-1-2 子どもに応じた支援の充実	【担当部局】 教育委員会、こども未来部
-----------------------------------	------------------------

【区分】	【指標名】
●	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている

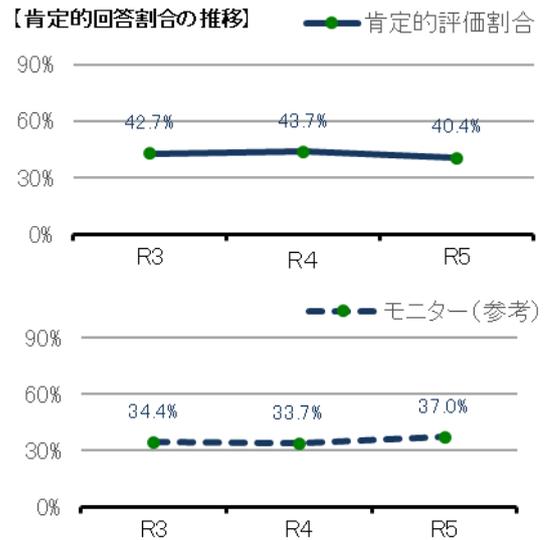
	R4	R5
肯定的評価割合	43.7%	40.4%
否定的評価割合	28.8%	33.1%
評価保留割合	26.1%	24.3%

現状値 (R3)	目標 (R9)	42.7%	↗
平均値 (R4～R5)		42.1%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓自分がそのようにされてきたから
- ✓お気に入りや露骨な先生もいるから
- ✓長野県は教育県と言われていたから
- ✓保育士さんたちはよく見てくれていると感じる
- ✓療育や学校の支援級も多い
- ✓先生方が子供たちに色々なことを挑戦させてくれ、子供たちも楽しんで保育園へ行っているため
- ✓先生方と話す機会があると、子ども達一人ひとりのことをよく考えてくださっていると感じるから
- ✓習い事教室、塾も多い
- ✓障害児童や要配慮児童にも個別に対応がある
- ✓支援学級や不登校についてかなり多彩な支援が行われていると思う
- ✓子供の支援は手厚い。
- ✓特段、優れている施策を長野市が行っていると思いません 佐久市等市外でよく聞きます
- ✓孫たちを見てそう感じる

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓誰を信用して相談すればいいのかわからない、子どもが判断するのは難しく、本当に信頼している人にでないと相談もできない
- ✓不登校の子供などに対する対応が不足
- ✓学期内に単元を終わらせたいがために生徒が理解しないまま授業が進み、保護者が相談すると「塾に通わせればいい」と冷たく返される先生がおられるようで悲しいです。
- ✓実感することがない
- ✓学校で支援を必要としている子供達が多くいるのに、支援員は午前中のみ在籍し、人数も不足しているため、もっと予算を割いて人員確保して欲しいと感じる為
- ✓支援体制にいきつまでが長く、医療機関などにも繋がりにくい
- ✓うちの子は学校で教員にいじめられたので
- ✓梓からはみ出た子への対応が現場だけになっていて十分とは言えないんじゃないかなという印象
- ✓対象になる児童生徒が増えている現状にあり、追いついていない
- ✓一学級の生徒数を減らしてほしい
- ✓画一的な教育よりも一人一人のこどもに合った学びの機会を与えても良いのでは
- ✓市内だけの様な気がします

【施策コード／施策名】 5-1-3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力の向上	【担当部局】 教育委員会、子ども未来部
---	------------------------

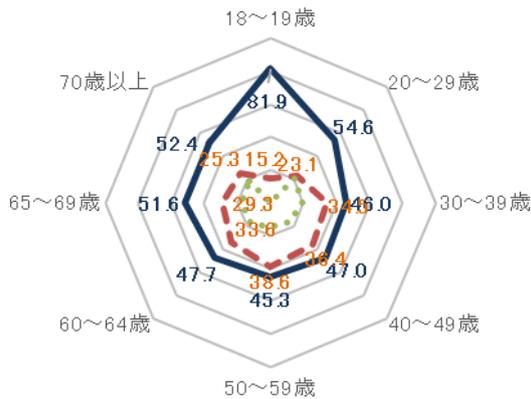
【区分】	【指標名】
●	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている

	R4	R5
肯定的評価割合	51.9%	49.6%
否定的評価割合	27.2%	31.3%
評価保留割合	19.8%	17.2%

現状値 (R3)	目標 (R9)	51.0%	
平均値 (R4~R5)		50.8%	

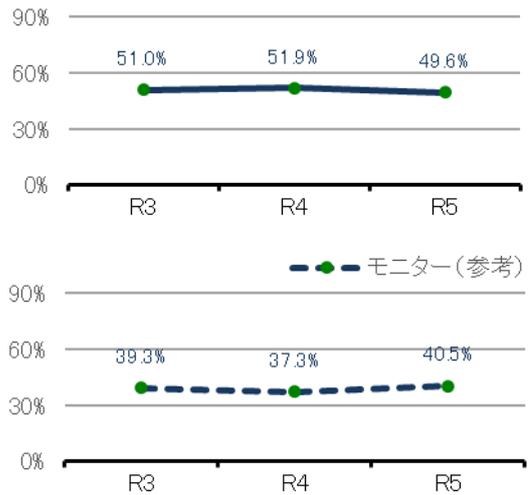
【令和5年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】

- 肯定的評価割合
- モニター(参考)



【モニターの主な肯定的意見】

- ✓ 私の通っている高校は家庭との連携を密に取っているから
- ✓ 育成会という地域の活動で教養が身につく
- ✓ 地域と学校が連携しているのは登下校中の子供達の元気な挨拶から感じ取れている
- ✓ 近所は子供を暖かく見ている
- ✓ 園からの成長記録で、家庭では見えない一面を知ることがある、よく見てくれて有難い
- ✓ 安く学習する機会があるので助かる
- ✓ 過剰だと思う。学校にまかせすぎ
- ✓ 連携はできている
- ✓ 頻繁に相談できるところの案内がきます

【年齢区分】

- 19歳以下
- 20~29歳
- 30~39歳
- 40~49歳
- 50~59歳
- 60~69歳
- 70歳以上

【モニターの主な否定的意見】

- ✓ 地域行事の参加が前より減っている
- ✓ 実感することがない
- ✓ 子どもが少なく、高齢者が多く、邪魔者扱いされる
- ✓ 家庭の負担が多いと感じる
- ✓ 持ってスピード感を持って！時間とお金に余裕がある無しで、学びや育ちに差が出ている
- ✓ 連携を感じない
- ✓ 地域で暮らしていても、子どもがいないと、地域と学校が連携しているのかすらわからないため。一部の住民とだけ、連携しているということではないでしょうか。
- ✓ 子どもが減っていてあまり関わるることがない
- ✓ 青木島の公園廃止の経緯を見ると、連携とは程遠いので
- ✓ 私など、引きこもりの子供や家庭の事情などで学校教育からドロップアウトした子供達に授業科目をボランティアで教えたいと思っていますが、情報がなくその機会もありません。
- ✓ コロナ禍以降、地区行事が減ったままである
- ✓ 地域がどのように連携しているのかはわからない

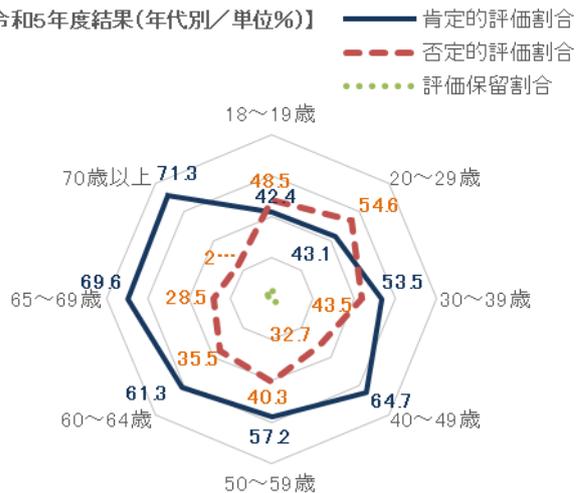
【施策コード／施策名】 5-1-3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力の向上	【担当部局】 教育委員会、子ども未来部
---	------------------------

【区分】	【指標名】
○	地域の子どもにあいさつや声かけをしている

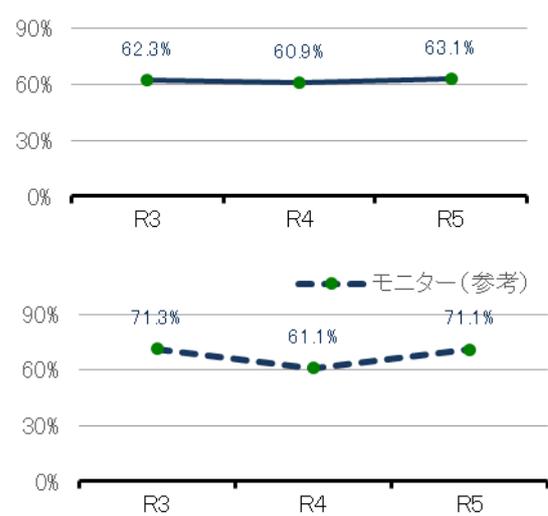
	R4	R5
肯定的評価割合	60.9%	63.1%
否定的評価割合	35.5%	33.2%
評価保留割合	2.7%	2.5%

現状値 (R3)	目標 (R9)	62.3%	
平均値 (R4~R5)		62.0%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓挨拶は気持ちが良いから	19歳以下	✓子供が少なくて挨拶する相手がいない
✓小中学生の子からたくさん挨拶をされるので必ず返事をしています	20~29歳	✓進んで挨拶することがない
✓あいさつ運動の当番もあります ✓挨拶は大切だから ✓会えば必ず挨拶するようにしている ✓我が家にも子供がいるので、出来る範囲で挨拶はするようにしている ✓自分から挨拶するようにしている ✓声掛け挨拶はするようにしている為	30~39歳	✓していません。通報されたら困るので ✓以前小学生に挨拶したら不審者を見るような目で見られムシされたのでそれ以来していない
✓自分から挨拶するようにしている ✓声掛け挨拶はするようにしている為	40~49歳	✓知り合いでなければ警戒されるから(無視されるから) ✓分から挨拶したりむやみに話しかけることはない。危険回避のために声を掛けることはある
✓おはようと声かけをしても、しない小学生が多い ✓お子さんから挨拶される時もあり、とても嬉しいし良い事だと思います ✓子供から挨拶してくれるので嬉しい ✓毎朝すれ違う人に挨拶しています	50~59歳	✓同じマンションに住んでる子にかけるとのみ ✓怪しい人だとおもわれそうなので ✓下手に挨拶をしたら不審者として警察に通報されそうだから ✓こどもに対して 知らない人からの声掛けは 人によっては躊躇する場面を体験したから
✓必ず声がけしている ✓子どもたちに出会わない事が殆ど ✓しているが子どもからも挨拶してくれる ✓こちらが挨拶しても挨拶しない子どもが増えている	60~69歳	✓お子さんの方からあいさつされる。こちらからあいさつするのは躊躇する ✓子供に会うことがない ✓最近はどこまで声を掛けていいのか迷いながら、ケースバイケースで声掛けをしている
✓おはよう、こんにちは等々できるだけ声かけに努めている ✓ない 当たり前の事	70歳以上	✓声をかけられたら話を聞く

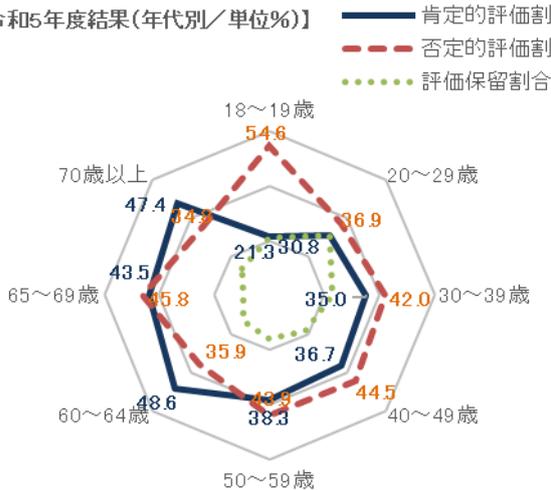
【施策コード／施策名】 5-2-1 生涯学習環境の充実	【担当部局】 教育委員会
--------------------------------	-----------------

【区分】	【指標名】
●	公民館などで、学びの機会が提供されている

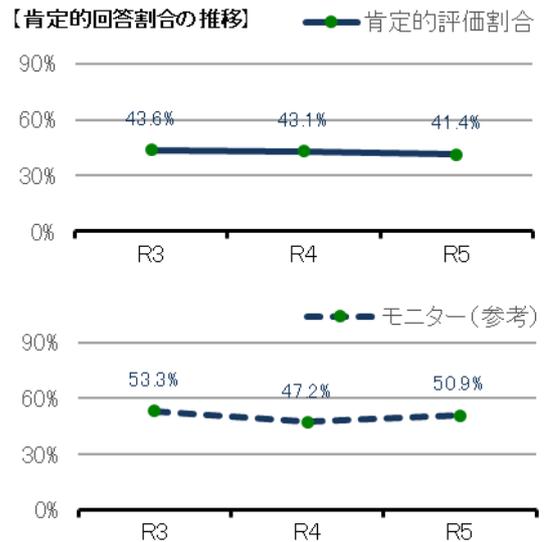
	R4	R5
肯定的評価割合	43.1%	41.4%
否定的評価割合	38.0%	40.3%
評価保留割合	17.7%	16.1%

現状値 (R3)	目標 (R9)	43.6%	↗
平均値 (R4~R5)		42.3%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



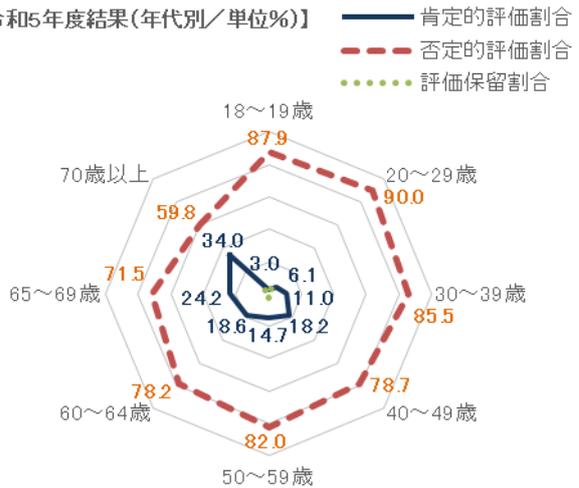
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の人が頑張っていると思う ✓講座をやったりしているから ✓イベントが開催されているから 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓開放されているところを知らない
<ul style="list-style-type: none"> ✓広報誌で募集してるの見る ✓回覧板でよく回ってきます ✓無料で開催されていてとても助かります ✓働いている時間なので参加はできませんが、夏休みなど子ども向けのイベントが多い 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓学びの機会を見た事がないから ✓大学近くの三輪公民館が使われているのを見たことがないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓実際に利用したことはないが広報などでみかける ✓市報・回覧板等で周知しているから ✓手厚いと思う ✓長野市報見て春からやりたい講座もたくさんあるなあと見ていました 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓高齢者向けのイベントやセミナーしか行われていません ✓子どもが未就学児なのでわかりませんが、そういった案内などは見聞きしたことはないです ✓あまりお知らせされていないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓回数が多いと思う ✓利用している ✓学びの場は提供されていると思う 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓子供に対しては、ない ✓公民館は利用しにくい ✓そのような機会を知らない ✓自宅のまわりでこのような取り組みを聞いたことがない。(高齢者向けだけでなく、子どもの勉強を見てくれる場がほしい)
<ul style="list-style-type: none"> ✓自分が継続して利用しているから ✓公民館講座を自身が受講したので ✓学びの機会を十分設けられています。公民館同士が競争しているかのように、ありがたいことです 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓大人のみなので、放課後を使った塾が無い。息子は秋田大学を出たが在学中は秋田市、近隣地域の市運営の塾で小学生、中学生を教えた。アルバイト代も高くそれなりの責任を持って教える事が出来、生徒の希望高校に進学を一緒に喜んでいた姿はしっかりと社会に貢献したと思えたらしい。
<ul style="list-style-type: none"> ✓色々やっている 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の歴史学習や民謡の講習会などはあるようですが、もっと時代に即した例えば、日本、世界の先端技術や科学、我が国の法律、政治、経済などの時事問題、これからの生き方などの哲学的な話題などの勉強会をやってもらいたいです。
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓公民館を使用することがない

【区分】 【指標名】
○ 公民館などで提供されている学びの場に参加している

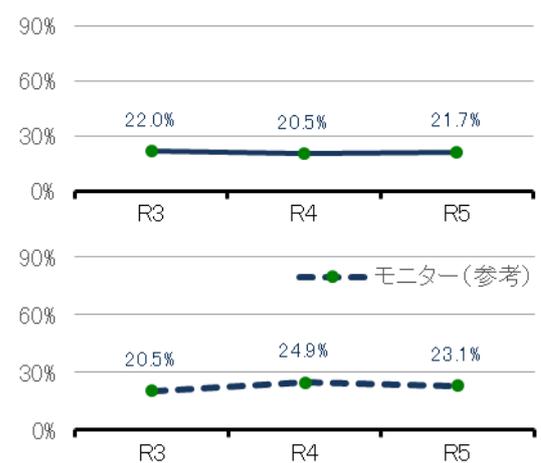
	R4	R5
肯定的評価割合	20.5%	21.7%
否定的評価割合	74.9%	73.7%
評価保留割合	3.8%	3.1%

現状値 (R3)	目標 (R9)	22.0%	
平均値 (R4~R5)		21.1%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

✓子ども広場に参加している	19歳以下	✓かつて行ったことはある ✓高校生になってから、学びの場の案内を見た事がないから
✓公民館役員を経験したことがきっかけで参加するようになった ✓安いので参加しやすい ✓図書館の読み聞かせなどは行っている	20~29歳	✓開催していることは知っているが一度も行ったことがない ✓時間が合わなかったり興味がないから ✓参加していない
✓面白そうなものには参加したい ✓モノコトベースによく行きます	30~39歳	✓都合をつけられず参加出来ていない ✓そんな場がありません ✓していません。時間が無いので ✓自分の趣味が忙しくそんな暇はない
✓講演会や料理教室、文化祭に参加している ✓勤労青少年センターなどでお世話になっております	40~49歳	✓参加していないから ✓情報を知らないから ✓やってない
✓勿論興味のあるものですが ✓時間が合えば参加している ✓楽しそうな講座があれば友達誘って参加しています ✓地区の公民館活動が盛んで楽しんでいる	50~59歳	✓子供が小さいときには親子で参加したが、子供が大きくなり参加しなくなった ✓仕事が多忙でなかなか難しい
✓2か所の公民館で受講している ✓自分が必要だと感じたメニューについては可能な限り参加している	60~69歳	✓地域の公民館では興味のある講座はないので疎遠です ✓行ってみたい講座があっても、行かないことはない
	70歳以上	✓参加したことはない ✓あまり関心がない

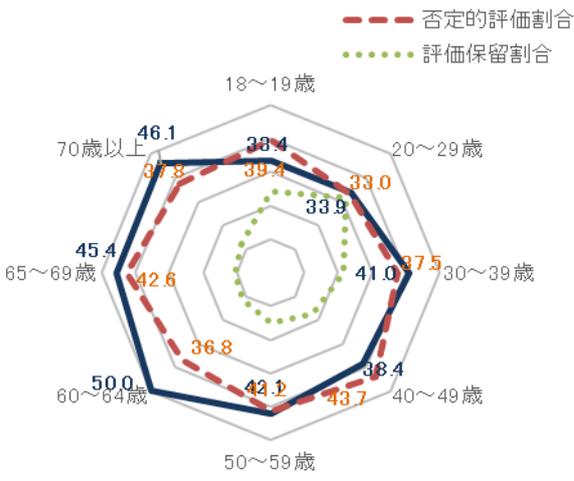
【施策コード／施策名】 5-2-2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進	【担当部局】 教育委員会
---	-----------------

【区分】	【指標名】
●	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている

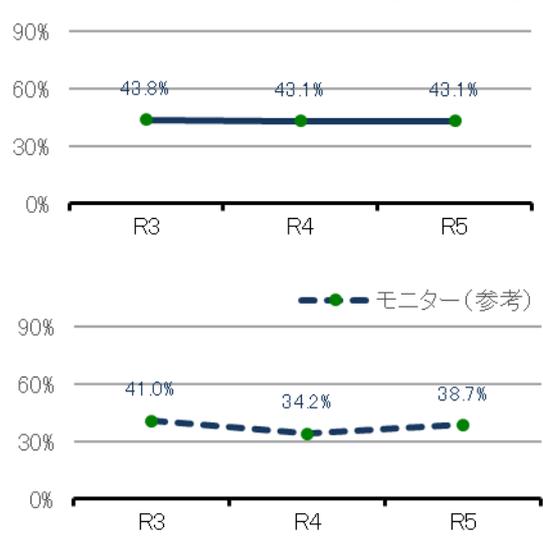
	R4	R5
肯定的評価割合	43.1%	43.1%
否定的評価割合	37.7%	39.6%
評価保留割合	17.8%	15.3%

現状値 (R3)	目標 (R9)	43.8%	↗
平均値 (R4~R5)		43.1%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓たまに講演会をやっているから	19歳以下	✓そのような機会がほとんど行われていないから ✓高校生には特にな
✓回覧板でたくさん教室が開かれているのを見たから ✓イベントが開催されているから	20～29歳	✓飯田市の公民館活用事例に比べたら何もやってないと感じるから
✓街を歩く、歴史を辿る、みたいなイベントがあります ✓回覧板で案内があったため	30～39歳	✓公民館は利用する年齢層が決まっています ✓子どもが未就学児なのでわかりませんが、そういった案内などは見聞きしたことはないです
✓回覧板で広報をよく見るため ✓市報・回覧板等で周知しているから ✓十分だと思う	40～49歳	✓提供されてない ✓そのような機会を知らない
✓コロナ明けで、以前の内容から変更してイベントをする事が出来た ✓公民館活動が盛ん	50～59歳	✓近辺では活発にやっていない気がする ✓特に自治会活動報告を見ている、そのような企画・機会を見ないため
✓応募が多いようで、ニーズに合った企画がされていると思う ✓公民館が、家から遠い ✓公民館活動が充実している	60～69歳	✓回覧板等で見かけることはあるが、実情はわかりません ✓あまりその種の情報は聞きません ✓地域づくりの話等あまり聞かないので
✓おやき作り等 ✓広報で募集している ✓地域の仲間づくり等にも生かされている	70歳以上	✓どちらかというと趣味の講座。地域づくりという点ではやや疑問 ✓福祉は地域づくりとは言いますが、福祉も地域づくりの学びの機会が少ない

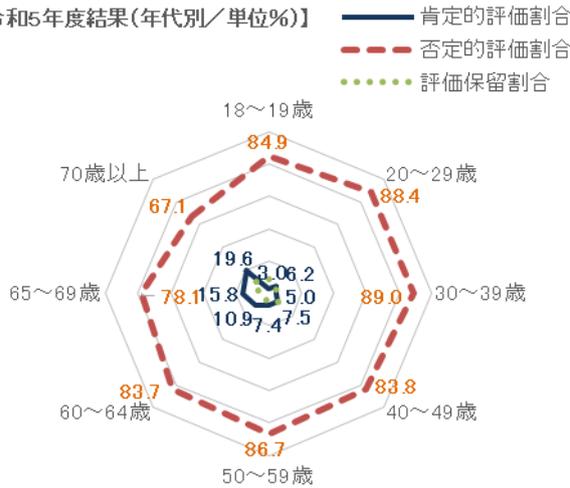
【施策コード／施策名】 5-2-2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進	【担当部局】 教育委員会
---	-----------------

【区分】	【指標名】
○	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている

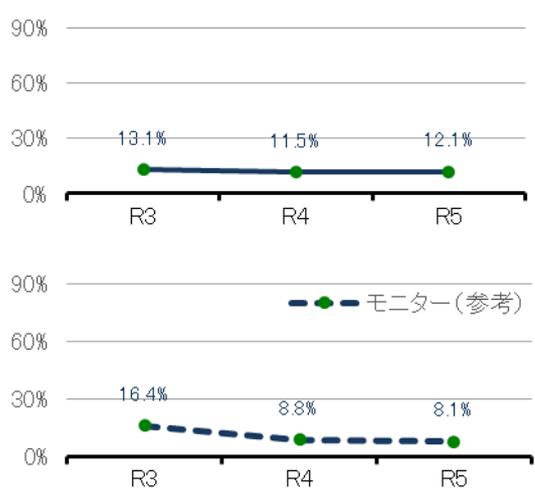
	R4	R5
肯定的評価割合	11.5%	12.1%
否定的評価割合	79.7%	78.9%
評価保留割合	7.4%	7.4%

現状値 (R3)	目標 (R9)	13.1%	
平均値 (R4~R5)		11.8%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



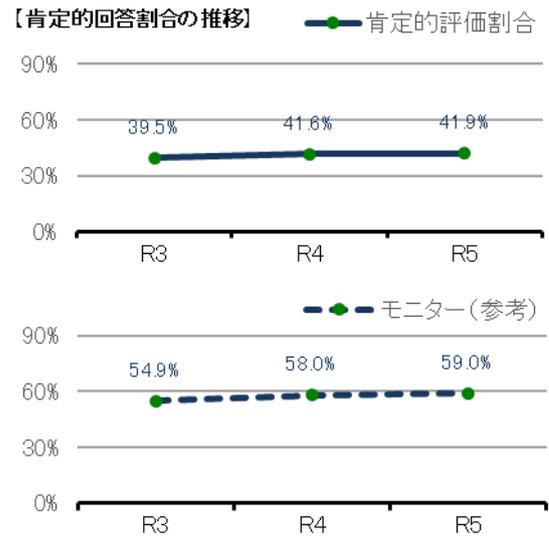
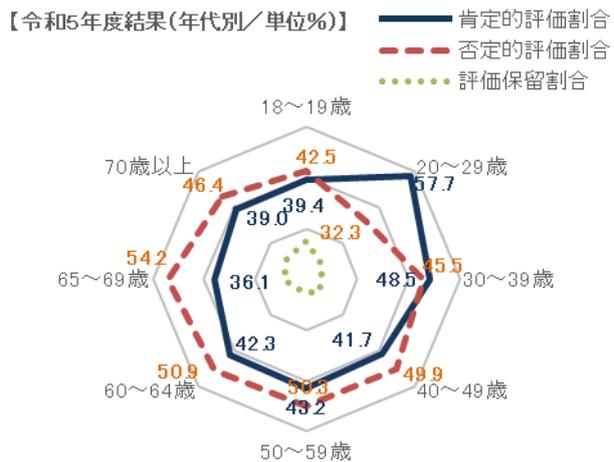
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓餅つきで協力して取り組むことの大切さを学んだ	19歳以下	✓公民館で学んだことがないから
	20~29歳	✓一度も行ったことがないから ✓公民館講座に参加したことがない ✓公民館などで学んだ事がない
✓楽しい	30~39歳	✓参加していない ✓そんな場がありません ✓していません ✓公民館いかないので
✓地域の人達と顔見知りになる ✓赤ちゃんや小学校の読み聞かせボランティアに参加している	40~49歳	✓公民館行事に参加できていないから ✓活かすことがない ✓参加したことがない ✓公民館はいきたくない
✓保存会などに参加している ✓公民館ではなく民間ですが	50~59歳	✓参加なし ✓興味がない ✓活かしたことがない ✓参加したことがありません
✓地域活動あり ✓趣味の範囲にとどまるものがありますが、地域づくりに貢献できるものがあれば生かしたい	60~69歳	✓話題にする程度 ✓公民館へ行った事がない ✓講座に行くことがない ✓地域づくりに活かせるような事なんだろう？
✓学んだことを可能な限り、地域づくりに活かしたいの気持は充分ある ✓関連の団体に参加している	70歳以上	✓参加したことがない ✓地域づくりになっているかわからない

【施策コード／施策名】 5-3-1 多彩な文化芸術の創造と活動支援	【担当部局】 文化スポーツ振興部
--------------------------------------	---------------------

【区分】	【指標名】
●	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている

	R4	R5
肯定的評価割合	41.6%	41.9%
否定的評価割合	46.6%	48.1%
評価保留割合	10.7%	8.0%

現状値 (R3)	目標 (R9)	39.5%	
平均値 (R4~R5)		41.8%	



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ そう言ったチラシをよく見る ✓ よく芸術鑑賞をやっているから 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 身近にそのような環境があるとはいえない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 美術館やホールがたくさんあり触れる機会はたくさんあると感じる ✓ 芸術ホールや美術館が改装に伴い綺麗になったから 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高いお金をとることが多いから気軽では無い
<ul style="list-style-type: none"> ✓ いったことはないが、美術館で毎度なんかやってる ✓ 市民美術館で色々な演奏会があって親子で楽しんでいる ✓ 美術館が多いです 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 文化芸術を気軽に親しめる機会があると感じない ✓ あまり招待されていないのでは？ ✓ 未就学児が入れるコンサートはほぼないし、市役所の0歳からのコンサートでも子どもは連れてくるなど怒鳴られた
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 情報誌などを見ると参加できる機会がたくさんあるから ✓ ホールが多くいつでも参加できる ✓ 市報・回覧板等で周知しているから ✓ 劇団四季など大きな演劇を見られる機会をつくって欲しい 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 松本の方が整っている ✓ 市内でのイベントが松本上田に取られてしまっている ✓ あまり参加する機会がないと思う
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 文化ホールがある町内に ✓ 先日市民美術館でクラシックコンサートを安価に楽しむことができたから ✓ 魅力的な劇団やサークルを多く見聞きます 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 親しめる環境が整っているとしても本人次第でいくと思う ✓ 文化芸術は非常に乏しいと感じます。また、県立美術館に無料駐車場もなく、気軽に親しめなくなったため
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 美術館の利用がよくされているから ✓ ホクトホールや美術館があるから 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 楽しめる場所がない ✓ 松本市に比べれば格段にその地位は落ちます。仕方なく松本に良く出かけます。長野市美術館も活動がいまいちと感じています。
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 美術館や美術館・無料の動物園、国宝・・・揃っている ✓ 市内ではいろいろな機会が提供されている 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市民は無料にしたらどうですか？ ✓ 地区としてはない。文化芸術ということであれば長野市の中心部へ行く

【施策コード／施策名】 5-3-1 多彩な文化芸術の創造と活動支援		【担当部局】 文化スポーツ振興部																					
【区分】	【指標名】																						
○	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>36.1%</td> <td>41.7%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>60.4%</td> <td>54.8%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>2.5%</td> <td>2.1%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	36.1%	41.7%	否定的評価割合	60.4%	54.8%	評価保留割合	2.5%	2.1%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>45.6%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">38.9%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)	45.6%		平均値 (R4~R5)		38.9%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	36.1%	41.7%																					
否定的評価割合	60.4%	54.8%																					
評価保留割合	2.5%	2.1%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	45.6%																					
平均値 (R4~R5)		38.9%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>18~19歳: 51.5% (肯定), 42.4% (否定), 4.1% (保留) 20~29歳: 52.3% (肯定), 45.4% (否定), 2.3% (保留) 30~39歳: 59.0% (肯定), 38.0% (否定), 3.0% (保留) 40~49歳: 49.4% (肯定), 42.6% (否定), 7.4% (保留) 50~59歳: 54.5% (肯定), 42.6% (否定), 2.9% (保留) 60~64歳: 50.9% (肯定), 47.2% (否定), 1.9% (保留) 65~69歳: 57.7% (肯定), 39.6% (否定), 2.7% (保留) 70歳以上: 52.4% (肯定), 42.5% (否定), 5.1% (保留)</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p>																					
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓メッセージは大切だから 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓今年受験生でそんな時間はなかったから ✓かつては行っていた 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓定期的に触れるようにしている ✓子供向けのコンサートは家族みんなで楽しめるので積極的に讃歌しています 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓何をしているか分からない ✓機会がない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓市民芸術館の催しに行ったりは時々する ✓子供向けのものには積極的に子供を連れていくようにしている ✓子供向けのミュージカルにはよく行く ✓子どもと博物館は行きます 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓参加をしていない ✓小さな子を抱えては難しいことです ✓子どもが小さいためいけない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ミュージカルや美術館へは、子供を連れて訪れる機会が多い ✓好きなアーティストのライブに行っている ✓子ども劇場へ加入しており、鑑賞会に参加している 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓やっている事は知っているが、行っていない ✓仕事していて、子育てと介護で、そんな時間がなく、行っていない ✓家計に余裕がない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓楽しいから ✓好きな人が来ると行く ✓エンターテインメントは人生に欠かせないものだから 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓音楽等はテレビ、スマホで楽しんでいる ✓行かない ✓興味がない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ピアノ教室に参加している ✓ホクト、市芸術館にはよく行って楽しんでいます。駐車場が広いとありがたい ✓残念ながら地元の文化施設にはほとんど行きませんが、世界各国の有名オペラハウスやコンサートホール、ブロードウエーなどには良く行っています。 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓行っていない ✓行きたい気持ちはあるが、そこにかかるお金の余裕がない ✓なかなか興味のあるものがない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓そのように心掛けている ✓年を取ってから、時間ができてから、ますます楽しみにしている 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓なかなかそうした機会は少なくなっているが、チャンスがあれば是非楽しみたい ✓テレビなどで間に合わせている 																					

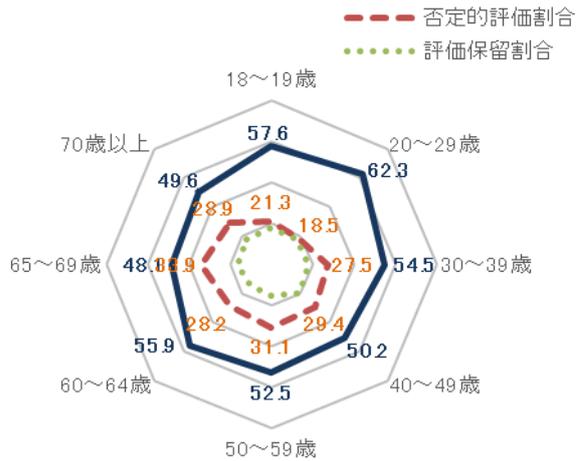
【施策コード／施策名】 5-3-2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進	【担当部局】 教育委員会、文化スポーツ振興部
---	---------------------------

【区分】	【指標名】
●	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている

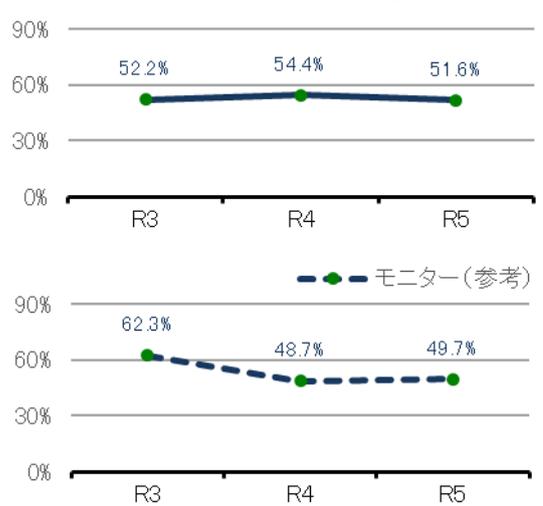
	R4	R5
肯定的評価割合	54.4%	51.6%
否定的評価割合	25.7%	29.1%
評価保留割合	18.6%	17.0%

現状値 (R3)	目標 (R9)	52.2%
平均値 (R4～R5)		53.0%

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】

✓古い建物が多いから	19歳以下
✓デジタル図鑑がみやすい	20～29歳
✓子どもの頃にそういった話をきいたことがあるから	30～39歳
✓最近古墳の保存活動をしているのを目にした ✓博物館で見ることが出来ます)	40～49歳
✓保育園の先生が、地域の行事や神社、文化等を大切に子供たちに教えてくださっていると感じます	50～59歳
✓古人を大切にしている地域であるから ✓近所に生えている樹齢数百年の木を、ご神木として町内会で大切に保全している。個人的には、ただ古いだけの木には見えませんが	60～69歳
✓身近に見ることができるから ✓適切に、かはわからないが地域の祭りなどさかんに行われている	70歳以上
✓文化財は良く保存されているのではないかと思います ✓伝統芸能の催しが開かれているから。博物館の企画が積極的だから	
✓甚句の祭り、神楽、菊花展が行われている	

【年齢区分】

【モニターの主な否定的意見】

✓担い手がいない場合もある	
✓仕方がないが老朽化している	
✓地域でも学校でも「伝える」ということはしてはいないと思います	
✓良い文化財は沢山あるけれど、あまり知られておらず、アピールも整備も少し弱い気がする。もっと観光地化できたら素敵だと思う。	
✓地域の文化財がわからない ✓継承者がいない ✓継承する必要がない	
✓市の具体的施策があるとすれば全く見えていません ✓保存のための予算があまりないのか適切に保存や活用されているとは思えません	
✓保存継承活動がようやく始動した、というところでしょうか、各自治会が旧跡の案内板を設置していることを聴くとうれしいです ✓文化財もピンキリで、今後の維持管理のことを考えたら、整理(処分)しても良いと思う。保存、継承、活用にこだわることはないと思う。	
✓松代の宝物館をもっと出していく必要がある ✓継承は難しいと聞いている	

【施策コード／施策名】 5-3-2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進		【担当部局】 教育委員会、文化スポーツ振興部																					
【区分】	【指標名】																						
○	地域の伝統的な行事に参加している																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>28.9%</td> <td>34.4%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>67.7%</td> <td>61.9%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>2.3%</td> <td>2.1%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	28.9%	34.4%	否定的評価割合	67.7%	61.9%	評価保留割合	2.3%	2.1%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>31.3%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">31.7%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	31.3%		平均値 (R4~R5)		31.7%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	28.9%	34.4%																					
否定的評価割合	67.7%	61.9%																					
評価保留割合	2.3%	2.1%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	31.3%																					
平均値 (R4~R5)		31.7%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>18~19歳: 69.7% (positive), 70.8% (negative) 20~29歳: 27.7% (positive), 72.0% (negative) 30~39歳: 24.5% (positive), 59.7% (negative) 40~49歳: 27.7% (positive), 69.6% (negative) 50~59歳: 35.4% (positive), 63.2% (negative) 60~64歳: 36.2% (positive), 54.7% (negative) 65~69歳: 39.5% (positive), 60.0% (negative) 70歳以上: 24.3% (positive), 54.7% (negative)</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <p>肯定的評価割合: R3(31.3%), R4(28.9%), R5(34.4%) モニター(参考): R3(30.3%), R4(33.7%), R5(38.2%)</p>																					
【モニター(の)主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニター(の)主な否定的意見】																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓日程が合えば参加している ✓近所の神社、寺などに行く ✓楽しいから 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓参加する行事があるのかわからないから 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓運動会など参加している ✓行事が沢山ある 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の伝統的な行事が不明、募集要項も不明、消防団には絶対に入らないと決めている ✓どんど焼きがあったが知り合いも少なく子供連れで参加するのは大変だったので行かなかったから 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓子供のために参加しています ✓こどもと神社のお祭りなど参加する ✓なるべく色々な行事に参加するようにしている 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域との関わりが少ないのであまり参加していません ✓理解が低い ✓興味がないため ✓自分の住んでいる地域がよくわからず、回覧板でまわってくる地域のイベントが開催されている場所がよくわからないので参加できない。 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓県無形民俗文化財の「犀川神社の杜煙火」と市無形民俗文化財の「犀川神社太神楽」が奉納される秋季例大祭に消防団員として出動している。 ✓参加している 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓参加していないから ✓近所は行きたくない ✓出身が地元でないので感心が薄い ✓機会が少ないのであまり参加できない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓神社のお祭りやどんど焼きなど子供と楽しんでいる ✓家族が、神楽をしている ✓どんど焼きなど、参加している 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓参加する機会を持つ ✓子供がいなくなって行かなくなった ✓魅力を感じない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓保存していかなければいけない ✓文化祭に色々な作品を提供している ✓祭り等に参加している 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓もともとの出身地ではなく、後から家を建て住んでいるため、あまり関心が持てない ✓機会がないから 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓すべて出席 ✓私の地域ではそのような行事は少ないが、どんど焼き、秋の例祭等々には参加している 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓参加したことはない ✓地域の人材を発掘して、地域新聞を発行している。補助が欲しい 																					

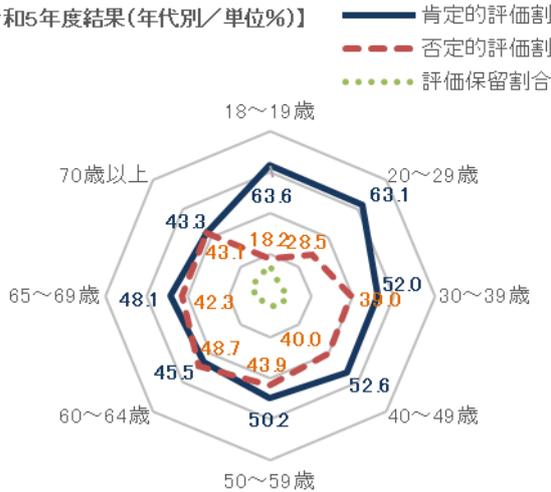
【施策コード／施策名】 5-4-1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進	【担当部局】 文化スポーツ振興部
--	---------------------

【区分】	【指標名】
●	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている

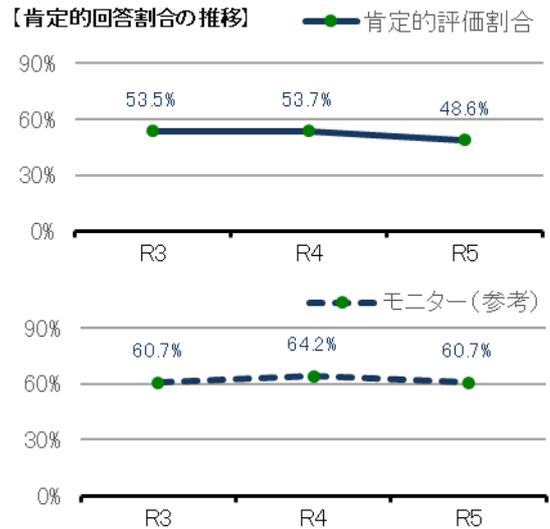
	R4	R5
肯定的評価割合	53.7%	48.6%
否定的評価割合	37.7%	41.9%
評価保留割合	7.5%	7.5%

現状値 (R3)	目標 (R9)	53.5%	
平均値 (R4~R5)		51.2%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓公園などがあるがボール禁止の公園はどうかと思う	19歳以下	✓公営の施設が少ない
✓オリンピックの施設や広くて大きい公園、施設で運動が出来るのを知ってるから	20~29歳	✓体育館やプールなどいちいちお金をとるから
✓運動公園や施設がある為		
✓東和田運動公園がよい	30~39歳	✓スポーツ施設が身近にないため、自分で体操やウォーキングをする程度
✓運動公園、北部レクリエーションパークとか		✓スポーツ施設、公園が少ない
✓公園の整備ももちろんそうだが遊園地というちょっとしたスペースを見つけて子どもと遊んでいる		✓時間がないから活用できない
✓周りに運動できる施設がたくさんあるから	40~49歳	✓公園はあるがマナーが悪い人がいて使いづらいときがある✓ないから
✓近所の小学校のグラウンドを休日の野球チームに貸し出している。近所の水泳用のプールも、安い金額で利用できる。少し離れたスケート場も安価で利用できる		✓ウィンタースポーツを無料で、且つ親の負担無しで連れてってください。子ども達は行きたいけど、親の負担が大で連れてってあげられない涙
✓公園など利用出来る場所が多い	50~59歳	✓運動公園の近くならいけど
✓健康増進や健康寿命延伸の取り組み		✓気軽にできそうな場所はない
✓市報で見かけます		✓公園でボール遊びができない
✓どこでも運動できそうな環境	60~69歳	✓圧倒的に環境が劣っています。駐車場も狭し最低ランクかと思います
✓施設は充実しているから		✓施設はあるが、整備・運用は足りない
✓スポーツジムや施設も増えて、環境は整っていると思う。それを活用するかしないかは人それぞれ	70歳以上	✓グラウンド、テニスコートをもっと活かした利用が必要
✓施設的には整備されている		✓施設や場所が近くにない
✓オリンピック関連施設が活用されている		

【施策コード／施策名】 5-4-2 スポーツを通じた交流拡大の推進	【担当部局】 文化スポーツ振興部
--------------------------------------	---------------------

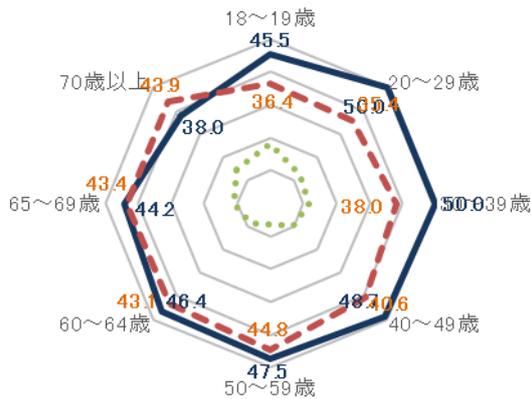
【区分】	【指標名】
●	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている

	R4	R5
肯定的評価割合	40.4%	44.3%
否定的評価割合	46.1%	42.4%
評価保留割合	12.2%	11.2%

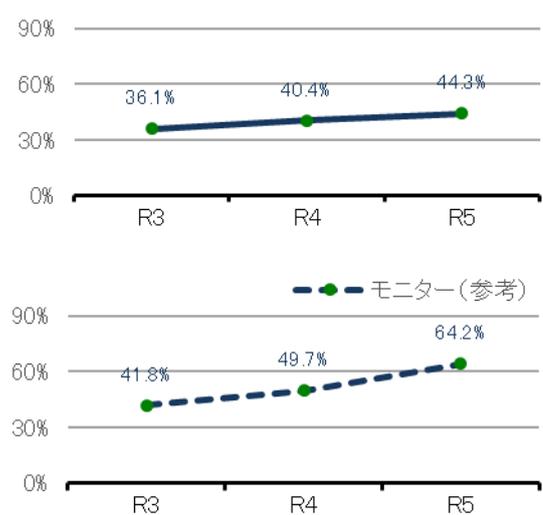
現状値 (R3)	目標 (R9)	36.1%	
平均値 (R4~R5)		42.4%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓大会とか見に行ったことがあるから ✓バスケやサッカーなど試合がたくさんある 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓大きな施設の立地があまり良くない
<ul style="list-style-type: none"> ✓スピードスケートはエムウェーブで大会を開催しているから ✓サッカーやバスケがとても盛り上がっているとおもうから 	20~29歳	
<ul style="list-style-type: none"> ✓バスケットボールやサッカーが盛り上がっている ✓いろんな試合が活発に行われている 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓場所がない ✓実感することがない ✓ほかにもっと注力しなければならないことが行政としてあると考えます
<ul style="list-style-type: none"> ✓バスケやサッカーなど地域で応援できるスポーツがたくさんあるから ✓スケートなどよく大会が行われていると感じている ✓行かないが、周知しているから 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓Bリーグしか知らない ✓バスケ、サッカーは盛んだが、他のスポーツももっと盛り上げて欲しい ✓公費が投入されてるわりに集客いまいち
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域密着型のスポーツ活動の支援 ✓スケート、スキー競技に出たよ。という子どもが増えた ✓プレイブウォリアーズやパルセイロなど応援したい 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓男子バレーの国際試合を招致して欲しいです ✓ウインタースポーツ以外に国際試合などに使える会場がない ✓やられているがもっと色々な競技の全国大会の会場とかにはなっていない
<ul style="list-style-type: none"> ✓バスケットボールも加わって、盛んになってきた。オリンピック施設の活用で全国大会もやってみたい ✓イベントが多い 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓開催数は少ないように思う ✓各施設の駐車場が狭くて気軽に観覧できますか？これでは楽しめません、億劫になります
<ul style="list-style-type: none"> ✓サッカー・野球・バスケットボールなどプロスポーツ競技にふれる機会が増えた ✓プロ野球がなかなか来ないですね 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓サッカーとバスケ以外は力が入っていない様です ✓市の広報誌に記載があるがそれ以外に情報を知る機会がない

【施策コード／施策名】 5-4-2 スポーツを通じた交流拡大の推進		【担当部局】 文化スポーツ振興部																					
【区分】	【指標名】																						
○	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>16.1%</td> <td>20.7%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>81.0%</td> <td>76.1%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>2.0%</td> <td>1.8%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	16.1%	20.7%	否定的評価割合	81.0%	76.1%	評価保留割合	2.0%	1.8%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>16.8%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">18.4%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)	16.8%		平均値 (R4~R5)		18.4%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	16.1%	20.7%																					
否定的評価割合	81.0%	76.1%																					
評価保留割合	2.0%	1.8%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	16.8%																					
平均値 (R4~R5)		18.4%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>— 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ●●●●● 評価保留割合</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p>																					
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 最近は行ってないがよく行っていた ✓ 頻繁に見に行くから ✓ たまに見る 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 興味がない 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子供とバスケットボールやサッカーを観戦したりします ✓ サッカーとバスケットを見ます ✓ パルセイロは好きで観戦している ✓ 学校から無料券をもらってくると、やることを知るので、その機会にせっかくだから行こうと思う 		20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 行きたい気持ちはあるが仕事の関係で実現できていない(ホワイトリングでプレイウォリアーズ試合観戦) 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 都合が合えば参加している。テレビで見るのと実際に生で見るのは迫力が違うので、子供に経験させてあげたいから。 ✓ バasketを観戦している ✓ 意識的に参加して盛り上げようとしている 		30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 行く機会がない ✓ 子供が幼く自分もそこまで興味がないため ✓ イベントがない ✓ バレーボールに興味があるので参加してみたい 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ スポーツを通じた交流拡大 ✓ パルセイロのサッカー観戦が好きだからよく行く ✓ パルセイロ や プレイウォリアーズの試合を見に行っている 		40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 大会をやっているのは知っているが、見に行っていない ✓ テレビ中継が便利だから ✓ スポーツ観戦はあまり興味がない 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 信州BWなど観戦している ✓ 年に数回パルセイロの応援に行く ✓ 駐車場が少なくよほど興味のある大会を覚悟をもって出かけ楽しんでいる。駐車場の収容を気にしなく楽しみたい 		50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 参加なし ✓ 行く気がしない ✓ 行きたいものがない 																				
		60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ あまり興味ない ✓ 観戦していないので ✓ 混んでいるので行かない ✓ 今の生活でそんな余裕がない 																				
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現在は諸事情があって観戦出来ていないが、チャンスがあれば是非観戦したい ✓ 興味がない ✓ テレビなどでずませている 																				

【施策コード／施策名】 5-5-1 国際交流活動の推進		【担当部局】 企画政策部、教育委員会																																																	
【区分】	【指標名】																																																		
●	国際交流が盛んに行われている																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>14.2%</td> <td>17.4%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>60.1%</td> <td>56.7%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>24.6%</td> <td>23.6%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	14.2%	17.4%	否定的評価割合	60.1%	56.7%	評価保留割合	24.6%	23.6%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>12.3%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">↑</td> </tr> <tr> <th>平均値 (R4～R5)</th> <td>15.8%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)		12.3%	↑		平均値 (R4～R5)	15.8%																												
	R4	R5																																																	
肯定的評価割合	14.2%	17.4%																																																	
否定的評価割合	60.1%	56.7%																																																	
評価保留割合	24.6%	23.6%																																																	
現状値 (R3)	目標 (R9)																																																		
	12.3%																																																		
↑																																																			
平均値 (R4～R5)	15.8%																																																		
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <table border="1"> <caption>令和5年度結果(年代別/単位%)</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>否定的評価割合</th> <th>評価保留割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>18～19歳</td><td>24.3</td><td>42.4</td><td>24.6</td></tr> <tr><td>20～29歳</td><td>24.6</td><td>50.7</td><td>24.6</td></tr> <tr><td>30～39歳</td><td>19.0</td><td>57.0</td><td>24.0</td></tr> <tr><td>40～49歳</td><td>17.4</td><td>59.4</td><td>23.2</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>19.4</td><td>59.5</td><td>21.1</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>21.3</td><td>57.8</td><td>20.9</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>15.0</td><td>60.8</td><td>24.2</td></tr> <tr><td>70歳以上</td><td>14.3</td><td>53.8</td><td>31.9</td></tr> </tbody> </table>		年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合	18～19歳	24.3	42.4	24.6	20～29歳	24.6	50.7	24.6	30～39歳	19.0	57.0	24.0	40～49歳	17.4	59.4	23.2	50～59歳	19.4	59.5	21.1	60～64歳	21.3	57.8	20.9	65～69歳	15.0	60.8	24.2	70歳以上	14.3	53.8	31.9	<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <table border="1"> <caption>肯定的回答割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>肯定的評価割合</th> <th>モニター(参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R3</td><td>12.3%</td><td>10.7%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>14.2%</td><td>10.4%</td></tr> <tr><td>R5</td><td>17.4%</td><td>17.3%</td></tr> </tbody> </table>		年度	肯定的評価割合	モニター(参考)	R3	12.3%	10.7%	R4	14.2%	10.4%	R5	17.4%	17.3%
年代	肯定的評価割合	否定的評価割合	評価保留割合																																																
18～19歳	24.3	42.4	24.6																																																
20～29歳	24.6	50.7	24.6																																																
30～39歳	19.0	57.0	24.0																																																
40～49歳	17.4	59.4	23.2																																																
50～59歳	19.4	59.5	21.1																																																
60～64歳	21.3	57.8	20.9																																																
65～69歳	15.0	60.8	24.2																																																
70歳以上	14.3	53.8	31.9																																																
年度	肯定的評価割合	モニター(参考)																																																	
R3	12.3%	10.7%																																																	
R4	14.2%	10.4%																																																	
R5	17.4%	17.3%																																																	
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																																																
✓学校でもグローバルな交流を行っているから	19歳以下	✓コロナで国際交流がなくなってから、少なくなったまま																																																	
✓長期休暇の時期は長野駅に外国の方で溢れるから ✓技能実習生が多いから	20～29歳	✓あまり耳にすることがない																																																	
✓海外の旅行客が多くいるため ✓インバウンド客の増加 ✓雪山や観光地などには沢山の旅行者が来ていて交流は増えている	30～39歳	✓一般市民には馴染みがない ✓駅前を歩く外国人は見かけるが、地域に住む外国人との合流はない ✓まわりで聞かない																																																	
✓学校を通して、海外留学生が来日し一緒に過ごす機会が実際にあったし、ネイティブの先生から学校で英語を学ぶことが出来ているから。 ✓外国人観光客が長野駅にいっぱいいると思う	40～49歳	✓目にする機会がない ✓触れ合う機会はない ✓もう少し身近に国際交流出来たら良いですね																																																	
✓ニュースでみる ✓姉妹都市・友好都市の交流	50～59歳	✓近辺では全くない ✓そのような現状を目にしないため。また、在住外国人の友人・知人から、そのような機会があると聞かないため																																																	
✓外国人が増えたと感じるので ✓職場は環境が整っている	60～69歳	✓一般市民も交流できる環境作りに励んでください ✓国際交流の情報は日常全く聞きません																																																	
✓参加した事は無いが広報で催事を告知してる	70歳以上	✓そうした場面に合った経験が乏しく、感じられない																																																	

【施策コード／施策名】 5-5-1 国際交流活動の推進	【担当部局】 企画政策部、教育委員会
--------------------------------	-----------------------

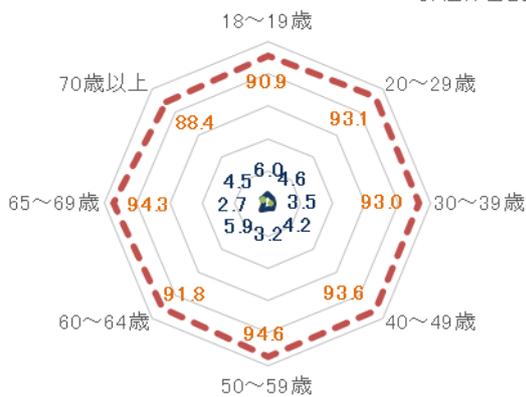
【区分】	【指標名】
○	国際交流イベントに参加している

	R4	R5
肯定的評価割合	3.0%	4.1%
否定的評価割合	92.8%	91.8%
評価保留割合	3.1%	2.4%

現状値 (R3)	目標 (R9)	3.2%	
平均値 (R4~R5)		3.6%	

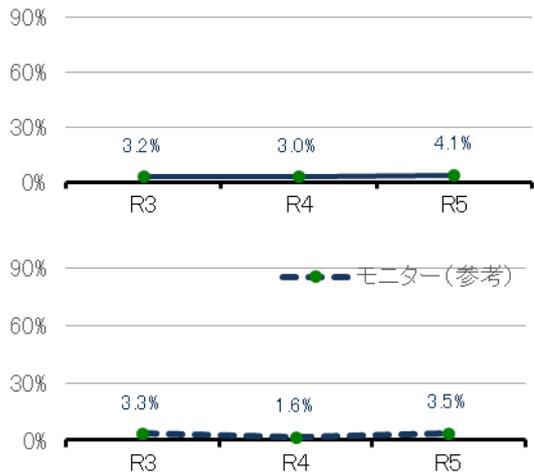
【令和5年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】

- 肯定的評価割合
- モニター(参考)



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓最近、イベントが少ないので参加できない ✓国際交流に興味が無いから
	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓市内でそういったイベントはあまりないと思っています ✓行ったことがない ✓そういう機会がない
	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓参加経験なし ✓イベント内容を知らない ✓イベントがあることを知らない ✓開催状況を知らないため
✓子供の通う学校で国際交流イベントがあり実際に参加した。家族一同よい経験となった	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓イベントをやっているか分からず ✓何をしているのか不明 ✓参加したことがない ✓興味ない
	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓語学が得意でないため ✓イベントがあるのを知らない ✓興味がない ✓参加したことがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓個人で知っている外国の人と交流している ✓現在通っている英会話スクールの講師の方からイベント案内があれば参加しています 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に参加していない ✓機会、関心が無い ✓参加したことがない ✓イベントを知らない
✓外国人と知り合えるのは楽しい、手助けできればと思う	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓全くもってそのような機会がないため参加出来ない ✓参加したことがない ✓身近にないため

【区分】	【指標名】
○	外国の文化や習慣を理解しようと努めている

	R4	R5		
肯定的評価割合	31.0%	30.4%	現状値 (R3)	29.4%
否定的評価割合	62.2%	63.2%	目標 (R9)	30.7%
評価保留割合	5.5%	4.9%	平均値 (R4～R5)	30.7%

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 他国の文化などを知るの、とても楽しい ✓ 外国の文化がすきだから ✓ 外国からきた従業員とよく話をする 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外国の文化や習慣に興味が無いから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 勉強している ✓ おもしろいから ✓ 興味はものすごくあるのでテレビ番組などはよく見ます 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外国人ばっかの長野駅を見ると私生活に影響があるように感じるから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日本にくる海外の方は多いし、逆に子供が海外に行くことも今後あるので、お互いの文化を理解しあうことが交流の第一歩だと思う。 ✓ 興味はあるので、色々学びたいと思う為 ✓ できる範囲で 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 触れる機会がない ✓ 外国より日本の文化に興味がある ✓ 身近にいないので
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 友人知人親族に外国人が複数人いるため ✓ 外国に興味があるのでチャンスがあれば是非知りたいたいと思っている ✓ 友人に外国籍の人が多いで… 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 周りに外国人もいないため、外国についてはあまり関心がない ✓ 触れる機会が無い ✓ 特に意識してしたことがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 英国人と英会話の勉強を通じて ✓ 毎年、少なくとも2回は欧州、米国、アジアなどへ一人で海外旅行して国際感覚が鈍らないようにしています。 ✓ 海外旅行も良く行くし、海外からの旅行者にも関心がある 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外国人が暮らしやすく共生できる環境整備 ✓ 海外居住経験があるので既にわかっている ✓ 何もしていません ✓ そもそもこの設問自体が前時代的
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 多様な文化に触れることは大事なことです。理解するよう努めている ✓ 知識としては取り入れているが、使う場面はない 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 機会、関心がない ✓ 日本では外国人との付き合いがない ✓ 海外旅行も行かないし、外国人との交流もないので、理解する以前です ✓ 今の生活でそんな余裕がない
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 機会がない ✓ していない

【施策コード／施策名】 6-1-1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進 6-1-2 インバウンドの推進	【担当部局】 商工観光部
---	-----------------

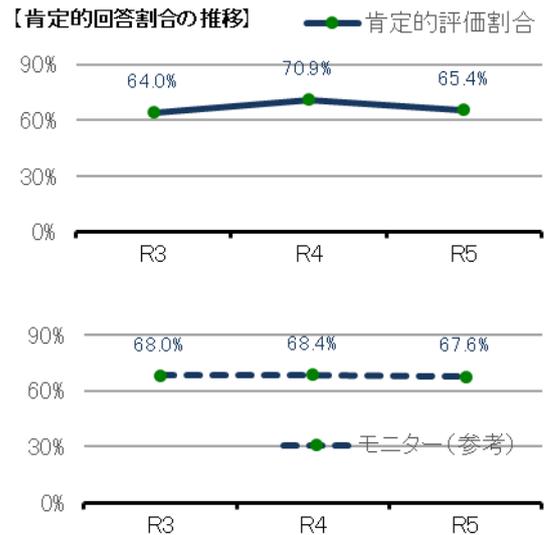
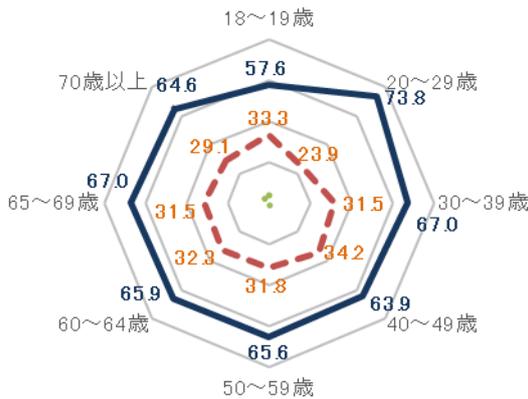
【区分】	【指標名】
●	長野市は、魅力的な観光都市である

	R4	R5
肯定的評価割合	70.9%	65.4%
否定的評価割合	26.3%	30.9%
評価保留割合	1.8%	1.8%

現状値 (R3)	目標 (R9)	64.0%	
平均値 (R4~R5)		68.2%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓よく観光客を見かけるか ✓人情ある街だから 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓自分では魅力に気づかないのかもしれない
<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺や松代、八幡原等観光に適した施設がたくさんあるから ✓善光寺、そば、りんごがあるから 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺しかない。もっと県外から来た人が、楽しく遊んだりショッピングできたりする場所がほしい
<ul style="list-style-type: none"> ✓神社や公園が沢山ある。幼児なら城山動物園や恐竜公園を組み合わせると十分に満喫している ✓自然環境は素晴らしい ✓そうでありたいです、自分の周りの県外在住者の皆さん…長野市＝善光寺のイメージだそうです 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓住んでもあまり魅力的とは思わない ✓観光名所は善光寺しかない様な気がする
<ul style="list-style-type: none"> ✓夏も冬も観光できる ✓善光寺、戸隠等魅力的な観光地がたくさんあるし、外国人観光客を町でたくさん見かけるから ✓歴史・文化、豊かな自然環境に恵まれている。但し、松代のように観光資源に恵まれながら十分に活かしていないところがある。 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺しかない!! ✓善光寺ぐらいしか思いつかない ✓おもてなしの精神が足りない
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野オリンピック後、すさまじい変化をした観光都市だと思う ✓善光寺、戸隠、自然が多い ✓外国人観光客が多い 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓厳しいことを申し上げますが善光寺以外にないという印象 ✓建物を建てれば観光都市になるかのように感じています
<ul style="list-style-type: none"> ✓美しい四季ごとの自然美が味わえることにおいては、日本でトップクラスだと思います ✓自然や歴史など魅力ある市だと思う 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓善光寺しかない ✓イオンがオープンとなる事の経緯が長野市での対応が恥ずかしい
<ul style="list-style-type: none"> ✓飯綱や戸隠・鬼無里があるから ✓善光寺の印象が強い。ただし若者に魅力があるかという疑問 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓自分の生活の場だからそのように感じるのかもしれないが、ターミナルとして他市町村に観光客を送っているように見える

【施策コード／施策名】 6-1-1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進		【担当部局】 商工観光部																					
【区分】	【指標名】																						
○	知人や友人などに地域の魅力を伝えている																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>31.8%</td> <td>30.8%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>62.6%</td> <td>63.9%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>4.3%</td> <td>3.7%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	31.8%	30.8%	否定的評価割合	62.6%	63.9%	評価保留割合	4.3%	3.7%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>33.1%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">31.3%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	33.1%		平均値 (R4~R5)		31.3%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	31.8%	30.8%																					
否定的評価割合	62.6%	63.9%																					
評価保留割合	4.3%	3.7%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	33.1%																					
平均値 (R4~R5)		31.3%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p>																					
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野の自然の良さを広めたりしています ✓観光地をおすすめしている ✓なんだかんだ長野はいい街 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の魅力がわからないから ✓知人は長野市内にいる人ばかりだから 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓新しい施設などができれば、親戚などに紹介している ✓長野のことをよく話します ✓宅配便で名産品を送ったりしている 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓魅力が何かわからない ✓伝えたことがない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓SNSで発信したり、県外の友人に会った時に話したりしている ✓仕事で ✓おいしい食べ物やお土産などおすすめできるものはいろいろと教えてあげます 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓そこまでPRする部分がない ✓特に話すほどの魅力がない ✓魅力と思うことがあまりないので ✓なかなかそういう話題にはならないので 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野は良いと思うから ✓写メを送ったりする ✓善光寺ぶらり散歩とかします 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓そういった話はあまりしない ✓特に意識していない ✓地域の魅力がわからない ✓あまり積極的に魅力を語ることはないです 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓四季の美しさ、自分の好きな場所を伝えている ✓海外にいる友人に伝えている ✓それほど熱心に行っているわけではない ✓他県の友人に地元の魅力を宣伝しています 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓機会がない ✓そういう話はしてないです ✓長野市に魅力を感じていないため発信してないです 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓食事所、焼酎、酒等について ✓遠方の親戚には観光案内をした ✓地域新聞の発行 ✓近くのお店などの情報を伝えている 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域に魅力を感じない ✓関心がない ✓今の生活でそんな余裕がない ✓理由の書きようがない 																					
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の方々にわが町のストロングポイントを伝えるようにしている ✓若いときは伝えていたが、今はしていない ✓していない 																					

【施策コード／施策名】 6-1-2 インバウンドの推進		【担当部局】 商工観光部																					
【区分】	【指標名】																						
○	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>33.7%</td> <td>36.5%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>56.0%</td> <td>54.0%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>9.2%</td> <td>7.9%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	33.7%	36.5%	否定的評価割合	56.0%	54.0%	評価保留割合	9.2%	7.9%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>33.0%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">35.1%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	33.0%		平均値 (R4~R5)		35.1%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	33.7%	36.5%																					
否定的評価割合	56.0%	54.0%																					
評価保留割合	9.2%	7.9%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	33.0%																					
平均値 (R4~R5)		35.1%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>— 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 評価保留割合</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p>																					
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓自分が海外に行って困っていた時に声をかけてくれたら、助かるから ✓電車や、道に困っていたら相談に乗るようにしている ✓声をかけられたら対応する ✓不便なく長野を楽しんでほしいから ✓自分が困っていたら助けてほしいから ✓意識して、声がけているから ✓英語が少し話せるので ✓先日も英語で案内することができた、積極的に手助けをしていきたい 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓英語が苦手でコミュニケーションが取れないから ✓英語がわからないから ✓英語があまり話せないから 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓自分が困っていたら助けてほしいから ✓意識して、声がけているから ✓英語が少し話せるので ✓先日も英語で案内することができた、積極的に手助けをしていきたい 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓していません ✓出会ったことがない ✓まわりにいないから ✓英語が苦手なのであまり積極的にはできていない ✓英語が話せない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓困ってる人は、助けるべきだと思うので ✓見かけたら声はかけている ✓外国人観光客も最近が多いので、困っていたら助けてあげたいと思う ✓外国人観光客だからということではなく、困っている人には手助けをする 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓遭遇していないから ✓困ってる外国人にあったことがない。みんな旅行なれしているようにみえる ✓英語が話せないし どう接したらいいかわからない ✓市街地に行く事がないので 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓特に理由はありますが、英語は話せるため ✓手助けするように心がけている ✓困っている人は助けたいから ✓駅等では声かける 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓外国人観光客を円滑に受け入れる環境整備 ✓外国人は怖そう ✓見かけたことがない ✓スマートフォンを持っていると思います 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓人間として当たりまえだ ✓英語を始め中国語、フランス語、スペイン語が少々話せるのでできる限り、長野駅や善行寺などで困っている外国人観光客の方にお声をかけています。 ✓何をしたいのか、どうしたらいいか聞き助ける ✓積極的に(おせっかい)でもやりたいと思っている ✓何度か拙い語学で手助けしたことはある 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓接点がない ✓機会がないので ✓しりごみしてしまう ✓今の生活でそんな余裕がない 																					
	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓英語が話が出来ず英会話教室を市で作ったら良いと思う ✓語学が拙い 																					
	70歳以上																						

【施策コード／施策名】 6-1-3 コンベンションの誘致促進	【担当部局】 商工観光部
-----------------------------------	-----------------

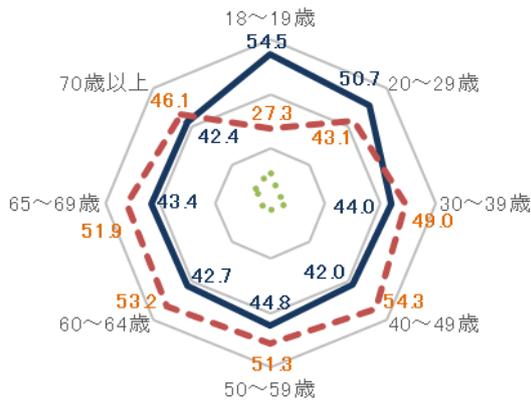
【区分】	【指標名】
●	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている

	R4	R5
肯定的評価割合	43.6%	43.6%
否定的評価割合	49.5%	49.4%
評価保留割合	5.8%	4.8%

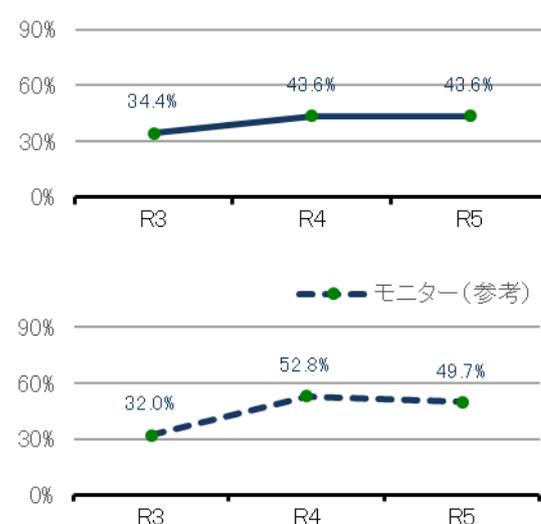
現状値 (R3)	目標 (R9)	34.4%	
平均値 (R4~R5)		43.6%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



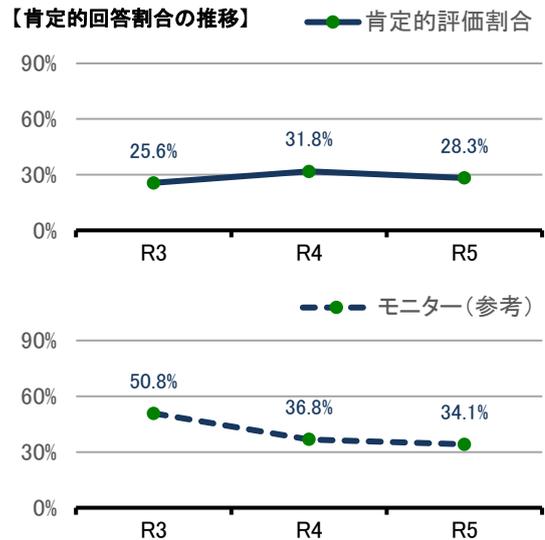
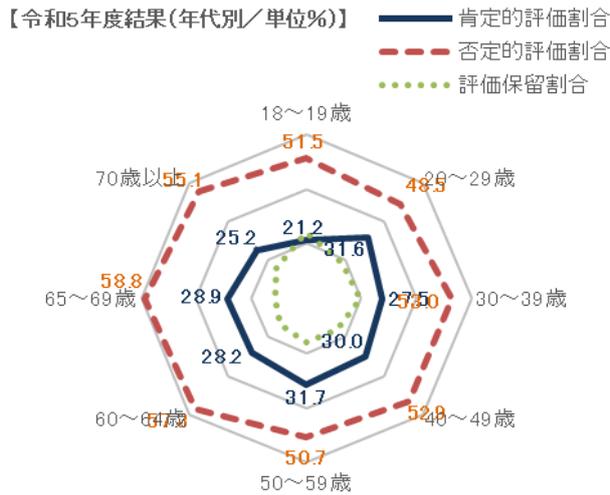
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓道が混んでいる時はライブやイベントがあるときが多いから ✓GENERATIONSが来た時は盛り上がった 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓賑わっているかわからない
<ul style="list-style-type: none"> ✓人気アーティストのコンサートだとシャトルバスが出てとても活気づいていると感じる ✓人が集まって盛り上がっているから 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓イベントが少ない
<ul style="list-style-type: none"> ✓人が集まっているだけで賑わいがあって良い ✓色んな催しがあります ✓ライブなど稀にある 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓一時的で駅前に限った事だと思う ✓にぎわいまでは感じない
<ul style="list-style-type: none"> ✓バスケットボールとかの試合があつたりとか ✓コンサートや、スポーツ大会があると目に見えて長野駅が人で溢れていると思う 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓コロナ後だからか、活気は感じない ✓にぎわいが出るような催しがあるのか不明です ✓どちらかという、閑散としている気がする
<ul style="list-style-type: none"> ✓コンサートがある日などは人出が多く感じられる ✓イベントを増やしてにぎわいを作ってほしい 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓あまり、コンサートなど、他県にくらべ少ないように思うから ✓駅周辺、会場周辺にそれ以外の施設が少なく、にぎわいとまでいっていないと思う
<ul style="list-style-type: none"> ✓沢山のイベント期待します ✓コンサートは、大好き ✓アフターコロナでにぎわいが戻ったと感じる 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓そこそこ頑張っていますが、松本市に比べればはるかに下だし、美術館の行事には落胆している、ホクトのみに頼っています ✓一部の方々に留まる現状
<ul style="list-style-type: none"> ✓本人が好きなので、気にしているせいかなと思う ✓美術館ができてコンサートも増えた ✓新幹線や 高速バスでやってくる 観客が多いと聞くしのりがある市内のホテルが満室になることも 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓できていないと思う、もっと招致すべきだと思います ✓にぎわいの創出はイベントの開催のみではなく、日常性の中に見出していくこと

【施策コード／施策名】 6-2-1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進	【担当部局】 農林部
---	---------------

【区分】	【指標名】
●	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる

	R4	R5
肯定的評価割合	31.8%	28.3%
否定的評価割合	52.0%	54.0%
評価保留割合	15.4%	15.6%

現状値 (R3)	目標 (R9)	25.6%	↗
平均値 (R4~R5)		30.1%	



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 小学校で農業をやっていたから ✓ 前者はそうだが後者は疑問。農業に若者が従事しているところをあまり見かけないから ✓ 良く見る 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高齢化していると思う
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 川中島駅前では野菜市で高齢者や女性が交流しているし、農業クラブがある ✓ 新聞等でそういった記事を見かける機会が増えたように感じる ✓ 若い人も農業をしていると見聞きしたから 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 若者が農業する姿を見かけない ✓ 農業をしているのは高齢者が多いから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 以前農業を手伝うアルバイトをした際、若い方がたくさん来ていて新鮮な気持ちになった ✓ 活躍をニュースなどで目にする 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 生き生きとはしていません。働かなければならないので子育てしながら必死です ✓ 田畑の傍に住んでないから見かけないし、見かけてもリアイア後の家庭菜園の人程度。ちなみにその時間はこっちも働いとるがな
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近所の畑は女性が頑張ってます ✓ 移住者が農業をしているのを見る ✓ 市民農園が充実 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 若者が農業へ進む話を聞かない ✓ そのような姿を目にしたことがない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 若い人が、増えた。 ✓ 高齢者や女性がいきいき、とは至っていません。若者が従事する姿は散見できるようになりました 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近隣町村(飯綱町、信濃町、小川村など)に比べると、行政努力も少ない印象があります ✓ 若者自体が減っていて 農業の担い手は不足している気がする
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 若者が農業に取り組まれているとの情報もあり、近辺では高齢者が取り組んでいる 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 農業場離れがますます進んでいる ✓ 高齢者の方は農業が生きがいになっている姿をよく見かけますが、若い人が農業に従事している姿はめったに見ません。
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 農業だけでは食べていけない 会社のやるべき事 ✓ ほんの一部ではあるが全体的に減少・衰退

【施策コード／施策名】 6-2-1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進		【担当部局】 農林部																					
【区分】	【指標名】																						
○	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>42.2%</td> <td>40.3%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>54.9%</td> <td>56.3%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>1.9%</td> <td>1.8%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>42.4%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">41.3%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	42.2%	40.3%	否定的評価割合	54.9%	56.3%	評価保留割合	1.9%	1.8%	現状値 (R3)	目標 (R9)	42.4%		平均値 (R4~R5)		41.3%			
	R4	R5																					
肯定的評価割合	42.2%	40.3%																					
否定的評価割合	54.9%	56.3%																					
評価保留割合	1.9%	1.8%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	42.4%																					
平均値 (R4~R5)		41.3%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>【肯定的回答割合の推移】</p>																							
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓学校で農業を勉強している? ✓家庭菜園をやっているから ✓りんごのシール貼りに参加した ✓家庭菜園をしている 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓時間がないから ✓興味がない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓プランターでハーブを育てる程度 ✓家庭菜園やってる ✓ベランダで ✓農業は大変だが楽しいと思う ✓両親が目の前で畑をしているので、子どもと一緒に収穫をしている 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓自分で野菜や果物を作っていないから ✓環境がない ✓自宅できない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓畑を借りてやっている ✓好きで育てるのを楽しんでいる ✓庭があるので ✓プランターの範囲だが 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓興味ない ✓虫など苦手なのであまり手を出せていない ✓したいと思っているが、時間がない ✓特に畑がないのでやっていない ✓面倒臭い 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓自宅の庭の畑で楽しんでいる ✓家庭菜園している ✓少しですが ✓フルで働いているので、毎日畑に行けないので、てのかからないものを 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓自分で野菜作り等していない ✓実家で野菜を作っているの、作っていない ✓自分で自分作ることはしていない ✓自分で作ろうとは思わない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓自宅の庭の畑で楽しんでいる ✓家庭菜園している ✓少しですが ✓フルで働いているので、毎日畑に行けないので、てのかからないものを 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓農地の集約化と多様な担い手の確保 ✓畑がないのでやっていない ✓土地がない ✓土が嫌い土が嫌い ✓庭や畑がない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓家庭菜園活動中 ✓りんごを作っている ✓家庭菜園を楽しんでいる、余った作物を分けたりもったり交流を楽しんでいる 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓夫はプランターで栽培しているが… ✓時間の確保、場所の準備が無理です ✓集合住宅なので土地がない ✓自分で作るより、できるだけ地元の産業に寄与できるように心がけています。地元の野菜は新鮮でおいしいです 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓りんご、もも、梨、ネクタリン等作っている ✓畑を借りて家庭菜園をしている ✓家庭菜園で楽しんでいる 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓自分には行っていないが妻が野菜づくりに励んでいる。協力するのみ ✓農地を持っていません 																					

【施策コード／施策名】 6-2-2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進		【担当部局】 農林部																					
【区分】	【指標名】																						
●	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>91.7%</td> <td>90.3%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>6.4%</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>1.1%</td> <td>1.2%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	91.7%	90.3%	否定的評価割合	6.4%	7.1%	評価保留割合	1.1%	1.2%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>92.0%</th> <th>➡</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4～R5)</td> <td colspan="2">91.0%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)	92.0%	➡	平均値 (R4～R5)		91.0%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	91.7%	90.3%																					
否定的評価割合	6.4%	7.1%																					
評価保留割合	1.1%	1.2%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	92.0%	➡																				
平均値 (R4～R5)		91.0%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>— 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 評価保留割合</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <p>— 肯定的評価割合</p>																					
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 果物おいしい ✓ 安く買えるし美味しいから ✓ 食べ物は美味しい 		19歳以下																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 産地直売所では沢山売られている ✓ 道行くところに生産されているのを見るから ✓ 川中島などを始め桃など地域ブランドがあるイメージだから 		20～29歳																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ おいしい果物が手に入りやすい土地で有難い ✓ 川中島白桃など聞くから ✓ 美味しくて大好きです 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 豊野や川中島などもっとブランドと所在地を購入者に印象付けるべきかと。観光農園が少なすぎる ✓ 前よりも少ない 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ くだもの王国だと思う ✓ おいしい果実が多い ✓ 県外から多くの方が果物を買いに来られている場面をよく見てきたから。自分も長野は果物がとても美味しいと思っている。 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 良く買うが、いつも外れる。美味しくない ✓ まずい 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 長野市に住んで果物を食べるが多くなった ✓ 桃畑がある地域だから ✓ りんご美味しい 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 実家の須坂と比べると、そうでもないと感じる ✓ 年々減っている 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近くにりんご、もも畑がある ✓ ブランド力は文句なし。今後は温暖化対策が必要 ✓ 須坂市、中野市と連携しておいしい果物産地を全国に周知してください 		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ りんごの味が、おちた 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 温暖化でりんごが出来るのかどうかという不安もある ✓ もっともブドウは他市町村に買いに行ってしまうが ✓ 積極的に発信してないが長野は果物大国だと思う 		70歳以上																					

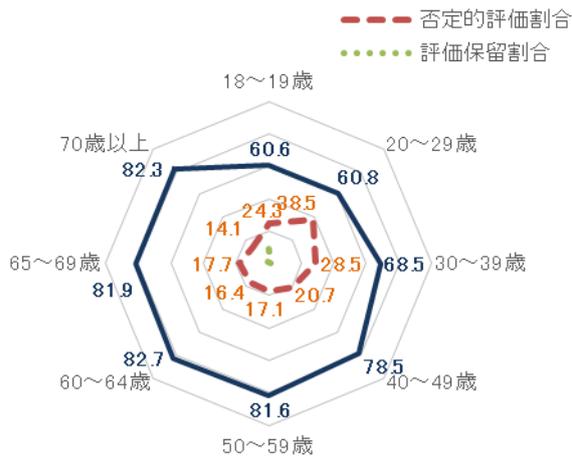
【施策コード／施策名】 6-2-2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進	【担当部局】 農林部
--	---------------

【区分】	【指標名】
○	地元産の農産物を買うように心がけている

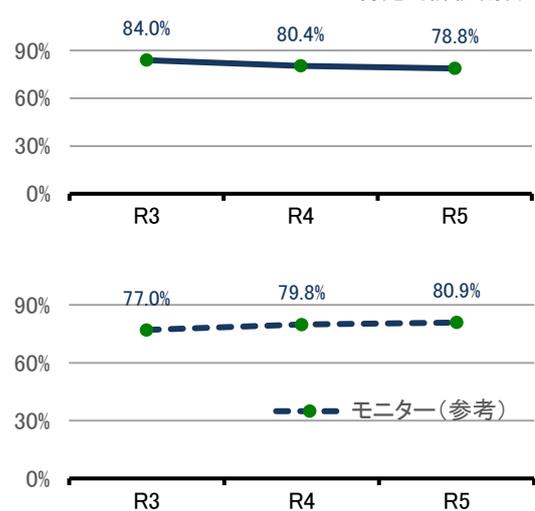
	R4	R5
肯定的評価割合	80.4%	78.8%
否定的評価割合	17.4%	18.9%
評価保留割合	1.3%	0.8%

現状値 (R3)	目標 (R9)	84.0%	➡
平均値 (R4~R5)		79.6%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地元の生産者を応援したいから ✓ 地元の食材を買うようにしているから 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 長野市の地名が書いてあると住んでいる場所から近いか確認するから ✓ 地元の食材を選んでいる ✓ おいしいから 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 農産物が高いので値段が安いものしか買えないから ✓ 安ければ買う ✓ 気にしていない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 安く大きくておいしいので選んでいる ✓ 地産地消を心がけている ✓ 農協で買うようにしている ✓ 長野の食べ物はおいしいから 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高いので ✓ 地元産の方が高いと安い方を買ってしまう ✓ 価格重視になってしまうので ✓ 安く国産のものを買うようにしている ✓ 地元産かどうかは気にしていない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地産地消を大切にしたい。地元産だと安心して購入できると思う ✓ 地場のものを買うようにしている ✓ 直売所を利用している。地元と災害被災地域の農産物を選ぶようにしている ✓ 安心して食べられるから 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地元産より値段を見てしまう ✓ 県内産のほうが値段が高い気がする ✓ スーパーに売ってる物を買うだけ ✓ 意識して買っていない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新鮮で安いので買っている ✓ 生産者さんのお名前入りを買っている ✓ できる限り買うようにしています 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高ければ買わない ✓ 販売価格による ✓ 物価高騰もあり価格優先 ✓ 安いものを買う
<ul style="list-style-type: none"> ✓ スーパーの地産地消のものをよく買う ✓ 直売所をいつも利用している ✓ 新鮮な農産物を、農協のお店に買いに行く 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特に意識はしていない ✓ 近くのスーパーで産地等関係なく手軽に買える物を買いがち
<ul style="list-style-type: none"> ✓ ギフトは全て農産物直売所 ✓ 無人販売やスーパーの地場売場を利用する ✓ 優先に買うようにしている 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自前でまにあう ✓ 値段で見ているからかなあ

【施策コード／施策名】 6-2-3 森林の保全と資源の活用促進		【担当部局】 農林部																					
【区分】	【指標名】																						
●	森林が整備されている地域である																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>41.5%</td> <td>39.1%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>40.7%</td> <td>41.7%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>17.1%</td> <td>17.4%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	41.5%	39.1%	否定的評価割合	40.7%	41.7%	評価保留割合	17.1%	17.4%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>41.7%</th> <th>↑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">40.3%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	41.7%	↑	平均値 (R4~R5)		40.3%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	41.5%	39.1%																					
否定的評価割合	40.7%	41.7%																					
評価保留割合	17.1%	17.4%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	41.7%	↑																				
平均値 (R4~R5)		40.3%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p>																					
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 山に囲まれているから ✓ 綺麗な街だから ✓ 整理されていると思うから ✓ 自然豊かだから 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 場所によって荒れているところもある 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 整備されているのかどうか知る機会がなかった ✓ きちんと整備されていると思う ✓ 道など整備されていると思う 	20~29歳																						
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 手入れがされています ✓ 自然豊かであると思う ✓ 森林セラピーなども行われている 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ イノシシなどもよく出て来ている ✓ 手入れされていない山林が目立つ(地すべりの原因になる) 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 山々が美しいのは、森林が整備されているからだと思う ✓ 自然が多いから ✓ そう思うが、「森林税」の中身が怪しすぎる。これは県税でしたね 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 山はあるが整備はされていない ✓ 手入れもない山が多い ✓ もっと、整備をして欲しい 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 整備されているかは疑問だが、宝を大事にする施策を実行してください、もったいないです ✓ 周囲の自然が良く整備されていると思います 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 荒廃地 ✓ 山は荒れている気がする ✓ 放置されている場所が多い気がします。そういえば森林税はどうなった？ ✓ 手入れが行き届いていない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 四方を山に囲まれているので当然だけど、整備されていると思う ✓ 下草刈りなどしているのか不明 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分の家の森林がどうなっているのか知らないの ✓ 森林はあるが、放置されている。山も売れない ✓ 空き地が増えた 																					
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 必要な整備が行き届いているとは感じることは少ない ✓ 飯綱の倒木を行政が片づけた方が良いと思います 																					

【施策コード／施策名】 6-3-1 商工業の強化と環境整備の促進 6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進	【担当部局】 商工観光部
---	-----------------

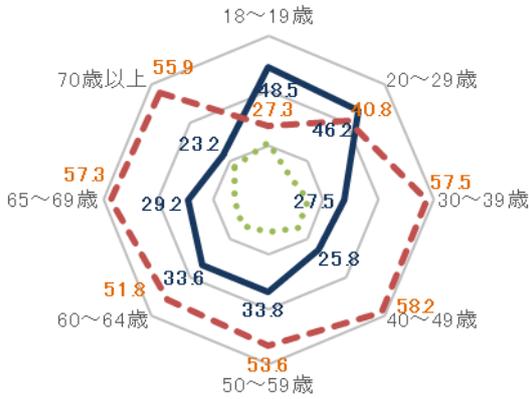
【区分】	【指標名】
●	活力のある企業が多い地域である

	R4	R5
肯定的評価割合	29.9%	28.9%
否定的評価割合	53.8%	54.7%
評価保留割合	15.3%	14.4%

現状値 (R3)	目標 (R9)	30.1%	
平均値 (R4~R5)		29.4%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓新規オープンする店が多いと思う ✓ニュースを見て実感している	19歳以下	✓厳しい状況にある企業も多いのではないかと
✓いつもいろんなイベントを目にする ✓新光電気工業など活力があると思うから ✓田舎で頑張っています！の趣旨の新聞記事をよく見かけるので	20~29歳	✓大学卒業後、市内に大きな企業がないので帰ってきたくても帰って来れない
✓多くの企業があるため ✓近隣の須坂市・高山村などを含めると、優れた機械加工や電子部品メーカーなどが、まだまだ存続している ✓女性が活躍してる企業がある	30~39歳	✓大型のスーパー(イオン、コストコ)がない ✓給料、ボーナスのよい会社があれば教えてほしい
✓製造業は盛んだが、サービス業はイマイチ、長野市にも大型ショッピングモールがあればいいのに ✓知る人ぞ知る・みたいな企業がある	40~49歳	✓大企業は長野市には少ない ✓社長さんたちの経営への悲観な思いを聞くことが多いから ✓老舗だと、創立から長いからと胡座をかいている企業が多い
✓有名企業は多くあると思う ✓大企業はないが、中小は頑張っていると思うので ✓多いかどうかは別として、頑張っている企業が増えていると思います	50~59歳	✓商工業に活気があり企業活動が活性化している ✓交通の便が良いので企業がもっと多くても良いと思う。就職先など
	60~69歳	✓新しい産業を作り育てることが重要 ✓新興企業やベンチャー企業が少なく、新規創業に当たって地元の伝統企業による産業内への参入障壁があるように思います。
	70歳以上	✓大型小売店の撤退など特に小売業に不安、富士通の撤退なども残念 ✓どこに？ ✓長野市全体では活力あると思うが、地元は寂しい限り

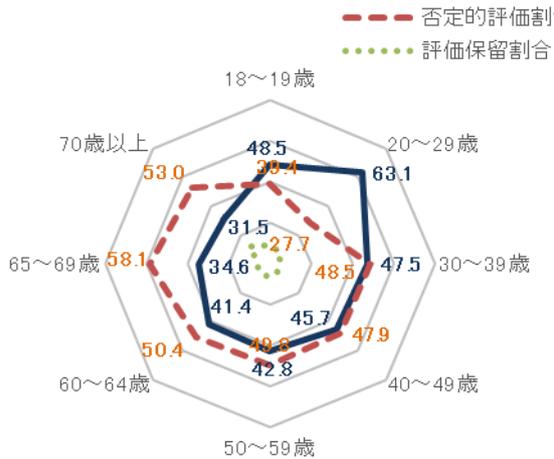
【施策コード／施策名】 6-3-1 商工業の強化と環境整備の促進 6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進	【担当部局】 商工観光部
---	-----------------

【区分】	【指標名】
●	市内に個性的で魅力的なお店が増えている

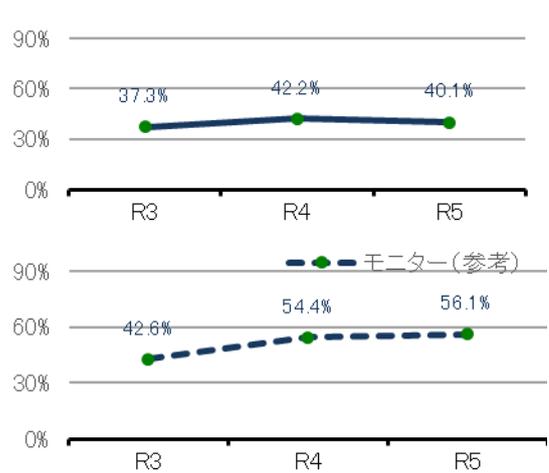
	R4	R5
肯定的評価割合	42.2%	40.1%
否定的評価割合	47.4%	50.0%
評価保留割合	9.5%	8.1%

現状値 (R3)	目標 (R9)	37.3%	↗
平均値 (R4~R5)		42.2%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓新しいお店とか多いから ✓駅前には多く入っていて、楽しいと感じる 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓コストコのリセールストアが出来ていつ行ってもお客さんがたくさんいます。こういったお店が増えて欲しいと思っています ✓おしゃれなカフェが増えているイメージ 	20~29歳	✓廃れている
<ul style="list-style-type: none"> ✓飲食店が充実してきている ✓なんかあるよね、新しい店。気付くと閉店 ✓個人店でおしゃれな場所がどんどん増えている ✓蔵をブルワリーにしたり飲食店にしたり、長野独自の素敵なお店が多い ✓善光寺近辺など、小さいお店が増えて楽しい 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓少ない ✓県庁所在地なのに、大型店舗がなさすぎる ✓オープンして行こうと思っているうちに閉店していることが多い
<ul style="list-style-type: none"> ✓たまたま散歩していて新しいお店を見つける機会が多くなり、入ってみたいと思うお店が多いから ✓おしゃれなカフェが増えたと思う ✓新しい飲食店などが増えている 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓買い物する所がない ✓買いたいものが店にないと感じることが増えた ✓コロナ前に戻って欲しい
<ul style="list-style-type: none"> ✓移住した人など若い人が新しいお店を作っている ✓若い人が新しい店を開いている ✓中央通りや善光寺周辺はそういうお店も増えてきている 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓個性的で魅力的なお店を見たことがない ✓つぶれても同じような店ができるばかり
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野駅前、善光寺周辺には通いたいカフェやレストランがたくさんある。篠ノ井駅前も少しずつ頑張っているようだ ✓自分では利用しないが、TV等で見てそう思う 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓逆に、空洞化が進んでいると思う ✓むしろ商店街の退店が目立ちます ✓個性的なお店といえば個人経営になるので、厳しい現実だと思う。特徴があってもニーズや客数のボリュームが少ない
<ul style="list-style-type: none"> ✓撤退も早いけど出店するのは良い事と思う(長野に商売のチャンスを感じたという事だから) ✓いい傾向だと思う 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓飲食店のみ ✓逆に減少しているのでは

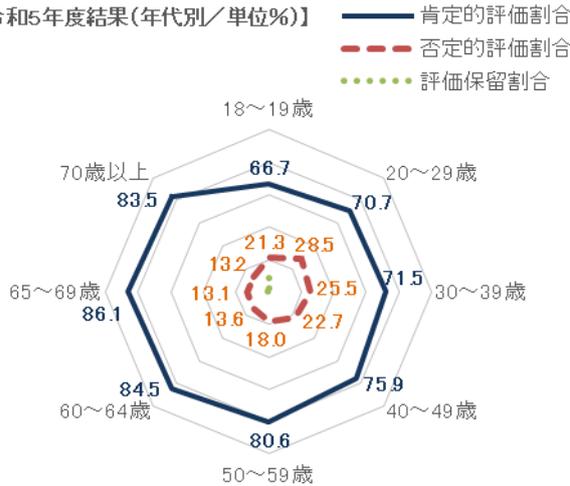
【施策コード／施策名】 6-3-1 商工業の強化と環境整備の促進 6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進	【担当部局】 商工観光部
---	-----------------

【区分】	【指標名】
○	地元のお店で買い物をするように心がけている

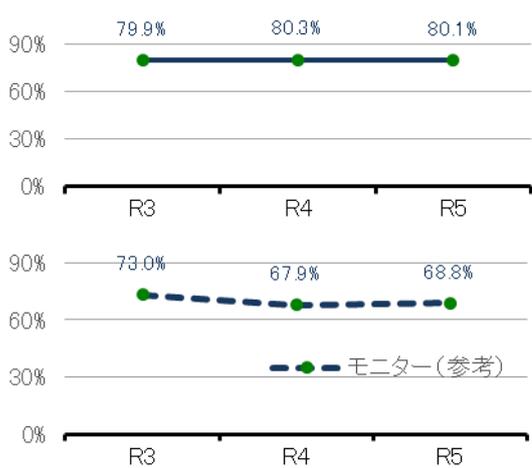
	R4	R5
肯定的評価割合	80.3%	80.1%
否定的評価割合	17.5%	17.5%
評価保留割合	1.2%	0.8%

現状値 (R3)	目標 (R9)	79.9%	➡
平均値 (R4~R5)		80.2%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近くのスーパーで買い物をするから ✓ 地元が一番だから 	19歳以下	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 買い物しています ✓ Aコープなど安いから 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ポイントが貯まる大手スーパーばかり選んでいます ✓ 地元の店は高いから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ ほぼソルヤのみ ✓ 新鮮な野菜があるため ✓ 近いところが一番です ✓ 地元のお店がずっと繁栄してほしいから 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スーパーです ✓ 大型店へ行く ✓ あまり意識していない ✓ ほぼスーパー
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近所の店で買うことが多い ✓ 近いし、安心するから ✓ 地元にあるというだけでなく、チェーン店より地元資本の店を優先している ✓ 食べ物は地元で購入するが洋服や日用品はネットで買うことが多い 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 意識していない ✓ いったとしても高い ✓ メガドンキで買いためが多いです ✓ 地元でなく、チェーン店ばかりになっている ✓ ウエルシアに行ってしまう。平安堂にはなるべく行きたい。子供服が売ってないのでネットにしてしまう
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 冬場は特に地元のお店で買い物をするようにしている ✓ 家の近くで ✓ 地元でしか買っていません ✓ 近所のスーパーに行ってます 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 商店街の環境整備 ✓ 心がけてはいないが、結果的に近所のスーパーが多い ✓ 上田市のイオンにいけます ✓ ないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ スーパーマーケットと直売所を利用 ✓ 当たり前、地元の役に立ちたい ✓ 近くにあるので本当に助かっている 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 周辺には、地元の店というより、大型スーパーが殆どを占めているため、そこを利用している
<ul style="list-style-type: none"> ✓ まず買い物は99.9%は地元。通販、ネット販売での購入はまず無い ✓ 自転車で行ける範囲なので遠くに行けない 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スーパーに行ってしまう ✓ 安い方に行ってしまう

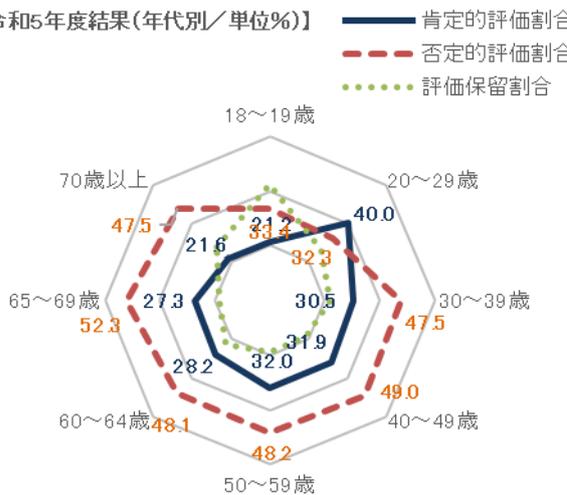
【施策コード／施策名】 6-3-3 新たな活力につながる産業の創出	【担当部局】 商工観光部
--------------------------------------	-----------------

【区分】	【指標名】
●	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている

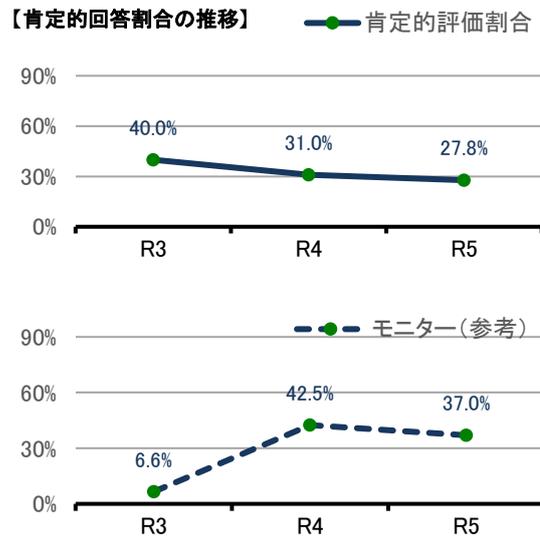
	R4	R5
肯定的評価割合	31.0%	27.8%
否定的評価割合	44.7%	47.5%
評価保留割合	23.3%	22.8%

現状値 (R3)	目標 (R9)	40.0%	
平均値 (R4~R5)		29.4%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓よく新しいお店を見かけるから	19歳以下	✓そのような人を知らない
✓全国的にも起業する人が増えているから	20~29歳	✓廃れていく
✓新しいお店が増えてきたとおもう	30~39歳	✓実感することがない
✓静かな住宅街にケーキ屋さん、パン屋さん、なんか良いですね	30~39歳	✓元気ない
✓インスタで情報発信しながら頑張ってるお店も多いなど感じるため	30~39歳	✓周りにはいないので増えてはいないと思う
✓自分で会社やお店をやろうとする人を支援する体制があるからそう思う	40~49歳	✓信州大学に社会人経営大学院などあったが、いまではなくなり、ベンチャー企業支援する風潮も乏しいのでは
✓新聞や広報誌などでそういった人たちの紹介を見る人が多い	40~49歳	✓新しい企業を生み出そうとする傾向は全く見られない
✓週刊新聞などで新しいお店紹介などたまに見る	50~59歳	✓あまり見かけない
✓そういうお店を身近に目にするから	50~59歳	✓起業のための制度がわからない
✓周りに増えている	50~59歳	✓もう少し開店支援施策などを増やしてほしい
✓個人店規模の小規模店は若い世代の方も起業が多く、頑張っていると思います	50~59歳	
✓報道を通じて感じる。その後は不明だが	60~69歳	✓目にするのがないから
✓若い方や、移住者が頑張っていると感じる	60~69歳	✓どうしても資金が必要で、また経営ノウハウを教える人が必要
✓飲食店は増えた	70歳以上	✓私の回りではそういう方は皆無であり、そういう人が興しているのでしょうか
✓多いかどうかは分からないがそういった若い人たちがいるのをうれしく思う	70歳以上	

【施策コード／施策名】 6-4-1 就労の促進と多様な働き方の支援		【担当部局】 商工観光部																					
【区分】	【指標名】																						
●	仕事を見つけやすい環境が整っている																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>16.4%</td> <td>17.7%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>62.8%</td> <td>60.9%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>20.1%</td> <td>19.5%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	16.4%	17.7%	否定的評価割合	62.8%	60.9%	評価保留割合	20.1%	19.5%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>13.7%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td colspan="2">17.1%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	13.7%		平均値 (R4~R5)		17.1%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	16.4%	17.7%																					
否定的評価割合	62.8%	60.9%																					
評価保留割合	20.1%	19.5%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	13.7%																					
平均値 (R4~R5)		17.1%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>— 肯定的評価割合 - - 否定的評価割合 ... 評価保留割合</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <p>— 肯定的評価割合</p>																					
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 求人が多い ✓ しんまいしゅうしょく情報があるから ✓ ハローワークやネットでの検索で見つけやすくなっている ✓ マイナビやリクナビによる企業説明会がメルパルクなどで行われていたから ✓ マザーハローワークがある ✓ 自分がハローワークで見つけたので ✓ 合同説明会などテレビでもやっているのそうだと想った 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 再就職が難しいって聞くから 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ ハローワークや県が率先して情報提供しているのを見る機会が多いから ✓ ハローワークを利用している ✓ 求人が自宅でも見られるので、就業していても求職活動が行えるのはありがたい 		20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 仕事が少ない会社が少ない 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ スマホがあれば便利 ✓ 一応ハローワークある ✓ 環境はあるが魅力ある仕事が少ない ✓ ネットで情報を得ています 		30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 仕事を斡旋してるところも少ないし、企業が少ない ✓ 見つけにくいから、ハロワでパソコンぶっ壊される。いや、その男に難があった可能性の方が高い。あれ税金だぞまじで許さん ✓ 求人される分野に偏りがあり、転職は非常にしにくい 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ このご時世だから仕事はあると思うので ✓ ハローワークの相談窓口が、親切 ✓ 求人はよくみかける 		40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 私自身、仕事を見つけるのに大変 ✓ 大都市ではないので、仕事は見つけにくい。特に、外国人や障害者のみならず、高度な技能や高学歴を持った人など。 ✓ 転職したいが少ない 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ ハローワークの他、現在はSNSの発達で見つけやすくなっている ✓ 仕事はあると感じる 		50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 働くことへの動機づけ ✓ 若者が就職したいと思う企業が多いかというとなのかわからない ✓ 求人数が少ない 																				
		60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 廻りの方々仕事を探しても見つからないと言う方が多い ✓ 仕事はあるが賃金が低すぎる 																				
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 良い企業を招致すべきだと思います ✓ 仕事自体はあるが、やりたい仕事と求人が少ない 																				

【施策コード／施策名】 6-4-2 勤労者福祉の推進		【担当部局】 商工観光部																					
【区分】	【指標名】																						
●	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>33.8%</td> <td>32.7%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>47.3%</td> <td>47.9%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>18.0%</td> <td>17.1%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	33.8%	32.7%	否定的評価割合	47.3%	47.9%	評価保留割合	18.0%	17.1%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>33.6%</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4~R5)</td> <td>33.3%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	33.6%		平均値 (R4~R5)		33.3%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	33.8%	32.7%																					
否定的評価割合	47.3%	47.9%																					
評価保留割合	18.0%	17.1%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	33.6%																					
平均値 (R4~R5)		33.3%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ●●●● 評価保留割合 		<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 																					
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓活き活きしてる人もいる ✓明るく働いているから 	19歳以下																						
<ul style="list-style-type: none"> ✓いきいきと働いている人が多いと思う ✓イキイキしてるように見える 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓周りは自分も含めていきいきとは感じない ✓仕事が大変そう 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓そう見えるのは自分だけでしょうか ✓毎日疲れてるが頑張ってる ✓充実して生き生きとしている人が多いように感じる 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓優良企業が少ない ✓生保の方がいきいきしてる。こっちは働いてるのに、なんであいつらの方が高い金もらってパチンコやってるん 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓女性が働き者です ✓身近な人たちをみるとそう感じる ✓交通渋滞は大変だが、満員電車もないし快適です ✓長く働いている ✓ライフワークバランスがとれている ✓自身も市内で働いている ✓なんだかんだ働いてます ✓定年を迎えても働いている人は多いと感じる 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓人手不足で時間外労働が多い ✓だいたい皆、転職先探してる ✓辞めに辞めれずといった感じ 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓いきいきと働いていると思う ✓職場の人が元気 ✓生きがいを持って働いている 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓労働環境が厳しい ✓いきいき働いているかはわからない ✓そう思わない 																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓賃金が安くて働いている ✓高齢になっても健康な方は生き生きと働いておられる良いことだと思う 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓賃金が低すぎるし、物価高でみなかつかつの生活 ✓疲労困憊している人はたくさんいます ✓長野市内は渋滞が多く通勤に時間がかかると不満を良く聞く 																					
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓知名度のある企業が少ないと思う ✓いきいきと働いているというより、かなり長時間にわたって働いている人が多い 																					

【施策コード／施策名】 7-1-1 地域の特性に応じた都市機能の維持		【担当部局】 都市整備部	
【区分】	【指標名】		
●	中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である		
		R4	R5
肯定的評価割合		47.4%	43.4%
否定的評価割合		46.4%	50.7%
評価保留割合		5.1%	4.3%
		現状値 (R3)	目標 (R9)
			50.4%
		平均値 (R4~R5)	45.4%
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>【肯定的回答割合の推移】</p>			
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓中心地ではそうなっていると思う ✓長野市内では1番栄えているから ✓篠ノ井に住んでいるが生活には困らない ✓生活しやすい 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓もっと都会にあるようなお店がほしい。スリーコインズなど ✓中心地ではそうなっていると思う
<ul style="list-style-type: none"> ✓中心地だけです ✓ホントそう思います！ ✓利便性はあるが駐車場が混んでいたりして困る 		20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓買い物、医療、福祉施設は駅前や市街地よりも、郊外のほうが行きやすい。 ✓全くそういった施設が足りない ✓行政が率先して税金でタワマンを建て、利便性が高い地域と言えるのか
<ul style="list-style-type: none"> ✓長野駅周辺の開発が進み、マンションの1Fがスーパーという物件はいいと思います ✓長野駅周辺に限る 		30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓各 ATM が1箇所が集まるところがない、店が点在していて車が必要、買い物がかなり不便、松本や上田とかに比べても不便と ✓駐車場の問題があるので、郊外に出る
<ul style="list-style-type: none"> ✓便利な地域だと思う ✓自宅のある田舎に比べたら天国かと ✓今数は多くないものの、一通りのものは揃っている 		40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓中心地に住んでいるが不便です ✓駐車場が有料で、安くないため ✓実際に買い物や医療を受ける場合に、中心市街地や鉄道駅には行くことはありません
<ul style="list-style-type: none"> ✓かなりそう思う ✓現在の長野市は当てはまるかと思ます。シャッター通りではありません ✓何処までが中心市街地と言うのか分からないが、まずまずかと思う 		50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓そこまで行くのに車で行くしかない。また駐車場が高いのでめったに行かない ✓モーターレーゼーションの進展に伴ってすでに30年前から、多くの商業施設や公的機関はロードサイド型に転換しています。中心地の利便性を高めたいなら、バスの便数なども含めたドラスティックな再開発が必要です。
<ul style="list-style-type: none"> ✓一番充実している ✓中心市街地については利便性は高いと思う 		60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓買物は校外店舗。福祉施設も中心街には少ない。医療・金融機関は分散されている
		70歳以上	

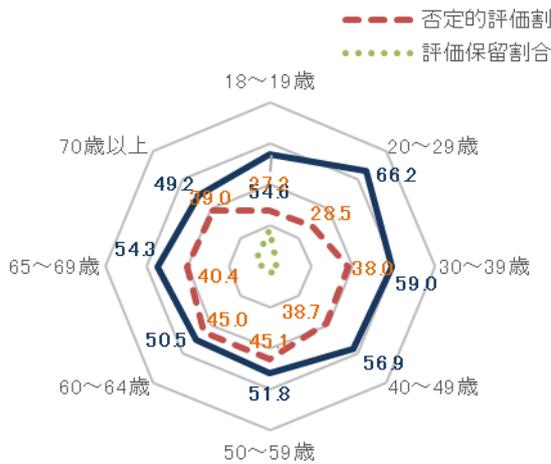
【施策コード／施策名】 7-1-2 暮らしを支える生活機能の維持	【担当部局】 建設部、上下水道局
-------------------------------------	---------------------

【区分】	【指標名】
●	日常生活に必要なインフラが整備されている

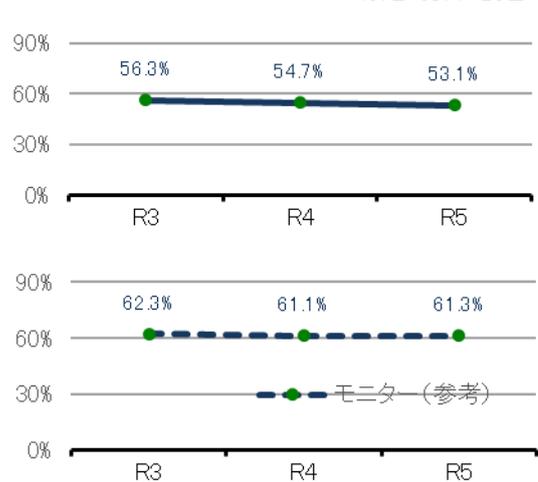
	R4	R5
肯定的評価割合	54.7%	53.1%
否定的評価割合	37.4%	39.9%
評価保留割合	6.4%	5.3%

現状値 (R3)	目標 (R9)	56.3%	
平均値 (R4~R5)		53.9%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】

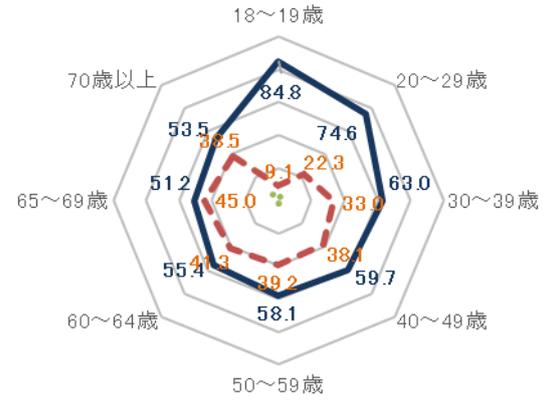
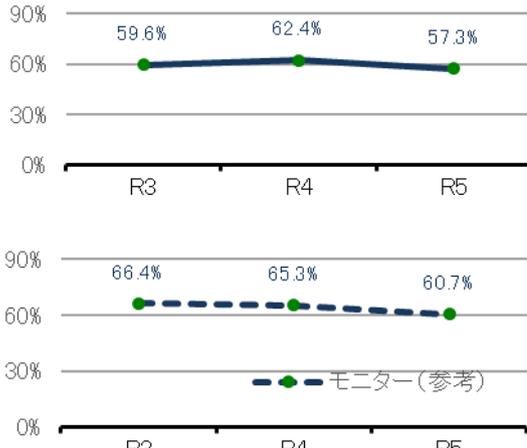


【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓満足している ✓最低限のライフラインは全て整備されていると思う ✓電気ガス上下水道しっかり整備されているから ✓日常生活に支障はない 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓中心市街地はそうだが、山間部は違う
<ul style="list-style-type: none"> ✓都市ガスエリアに住めばよかった。5Gはびみよー ✓日曜日はバスも走っていない 電車の終電が早い ✓今生活する分には問題ない ✓必要なものは整備されていると思うから ✓日常生活に不便はないため ✓必要なものはそろっていると思う ✓住んでいて不便はない 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓車がなくては生きられない
<ul style="list-style-type: none"> ✓必要なものは整備されている ✓不自由してないから ✓停電や断水発生の時もすぐに復旧していただけて、ありがたい限りです 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓都市ガス使えるようになれば完璧 ✓日曜日はバスも走っていない 電車の終電が早い
<ul style="list-style-type: none"> ✓私の住むところは整備されている ✓自分の身の回りは整備されてる ✓市街地は該当します。過疎地は今後はわかりません 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓バスが少ない ✓plus アルファがあると魅力的 ✓インフラ整備はまだまだと感じる ✓駅に行くまで歩いて1時間、バスは廃止、車移動するも市街地には駐車場が少なく車もとめられない
<ul style="list-style-type: none"> ✓現在の生活に支障はない ✓近くにいろいろなものがあるのは、歩いて行けるので便利 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓すごく不便 ✓必要なものは削り不要なものをばかり建てている印象
	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓長野電鉄の鉄道路線廃止、休日バスの運行中止を何とかしてください ✓市外地は、鉄道、バス、タクシーのインフラが、全く遅れている
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓公共交通が不便

【施策コード／施策名】 7-1-3 多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進		【担当部局】 建設部、都市整備部																					
【区分】	【指標名】																						
●	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>30.4%</td> <td>30.6%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>59.6%</td> <td>58.4%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>8.9%</td> <td>9.2%</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R5	肯定的評価割合	30.4%	30.6%	否定的評価割合	59.6%	58.4%	評価保留割合	8.9%	9.2%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>31.4%</th> <th>↑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4～R5)</td> <td colspan="2">30.5%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R3)	目標 (R9)	31.4%	↑	平均値 (R4～R5)		30.5%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	30.4%	30.6%																					
否定的評価割合	59.6%	58.4%																					
評価保留割合	8.9%	9.2%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	31.4%	↑																				
平均値 (R4～R5)		30.5%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <p>— 肯定的評価割合 - - 否定的評価割合 ●●●●● 評価保留割合</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <p>— 肯定的評価割合</p>																					
【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																					
✓ スロープが増えた気がする	19歳以下	✓ 道が悪いから ✓ 歩道が狭い 車椅子通れない																					
✓ スロープが多くなった気がします ✓ 建物の入り口などにスロープなど多くなったと思う	20～29歳	✓ 車がなくては生きられない																					
✓ 市役所など新しい建物はバリアフリーできている。道路も自転車の線が書いてあっていい ✓ わりと。歩道の段差解消してくれ ✓ 以前に比べると進んでいると思う ✓ エレベーターなどは整備されていると思うから	30～39歳	✓ 不整地が多い ✓ 段差はまだまだ多いです ✓ エレベーター未設置の駅やまだまだバリアフリーが進んでいないから																					
✓ 歩道が拡充し、歩きやすくなったと思う ✓ たまに工事しているのを見る ✓ 駅ビルとか、街中では、ベビーカーが利用しやすくなった ✓ 以前困っていた歩道の段差がだいぶなくなりました	40～49歳	✓ 道路の除雪は全然だめ ✓ 親が障害者であるが、バリアフリー化してない所が散見される ✓ 人が歩くのにも狭すぎる道路はまだまだたくさんある ✓ バリアフリーへ長野市役所だけ																					
✓ 近所も整備されたから ✓ 長野駅周辺はいいが、片田舎では、無理ですね ✓ 今は車で行動できているのであまり感じない	50～59歳	✓ バリアフリー化は遅れすぎ ✓ 道ガタガタですよ																					
✓ 進んでいるほうだと思う ✓ オリンピック以降整備されて来てると思う ✓ 移動の障害は少ない	60～69歳	✓ 最近の設備以外は、進んでいないと思う ✓ 道路が狭いしガタガタ ✓ 全く感じられない																					
✓ 歩きやすさが、旧市内では整ってきているように思う ✓ 段差をなくすのは良いのだろうが、寒冷地は凍結するので何でもかんでもスロープ状にするのは逆に危険な事もある。	70歳以上	✓ どこで進んでいますまだダメです ✓ バリアフリーは極一部の施設ではないか																					

【施策コード／施策名】 7-1-4 地域の特色を活かした景観の形成		【担当部局】 都市整備部																					
【区分】	【指標名】																						
●	景観やまちなみが美しい地域である																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>62.4%</td> <td>57.3%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>33.7%</td> <td>37.9%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>2.6%</td> <td>3.2%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	62.4%	57.3%	否定的評価割合	33.7%	37.9%	評価保留割合	2.6%	3.2%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>59.6%</th> <th>➡</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4～R5)</td> <td colspan="2">59.9%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)	59.6%	➡	平均値 (R4～R5)		59.9%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	62.4%	57.3%																					
否定的評価割合	33.7%	37.9%																					
評価保留割合	2.6%	3.2%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	59.6%	➡																				
平均値 (R4～R5)		59.9%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p> <ul style="list-style-type: none"> — 肯定的評価割合 - - - 否定的評価割合 ●●●●● 評価保留割合 																							
<p>【肯定的回答割合の推移】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●— 肯定的評価割合 ●— モニター(参考) 																							
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 山に囲まれていて綺麗だと思うから ✓ 山、川付近では特にそうだと思う ✓ とても美しいと思います ✓ 善光寺表参道がくらしの中にあることはよかったから ✓ 自然や建物の景観がきれいに保たれている ✓ 晴れてる日は癒やされる ✓ 中央通りはきれいだとおもうから ✓ あまりごちゃごちゃせずいいと思う ✓ 長野市は自然豊かな街だと思う 		19歳以下																					
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 建物の景観を意識している場所は本当に歩いていてきれい ✓ 街路樹などがいいと思うから ✓ 新しく整備されたところは美しい 		20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 歩道や歩道橋など崩れたままのところがある 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 四方山に囲まれていて四季折々を感じられる ✓ 雪山はきれい ✓ 街並みが綺麗に整備されている ✓ 戸隠は重宝されると思います 		30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ マンションばっか建築されている気がする ✓ 長野駅はドンキホーテや巨大テレビ、善光寺近辺も高層マンションが目立つ。景観法で建物の高さや色の指定をしたり、古い街並みを残してほしいので残念 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 但し自然の景観によることが多く、もう少し手を入れ過ぎやすい、気休めになる景観を創造すべきです ✓ 美しいと思う 		40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 松本の方がキレイ ✓ 美しいとは思わない ✓ 善光寺周辺はリノベーションが進み景観はとても良い 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 善光寺周辺は良いと思う ✓ 自分の住む場所は高層ビル等もなく景観は良いと思う 		50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ これといってない。整備はされていない ✓ 電柱が増えている 																				
		60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 全国チェーン店やビルばかりが増えて、歴史的な建物やきれいな景観も見えない。アルプスとか浅間山とか見応えのある景色がない。 																				
		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 沿道や街中に目障りな看板が多すぎる。商売活動だとの理解はできるが、大きすぎ、宣伝だけのもの目障りで景観を壊している 																				

【施策コード／施策名】 7-1-4 地域の特色を活かした景観の形成		【担当部局】 都市整備部																					
【区分】	【指標名】																						
○	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的評価割合</td> <td>71.7%</td> <td>71.0%</td> </tr> <tr> <td>否定的評価割合</td> <td>25.3%</td> <td>24.9%</td> </tr> <tr> <td>評価保留割合</td> <td>2.2%</td> <td>2.8%</td> </tr> </tbody> </table>			R4	R5	肯定的評価割合	71.7%	71.0%	否定的評価割合	25.3%	24.9%	評価保留割合	2.2%	2.8%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R3)</th> <th>目標 (R9)</th> <th>71.9%</th> <th>➡</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">平均値 (R4～R5)</td> <td colspan="2">71.4%</td> </tr> </tbody> </table>		現状値 (R3)	目標 (R9)	71.9%	➡	平均値 (R4～R5)		71.4%	
	R4	R5																					
肯定的評価割合	71.7%	71.0%																					
否定的評価割合	25.3%	24.9%																					
評価保留割合	2.2%	2.8%																					
現状値 (R3)	目標 (R9)	71.9%	➡																				
平均値 (R4～R5)		71.4%																					
<p>【令和5年度結果(年代別/単位%)】</p>		<p>【肯定的回答割合の推移】</p>																					
【モニターの主な肯定的意見】		【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓きれいにしている ✓第一印象大切 		19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓手入れが大変だから ✓気にしたことがない 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓雑草をとったりしている ✓ゴミをよく拾う ✓ポイ捨てなどはしない ✓マンションに住んでいるので公共スペースはきれいに使ったほうがよから 		20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓賃貸だから 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓草取りや雪かきなどしっかりやっている ✓落ち葉などで汚さないようにこころがけている ✓庭に木を植えたら大家に怒られた ✓ゴミ拾い ✓庭の整備や自宅周辺のゴミ拾いや雪かきなど積極的に取り組んでいる 		30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓虫が嫌いなので ✓庭が狭く手間なので花や木は植えられない ✓ゴミが捨てられていても見て見ぬふりしてしまう ✓美化活動などに参加していない 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓家のまわりがきれいにされていると気持ちが良い ✓自宅がログハウスなので、景観にこだわりがある ✓隣の家に雑草が伸びて行かないように配慮してます ✓綺麗に保つようになっている 		40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓近所に迷惑にならない程度に気にかけている ✓特に何もしていないから ✓できるだけきれいに保ちたいとは考えている ✓賃貸住宅なので大家さんにお任せしている 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓ゴミ拾い活動など ✓植木の手入れをしている ✓ガーデニングしている 		50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓なにもしていない ✓特に意識はしていない ✓特に機会がないため、ごみを出さないようにはしている 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓家の周りをきれいにしておきたい ✓植木の剪定はしている ✓見てだらしないように、こまめな手入れと清掃はしている ✓なるべく緑を植え、管理も気をつけている 		60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓集合住宅なので美化には無縁です ✓庭等が無いので ✓緑がない ✓時間がない ✓庭の手入れをできていない 																				
<ul style="list-style-type: none"> ✓心がけている ✓今の町内の景観に満足している、これを壊すわけにはいかない 		70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓自宅には植木など緑はそれなりにあり、緑化に努めている。美しい景観がどうかは別 																				

【施策コード／施策名】 7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築 7-2-2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備	【担当部局】 都市整備部
--	-----------------

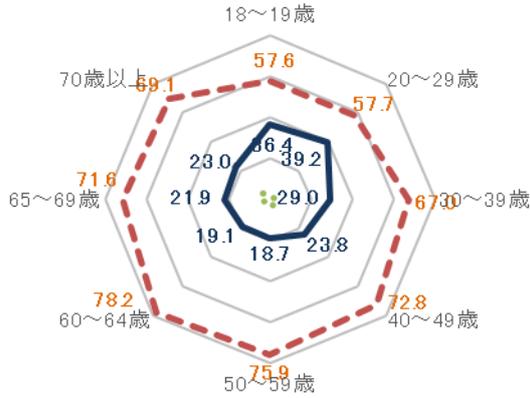
【区分】	【指標名】
●	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている

	R4	R5
肯定的評価割合	30.9%	23.4%
否定的評価割合	63.5%	70.9%
評価保留割合	4.4%	3.8%

現状値 (R3)	目標 (R9)	34.1%	➡
平均値 (R4~R5)		27.2%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】

- 肯定的評価割合
- - - 否定的評価割合
- 評価保留割合



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
✓ラク	19歳以下	✓車がないと生活できないから ✓3時間に一本しかなかったりするため時間の拘束が大きい
✓山間部にもバスなど走っているから ✓電車の本数が少ない	20~29歳	✓バスの便が減ったとおもう ✓車がなくては生きられない
✓バスがたくさん通っている ✓長電バスが日曜日走らないのはバス移動の人には厳しいかと ✓本数は少ないが、移動できることはできるから	30~39歳	✓限定的である。車で移動できない人々にとっては不十分だと思う ✓電車もバスも本数が減って不便だ。タクシーも捕まらない ✓バスや電車は本数が少なく、結局自家用車を使ってしまう
✓電車は利用しやすい ✓電車を便利に利用しているから ✓時間はかかるが移動はできると思うから	40~49歳	✓バスの運転手が少なくなったので、便が減り、尚更、整っていないと感じます ✓バスの減便や路線廃止が相次いでいる。バス路線が充実していないことが松代の観光停滞要因
✓バス、電車の環境が整っていてありがたい ✓駅が徒歩圏内なので ✓ただ、バスのドライバー不足で減便になり困っている人増えたのでは？	50~59歳	✓公共交通網の整備 ✓普段バスに乗らないので、路線図がわかりにくくて結局利用しない
✓郊外はまだまだと思うので ✓バスの本数が減って来ていて、利用したい時間が短くなっている	60~69歳	✓バスの本数は少ないし、バス停から遠いから ✓バスの本数が減って来ていて、利用したい時間が短くなっている ✓ドライバー不足で便数が減っているがサービス水準に応じた軸が残っている
✓ぐるりん号は良いので継続してほしい ✓自宅から街中へのバスの便は良い	70歳以上	✓特にバス路線の減便や土日運休が増えるなど移動に不便さを感じる ✓一応バス便はあるが現在減便の方向 ✓南北に鉄道が欲しい。バスではない。電車です

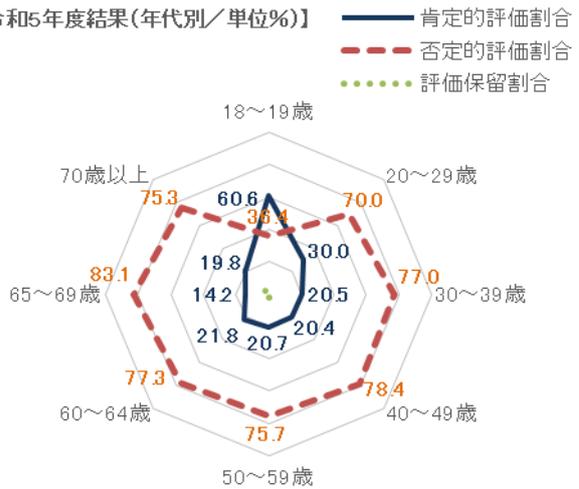
【施策コード／施策名】 7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築 7-2-2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備	【担当部局】 都市整備部
--	-----------------

【区分】	【指標名】
○	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している

	R4	R5
肯定的評価割合	20.6%	20.7%
否定的評価割合	76.9%	76.1%
評価保留割合	1.6%	1.7%

現状値 (R3)	目標 (R9)	20.4%	➡
平均値 (R4~R5)		20.7%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 毎日利用しているから ✓ 駅前の店に行くのにはバス、電車が1番便利 ✓ 車を持っていない 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 車や歩き、自転車で移動している ✓ 自転車つかうから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ バス通勤だから ✓ 通勤に便利だから ✓ 通勤や日常生活で公共交通を利用している ✓ 駐車場を探す手間もなく、便利だから 	20~29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 100%自動車を利用しています ✓ 車を使っているから ✓ 車がなくては生きられない
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 駅が近いので電車を通勤で利用している。雪の日も車だと渋滞になるので電車が良いと思っている ✓ 電車通勤です ✓ 電車を利用している 	30~39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自転車を使用しているが、大雪や大雨な電車を使う ✓ 車を使っているため ✓ マイカーオンリー
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近くへは徒歩か自転車利用 ✓ 電車通勤 ✓ バス通勤 ✓ 新幹線通勤なので 	40~49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公共交通機関が通っている場から離れている為、利用無し ✓ 基本的に自家用車で移動している ✓ 公共機関の通勤費が、車より少ないので、とても足りないから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自動車を手放し、日常全て外出する際は公共交通機関を利用しています ✓ JR利用 ✓ 駐車場がない 	50~59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 家族は毎日利用している ✓ 利用できる公共交通機関がない ✓ 自家用車があるため ✓ 公共交通機関では不便な場所にあるから
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自動車を保有しておらず(免許証は保有)利用は公共交通機関のみ ✓ 市内にはバスを利用するようにしている 	60~69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 便利なので車で移動している ✓ バス停が遠いし、運行本数が少なくて、自家用車でなくては不可能です ✓ 自家用車を使う事が多い ✓ 利用したくとも走っていないので
	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ほぼ自家用車 ✓ 公共交通機関がないも同然常態のため ✓ 日常の外出は目的地が1ヶ所だけということは少なくあちこち回ることが多いのでどうしてもマイカーが便利

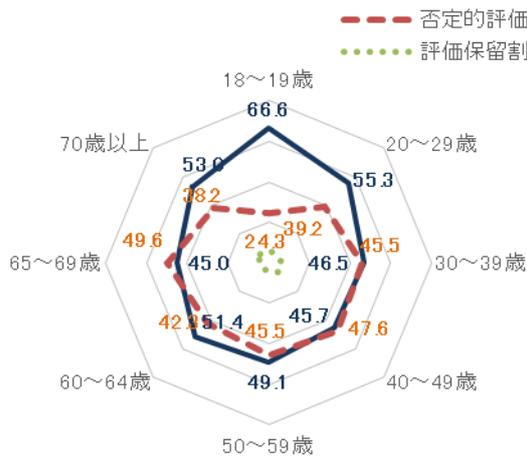
【施策コード／施策名】 7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築 7-2-2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備	【担当部局】 都市整備部
--	-----------------

【区分】	【指標名】
○	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている

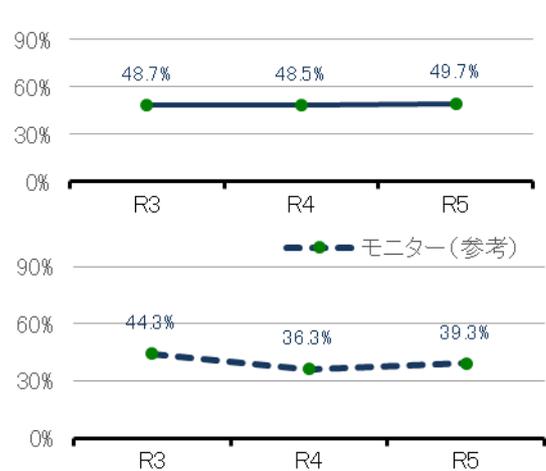
	R4	R5
肯定的評価割合	48.5%	49.7%
否定的評価割合	45.1%	43.1%
評価保留割合	5.2%	5.5%

現状値 (R3)	目標 (R9)	48.7%	➡
平均値 (R4～R5)		49.1%	

【令和5年度結果(年代別/単位%)】



【肯定的回答割合肯定合の推移】



【モニターの主な肯定的意見】	【年齢区分】	【モニターの主な否定的意見】
<ul style="list-style-type: none"> ✓利用することで貢献しようと思う ✓目的の場所が公共交通機関が便利なら使う 	19歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ✓必要ないから ✓支えたいとは思わない
<ul style="list-style-type: none"> ✓高齢者が多く、免許返納した後にバスがたくさん運行している方がいいと思うので理解し支えることは出来ると思う ✓理解しています 	20～29歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓車がなくて生きられない ✓必要だとは思いますが、すでに不便だからなくなっても関係ないから ✓車通勤の為
<ul style="list-style-type: none"> ✓子どもと一緒によく電車やバスに乗ります ✓バス通勤だから ✓無くなったら廃れるから 	30～39歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓公共交通機関の必要性は感じているが、今の自分の生活状況だとどうしても公共交通機関を利用しない方が楽だったりしてしまう
<ul style="list-style-type: none"> ✓出来るだけ電車を利用したいと思っているから ✓これまでの複数の設問で回答してきたとおり。現在居住地域には鉄道と複数のバス路線、乗り合いタクシーがあるが、今後、減便や廃止が進むことが懸念され、老後(運転免許返納後)の移動手段を確保できるのか不安。 	40～49歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓公共交通機関を使つての移動は待ち時間が長くあまり利用していない ✓元々公共交通が不便なうえに、通勤で利用できると期待された北信濃線の新駅設置計画が廃止となったため。 ✓自家用車を使ってしまうことが多い
<ul style="list-style-type: none"> ✓できることなら車は手放したいので ✓できるだけバスや電車で移動したいが帰れなくなることを考えると悩みます ✓ないと絶対に困るから 	50～59歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓車利用のため ✓利用できるものがないので支えられない ✓使い勝手が悪く、できない ✓公共交通に頼らず歩くようにしている
<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の維持は大切ですし、自分も運転しなくなれば、公共交通機関を利用せざるを得ないため、大事に考える必要がある。 ✓車でなく必要があれば公共交通を利用している 	60～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ✓バスが不便 ✓支えたいが、抜本的に変えないといけなと思う ✓支えようにも公共交通機関が少なくなっている ✓必要性は感じているが、利用しないと維持していけないので、支えることが出来ない
<ul style="list-style-type: none"> ✓私が頼れるのは公共交通機関のみ。支えていかないと私は移動できない ✓市内にはバスを利用するようにしている 	70歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ✓近くにバスが来ていない、電車もなし ✓人口減少、地域性から今まで通りの長野の公共交通の有り方では先が見えない気がする、不便を感じ乍無理に利用することは出来かねる。歩かなくなったのが原因！バス停まで長い距離を歩かない

